(昭和八年十二月十五日第三種郵便物認可)

満洲日報

朝夕刊共十二頁

定價　一部金五錢　一ヶ月金一圓二十錢
廣告料　普通一行金一圓三十錢　特別一行金二圓六十錢　(場所指定二割以上加算)
發行人　鈴木昇
編輯人　橋本喜代治
印刷人　本村武監

發行所　大連市東公園町卅一番地　株式會社満洲日報社　振替口座大連六〇番

新五相會議七日開く
豫算こ併行し農村對策を協議
齋藤山本後藤中島永井の關係五閣僚出席

【東京四日發國通】内政問題に關する根本國策樹立に對しては政府は過般の外交國防財政の調整に關する五省會議の不首尾に鑑みなるべく豫算省議を終了したる後之を行ふ方針であつたが荒木陸相を始めさして各方面から内政問題の解決を促すべしとの聲が頓に擡頭し政府の態度に對して不滿を抱く向きも多いので齋藤首相は豫算省議こ併行して内政國策樹立に關する關係閣僚會議を速かに開くに決し來る七日閣議散會後農村問題を基調さする内政國策樹立に關し齋藤、山本、後藤、中島、永井の五相會議を開きなほ高橋藏相も豫算省議に支障無き限りその出席を求め

一、農村生活の安定を圖るべき方策
一、米價對策
一、農村負擔の輕減方策
一、肥料對策
一、重要農産物の販賣並に輸出統制
一、農村金融の改善

等を議題として審議することゝなつた

齋藤首相時局談

【葉山四日發國通】齋藤首相は夫人同伴四日午後二時五十分自動車で四谷の私邸を出發し葉山一色別邸に入つたが時局問題につき語る

一、内政問題　豫てから關係大臣に夫々注文してあるので之を如何なる方法でやつて行くか各大臣の意見を徵するため來週火曜の閣議後第一回の話合ひをして見たいと思つてゐるが、さしづめ農村問題を中心として私と商工、農林、内務、拓務各大臣が集つて話を進めるが若し意見があれば他の閣僚の意見をも徵して見たい

一、豫算閣議　來週金曜から始めることゝならう、世間では豫算問題に就いて種々批評するが大藏大臣と軍部大臣の間に何等意見の對立があるわけでない、尤も國防充實については何人も異論はないが金額が大きいものだから或程度に止めたい、餘り無理は出來ぬものだ

一、日印通商問題　目下デリーで兩國代表間に折衝を重ねて居り大分話が進んで居り數字の問題にまで入つてゐるから近く落ちつくところに落着くであらう、結局双方の協量が成れば圓滿解決點に達しよう、通商條約期間も更に延長するまでには至らぬかも知れぬ

一、時局匡救費　九年度で打切ることになつてゐるがそれ以後は土木費となつて尻が殘ることになつてゐる、併し急に打切るのは地方に非常な困難を來すから地方民の希望をくんで愼重考慮して進むべき問題である

一、満鐵改組問題　未だ拓相から正式に話はないので夫れ程具體化してゐるとは思はぬ併し内部改造問題につきやかましいことを云ひ合つて居ては折

豫算省議捗らず
閣議は早くも十日頃

【東京四日發國通】明年度豫算に對する大藏省議は去月二十七日以來引續き開會され、今日迄に歳入と歳出の外務、内務、司法三省を審了したが、二日は高橋藏相の微恙で休會、三日も祭日で休會さなつて居り、省議の進行遲々として居る、而してなほ殘つてゐるものとしては農林省、商工省、遞信省拓務省の外、明年度豫算の中心をなすべき陸海軍兩省と大藏省の大ものが殘されて居り、之を完全に審了するには最少五日間を要するであらうから、省議の終了は精々八日ごろとなるべく、その上計數の整理印刷等の時日も見ればならぬので第一回の豫算閣議は早くても十日頃となり、若し高橋藏相の健康に故障を生ずるやうなことが發生すれば、更にそれより延長することゝ觀られ、而して第一回閣議後における各省の復活要求を始めさして陸海軍の國防計畫確立を理由とする軍事費復活要求、内務農林兩省の時局事業費復活等豫算分捕りは未曾有の熾烈さを見るべく、各省と大藏省との政治的並に事務的の折衝は非常な多艱を惹起するものと觀られる、從つて豫算の最後的決定を爲すべき豫算閣議は下旬頃となるのではないかと思はれる

絶縁を賭して─
陸相の奮起を促す
陸軍部内の强硬意見

【東京四日發國通】現内閣の非常時國策樹立問題が既に明年度豫算決定期にあるに拘らず未だ積極的進展を示してをらぬ現狀において陸軍部内では過般來屢々會合してこれが對策を協議した結果荒木陸相をして國策樹立を敢行せしむべきであり、政府にしてこれを肯ぜざる場合は内閣との絶縁も亦止むを得ないとするに意見一致し近く代表を派して陸相の奮起を促す筈である、只最後の一點即ち「陸相の主張が貫徹しない場合」に於て軍部が内閣と絶縁すべきか否かの點に於ては多大の開きがある、即ち陸相としては現内閣の存在並に現内閣の閣僚たることに何等の未練を有してゐないが

一、現内閣倒潰の後に來る新内閣が果して現内閣よりよき内閣なりや否やには多大の疑問あり、國内現狀より判斷する時寧ろ現内閣以下の内閣が出現するものと見なければならない、果して然らば現内閣以下の内閣を以て帝國は千九百三十五、六年の危機に對さなければならぬとになりこれは國家の一大損失である

一、軍の作用による現内閣の崩壊を目算して行動せんとする野心家が政黨その他各方面に存在する、この情勢下に於て軍が内閣と絶縁せば必然的に混亂が生ずる、これは國家並に國軍の不幸である

一、その他諸種の事情並に情況より判斷するに結局軍自體が後事を收拾する決心を有せぬ限り容易に内閣と絶縁すべきものではあるまいとする見解から荒木陸相としては未だ最後の場合の決心を定めかねつゝある、從つて右政策問題の進展に連れ政府對陸相の關係以外に陸相對部内の關係に於ても相當波瀾を免れざるに至りはせぬかと觀る重視されつゝある

對内國策と荒木陸相の態度
軍部案は不提出か

【東京三日發國通】農村問題、教育問題、思想問題等對内國策に對する荒木陸相の態度は各方面から注視され、次回の閣議では何等かの重大意見を表明するのではないかと注目されてゐる、しかし陸相は最近對内國策に對する各閣僚の意向は大體明瞭に判明し、自己の抱懷する所見と相當の懸隔あることを察知し得るので、今後國策案を提示してこれが貫徹を飽くまで要求するにおいては重大決意を要し、直に實現を見ることは到底困難の情勢にあり、齋藤首相も對内國策の遂行については陸相の提言に對しては曖昧の態度を持してゐる狀態である、陸軍首腦當局の意向も最近では陸軍においても對内國策について成案を有するも、陸相から之を提示するやうなことはしないとの意向を洩らしつゝある點から見て、陸相は對内國策問題については當分靜觀の態度を持するものと觀られるが、内閣の無爲については軍部内で相當不滿の聲が起つてゐる折柄今後の陸相の態度は注目される

米の艦隊主力大西洋に復歸
太平洋引揚げ理由
スワンソン海軍長官の談

【ワシントン三日發國通】偵察、戰鬪兩艦隊を根幹とする米國艦隊の主力を大西洋に集中するに決したスワンソン海軍長官は次の如く語つた

米國海軍は大西、太平兩洋を知る必要あり、大西洋岸と太平洋岸何れの情勢をも熟知しなければならぬ

更にルーズヴエルト海軍次官は右移駐の目的につき聲明して曰く

大西、太平兩洋に於て中期航海を行ひ海軍將兵をして海戰並に航海につき豐富な知識を得しめることは米國海軍の既定方針であるが今回太平洋岸の根據地にある米國艦隊を大西洋に集中するに決したのは要するに右正常的訓練方針に復歸したものに外ならない、更に大西洋諸州出身の將兵は今回の移駐に依り久し振りで家族並に家庭を訪問し得べく大西洋艦隊は所屬根據地造船所に歸還し手入れを行ふことが出來やう

角内外の資本家が投資しやうとしてゐても自然手控へるやうな形になり面白からぬ結果を生ずるから愼重な態度で臨んで貰ひたい

重要〃表意〃

【ワシントン三日發國通】米國が方面觀察の結果右集中政策を變更するに決したのは表面大西、太平兩洋に艦隊を太平洋に集中した曩に日支事件を繞る日米兩國關係の緊迫に備へたものであることは共に認むる事實であつた、然し今回スワンソン海軍長官がハワイ一ものである、而して大西、太平兩洋の太平洋にゐることがアブノーマ

ルだからノーマルに返つた事を意味するので右が恒久的か一時的か判明せず之を以て米海軍の太平洋政策變更とはいへぬ

艦隊を一たん大西洋に集中した後再び全艦隊を太平洋に歸還せしむるか或は太平洋戰鬪艦隊のみを歸還せしむる方針なるかは今のところ未だ明かでないが何れにしても事實上全艦隊を太平洋より引揚げることは從來の米國の政策に對し非常な變化といはなければならぬ大西洋移駐の結果潛水艦サンディエゴ根據地の空軍並に修理計畫に當つてゐる艦艇を除き事實上米國艦隊の全主力が大西洋に集中される、因に今回の大西洋集中政策はアジア艦隊並にカリビアン海艦隊には全然關係がない

我海軍の觀察

【東京四日發國通】米國海軍主力艦隊大西洋廻航の報に關し海軍省當局は左の如く語つた

今迄太平洋に配置されて居た米國艦隊は來年春夏の候に一時大西洋に廻航し秋に入り再び太平洋に歸還するとの報道を耳にしたが未だ確報に接しない、米國海軍の配備は米國自らなすべきもので其の一時的行動の如きを取つて兎や角言ふべきではない

外務當局の見解

【東京四日發國通】米艦隊の大西洋廻航問題につき外務當局は左の見解で好感を有してゐる

太平洋にゐることがアブノーマ

實施は明年夏期

【ワシントン三日發國通】ル大統領は三日スワンソン海軍長官、海軍次官ヘンリー・ルーズヴエルト氏軍令部長スタンドレー氏等の海軍首腦部と協議の結果、一九三三年一月海軍大演習當時以來太平洋岸根據地に碇泊してゐるアメリカ海軍の主力を明年を期し再び大西洋に移駐せしめるに決した

【ワシントン三日發國通】ル大統領は三日海軍當局に對し一九三四年夏季を期して大西洋偵察太平洋戰鬪兩艦隊を根幹とする米國艦隊を大西洋に集中せしめる權限を附與した米國艦隊は明春三隻乃至四隻の戰鬪艦を除き主力をあげて太平洋岸の根據地を出發し大西洋に向ひ晩秋に至つて再び太平洋根據地に歸還するものと見られるが艦隊移駐の詳細は未だ決定を見るに至らない、ル大統領は來春早々パナマ運河經由ハワイ方面視察の途に上る豫定なので米國艦隊の移動も大統領の視察と同時に決行されるものと解される

満鐵機構改正
軍、満鐵合作案成り
沼田中佐再東上か

【東京四日發國通】満鐵機構改正に就いては關東軍特務部と満鐵當局との間に協議されてゐるが、兩者の意見は大體一致を見たので特務部沼田中佐は改造案を攜行して近日再び上京中央部と打合せたき旨陸軍中央部に報告があつたが、場合によつては同中佐と共に小磯參謀長も上京する事になるやも知れぬと、而して満鐵機構の改正に就いては陸軍中央部では從來の満洲鐵道以外今後満洲國から新に關東軍司令官に經營を委任されたる鐵道一の監督權を勅令並に法律を以て明確に規定せんとするのが眼目であるからこれによつて軍部拓務省間に問題を惹起する如き事はないと見てをり關東軍と満鐵にて作成せる具體案の最後的決定も關係四省會議開催せず陸軍拓務兩當局の協議によつて決定をみるのであ

満鐵重役會議
營業收支豫算も審議未了

四日の満鐵重役會議は午後續行、午前に引つゞき九年度營業收支豫算を審議、七時半に及んだが、炭礦關係は遂に審議未了となり六日さらに繼續することになつた、營業收支豫算は例年さほど問題はなく、今年も經理部と各部箇所との間の話合ひも濟んでゐるので重役會議も一日で議了すると信ぜられてゐたところかく遷延したこ

村上理事東上

とは時節柄非常に注目されてゐる今後新設さるべき鐵道の取扱問題につき中央において解決を急いで居り滿洲よりは山崎理事、佐藤建設局長、大村交通監督部長ら關係者が上京してこれに當つてゐるがなほ幾多の問題が殘されてゐるので近く村上理事も上京する

激勵電報

三日滿鐵社員會事務局に到達した激勵電報は左のごとくである

▲東京支部　今回の件につき當地情勢は官民ともに靜觀主義にて目下のところ前電と變らない十月二十八日發表の社員會宣言書に就いては社員の態度公明且つ能く三萬社員の意を代表するものなりとして好評嘖々たり今後の當地における諸情勢については出來るだけ速報す

▲昭七會　我社が改造問題を繞り將に一大轉機に當面せんとする秋、會社使命の强化遂行のため特別委員會の成立せしを喜び絶對的信頼を以つて之を支持す

條約期限滿了切迫し
政府最後案作成を急ぐ
六日官民合同協議會開く

【東京四日發國通】日印會商に對する日本政府の最後の提案を成すべく既報の如く官民合同協議會を開いて帝國の根本方針を決定することなり四日直に關西における當業者代表に上京するやう招電を發した、この結果關西の當業者は直に上京六日外務省に官民合同協議會を開いて日印會商に對する帝國の根本方針を決定直に澤田代表に訓電を發する事になつたが同會議で如何なる態度に決するかは日印會商の成否にも及ぼすものある爲この官民協議會は注目されてゐる

中島商相民間側こ私的會見

【京都四日發國通】中島商相と民間側との日印會商對策に關する私的會見は四日午後三時京都ホテルで開催、出席者民間側より阿部房次郎氏、津田信吾氏其他で印度讓步し附帶條件が滿足なる解決を見れば民間側として綿布棉花の關聯數量に關しても政府案と接近し得る餘地ある事を中島商相に暗示しこれを契機に官民諒解具體化されんと期待されてゐる

辭令

【東京四日發國通】
奉天在勤を命ず　領事　重松宣雄
重慶在勤を命ず　奉天副領事　中野高一

ニラへの反逆
ル大統領の陣營から〃産業解放運動〃起る

【東京特電四日發】紐育よりの情報によれば、米國の國家産業復興の決議となりル大統領の陣營内から現れるに至つた、即ち米國の生活標準を維持し向上せしめんため方面に掲げられてゐるが、二日遂には産業を政府の干渉及び管理から解放し、自發的進取的精神の發動を許されればならぬといふのである、これはローパー商相の招いた實業、工業、金融界の有力者三十餘名により可決されたものでニラ運動の危機は愈々尖鋭化した

満洲の秘密結社と思想……(下の二)
大連署警務主任　末光高義

大刀會は光緒年間に山東省東昌府に起つたが、紅槍會と同一流のもので白蓮社の支流を汲んだ秘密結社である。元來大刀會は匪賊防衛を目的とした農民の自衛團であつたが、漸次暴政に反抗し不良官吏を膺懲するなどの行動に變り遂には排外運動をも起すに至つた。

一八九七年に耶蘇天主教の跋扈を憤つて山東省曹州で耶蘇教會堂を破壞しドイツの宣教師を殺しそれを口實として膠州灣をドイツに占據されるやうになつたのも大刀會の暴擧である。この大刀會の信奉してゐる宗旨は天神を祭つてゐるので彈丸も身に中らず刀槍も身に入らずとの神法を提唱して呪文を唱へ護符を呑んで勇躍戰場に臨むので非常に勇敢である。また

この會員は農民であるから事があれば一村一團擧つて槍、又は刀を以て戰場に向ふが、平素は家に在つて農業を營んでゐるため、皇軍が匪賊討伐に行つて集團的匪賊が居なかつたといつても決して油斷は出來ない。

▲　▼

大刀會と紅槍會との區別に就いては元來同一流であるからその奉ずるところ、行ふところも變りはないが、唯大刀會は紅槍會と比較して資産を有する者が多い、即ち紅槍會はルンペン・プロレタリヤが中心となつてゐるといはれるが今日ではこれを以て區別の標準にはならぬ。又組織においても平素は三團に分れ、一團は夜間一所に集まつて建環修業をなし、一團は

就寢し他の一團は部落の外廓を巡守してゐる、而もなほ他部落との連絡が敏速に行はれてゐるため外敵を觀知することが無線電話の如く早く行はれる、又元來各自の武裝は八尺の赤棍に上部に赤い纓を附けた大身の槍を持つてゐることから紅槍會の名が生れたものであるが今日は青龍刀を背負うてゐる者もあり、長銃、拳銃を持つてゐるものもあるから武器を以て紅槍會、大刀會を區別は出來ない。

▲　▼

(一)在理教、音が似てゐる關係からか青帮─在家裡と混同してゐる向があるが、これは別個のものである、在理教はその教旨が甚だ曖昧であるが、さに角佛教の法を奉じ、儒教の禮を習ひ、道教の行を修むといふのであつて、この佛、儒、道の三教を渾然融和したもので因果應報と「拔苦興樂」とを說き、正身、修身、克己、復禮を本義として戒煙、戒酒を修むる宗教的結社である、その祀る本尊は觀世音菩薩と老子、孔子の三聖

祖の像であり、これを信仰の目標としてゐる、從つて支那人の宗教結社としては類のない積極的自己修養を目的としたものであるが、彼等の内部的生活關係は「扶義守信」とか「劫富濟貧」とか道德的信念を說いてゐるので、他の秘密結社と共通するところもある。在理教も山東に起つたものであるが現在では支那全土に亘つて教會があり、その數約三千といふ。滿洲では約三百の教會があり、教徒三百萬といはれる。支那民族社會としては最も一般的であつて「我在理」といへば誰でも理解出來る程好く民家の間に徹底されたものである。この在理教は表面は合法的宗教であるが、内面はやはり秘密にされてゐる結社である。然し目的が戒煙、戒酒、自己修養の宗教であるから誰でもといふわけにいかぬ、然し教徒間の團結として見るべきものがなく從來政治運動に關係した歷史を有して居らぬが、相當勢力を有する結社であるから統治上無視することは出來ぬ。

▲　▼

青帮─在家裡、元來在家裡は支那のギルドであるが、支那の時代變遷に從つて結社自體に歷史を作り各種の分派を生じ又は官僚軍閥の傀儡となり、或は自ら投ずる等時に結社自體の目的以外に活躍して來た支那プロレタリヤ民族社會の全體に向つて浸潤してゐる相互扶助を目的とする民族結社である。從つて滿洲の馬賊とても在家裡を母胎として生れたものであるが、滿洲でも在家裡の擘を開くに至つたのは大正十二年と思ふ。青帮、在家裡は上海が本場である。

▲　▼

大連では本年三月青帮、在家裡を統一し本來の目的たる義氣、仁俠、相互扶助を行はんとの趣旨によつて東亞佛教會を創設して大連の在家裡二、三萬を統一して大組織體とせんと全滿の在家裡に呼びかけて立つたものである。また奉天、新京、ハルビン、營口等の在家裡は日本人二、三名の者によつて先づ日本を觀光させ、而して全

滿の在家裡を大組織體として統一し滿洲國の治安確保及び政治工作に利用せんと策動したために各地の在家裡が頗く擡頭し始めたのを機會に更に正義團及び大本教或は協和會その他の野心家等が各自己中心とした狹量な考へからものにせんと動いてゐるやうであるが、この問題は王道主義國家の基礎的關係に及ぶ重大なる關係を有してゐることを故此等一部の策動は相當警戒の要がある。これが單に一地方の特殊の結社であれば問題はないが支那プロレタリヤ階級民族社會の結社であつて、滿洲の動きは直に支那全土に及ぶ可能性がある から注意すべきである。今日職人、軍人、官吏、教育者、インテリ・ブルジョア階級がこの結社内に多くなつた。滿洲國の支那人官吏中にも相當重要な地位にある者に多數信者があることを聞いて居るが未だ一般に理解がないので徒らに誤解されることを恐れて秘密に行動してゐるやうである。

家庭

"滿洲ッ子"の誇り
スケート・シーズン來る

内地工業者に國産スケート製作熱
奥地から注文殺到

數日來の日和はすでに奥地のあちこちからスケートの便りをもたらしてゐます、滿洲っ子の大好きなスケートのシーズンが南滿にも程なくやつて來るでせう、スケート

滿洲 の誇りも、近年内地の各地にスケートリンクが出來、東京や大阪では最新式の大建築の冷房裝置を利用して夏でもスケートがたのしめるやうになつてから追々内地にその誇りを奪はれるやうになつて來ました、しかし内地のスケート熱の勃興は俄然内地工業者のスケート製作熱を招來して數年來ボツ〳〵市場に國産スケートを見受けるやうになつたのですその以前から安東や北海道ではスケートを作つてはゐましたが、ご

歴史 も進歩した現在の工の國産品も數百年來の業技術を持つてゐる北歐や北米に及びやうがなく高級品といへば依然ドイツ、ノルウエー、カナダ等の製作にまたればならぬ有樣でしたにギザ〳〵のついた正式もので七圓から二十圓までいろ〳〵、スピードは練習用なら矢張り三、四圓でありますが

氣持 よく使へるのは七圓から十圓見當です、靴は三圓五十錢から極上等で十圓ごまりです。日本氷上選手權大會が滿洲に開かれやうさいふ今冬、最も爽快で衛生的な冬のスポーツ、スケートに精進してスケート滿洲の誇りを確保したいものではありませんか（大連連鎖街岡部靴店しらべ）

爲替高で舶來品は暴騰
素晴らしい"銀燕"

折柄昨年來の異常な爲替高によつて舶來スケートの價格は一ぺんに二倍も三倍にもとびあがり今年などはフキガーで二十圓以上、スピード（ロング）ですと卅圓以上の

高値 で子供や學生には一寸手の出せない有樣です。かうした爲替高が勢ひ日本の工業者にごうかして外國品にまさる國産スケートを作り出さうとする機運を與へ各製造者は何れも自然的な研究をつゞけた結果、今冬は全く外國品に遜色のない或はそれ以上に優秀なスケートも二、三出現しました。わけても今まで世界のクエッションであつた合金鋼と鐵との電氣鎔接に

成功 して、これをスピードの刄の鎔接に應用した住友の苦心の製作品「銀燕」など世界に誇り得る國産品の一つでせう、フイガーもよい國産品が澤山出來ました、値段は練習用で三圓から尖端

高いほど惡い
高層建築の空氣

何々ビルデングの何々百貨店等々と文化の進歩と共に大連にも高層建築が空を摩するやうに建ち並ぶ時代となつて來ましたがさうした建物の中の空氣試驗をしてみますと上へゆけばゆく程ゴミが多いのです。さいふもちよいと變ですがゴミといつても極微細なもので、それが呼吸する度に肺の中へ入つてゆくのです、一階や二階のゴミは大きくて鼻の中などで眞黒になつて氣持は惡くとも途中ひつかかつて肺までゆくことはありません、といつてあながち下の方ならゴミを吸つてもいゝといふ譯ではありませんが、大體高い建物の上へ行つたら空氣がいゝだらうと思ふことは確かに間違つてゐます。

☆　☆　☆

支那料理獻立(二)

滑溜松菌(ファルウスヌチン) 松茸を揚げて更にそれを煮て味をつけた御馳走、松茸料理としても變つて美味しく頂けます。松茸は鹽水で洗つてよく拭き水氣を取つて五分位の厚さに切ります、片栗粉を溶いてころもを作り、熱した油でてんぷらのやうに揚げます。別にスープ、若しくは煮出汁を鍋にかけ揚げた松茸を煮こみ酒、砂糖、醤油を加へて味をつけ、おろし際に少量の酢を加へ水溶きした片栗粉を流しこんで汁をごろりとさせますあついうちにすゝめます

果物や野菜の貯藏
出廻期にごつさり買込み
高價な時期に備へませう

林檎、梨、蜜柑、キヤベツ、白菜等々、滿洲は今美味しい果物や野菜に豐に惠まれてゐます。この品物の

豐富 で新鮮な値のやすい出廻り期にごつさり買ひこんで來春のとぼしい高價な時期に備へませう。二、三月頃までも保たせやうとすれば第一に品物を選ぶことが肝腎です。林檎や梨はあまり大きいのよりも中粒か小粒の形のよいよく身のしまつた完熟したもの柑橘類は稍未熟のものの方がよくキヤベツや白菜もよく身のしまつたものを選びます。何れも新鮮で蟲くひやきづのないなるべくなら

晩生 種を選ぶ方が長持ちします。砂、もみがら、藁等も充分乾かして置きます。一、二月頃までも手をつけないで貯藏しやうとならば水はきのよい庭の一隅に深さ六尺程の適宜の穴を掘り穴の底に藁（高粱ガラや落葉でもよし）を敷いて果實を入れ隙間に砂やもみがらを入れ所々に藁を敷きます。なほ

丁寧 にすれば蜜柑箱位の木箱を澤山用意してこの中に果實ともみがら（又は砂）を詰めこの箱を穴の中に積みます。野菜でしたら直接藁の上に積み重ねてかまひません。貯藏物が地面と水平になる位を限度としてその上に藁を五六寸積重ね更にその上から土を三四寸覆ひ眞中を高くして水の浸入を防ぎます。この周圍に排水溝を造ればなほ結構で、かうしておけば凍ることもなければ腐りもせず

來春 まで殆ど元のまゝの新鮮さが保てます。しかしこれではちよい〳〵小出しにするといふわけに行きませんからお正月頃までに頂くものでしたら地下室か倉庫に貯へればよいのです。貯藏に一番よい溫度は凍らない程度に寒い華氏の三十度から三十二度位のところで、凍らせしまつては駄目ですし、あたゝか過ぎては早く腐ります。又あまりしめつぽい場所は腐り易く乾燥しすぎるとカス〳〵に水分がなくなりますから

適當 な場所を選ばねばなりません。地下室や倉庫がセメント張りでしたら下に煉瓦か木片を敷いてその上に果物の箱をのせるか、板をしいて野菜を並べればよいのです。あまり寒い場所でしたら上から藁や蓆をおほつて寒氣を防ぎ、換氣のわるい場所でしたらあたたかい日に明け放して新鮮な空氣を入れかへてやれば相當永く保ちます。（大連中央市場事務所岡野新三氏談）

日本棋院秋季大手合戰譜 第三回

先番 初段 藤澤庫之助
互先 初段 塚越常康

●二一リの三　○二二チの四
●二三ヌの四　○二四ヌの五
●二五ルの五　○二六ヌの六
●二七チの六　○二八チの七
●二九トの七　○三〇チの八
●三一トの六　○三二リの六
●三三ヌの八　○三四ルの六
●三五チの五　○三六ヌの十
●三七チの八　○三八リの八
●三九チの十　○四〇ヌの九
●四一ルの九　○四二トの八
●四三ホの七　○四四への八
●四五ニの十三　○四六ハの十二
●四七チの十二　○四八リの十三
●四九リの十二　○五〇ヌの十三

所要時間累計（黒二時十六分　白二時卅九分）
（制限時間各六時間）

—【2】—

對局者のことば

黒　二七、三三等、形だと思つて比較的平易に打ちましたがどんなものですか——

白　三四は黒三五と交換して惜しい（白（チ四）のハザマを衝くれらひを失ふ）やうですが黒から三四をオサへられては忍びませんし

黒　三九も前の二七、三三と同樣形に從ひました、然し幾分打ちすぎだつたでせうか——

黒　四一が重い氣分の手でした、この手で四五にオシ白四六の次に黒四九と打つ位がよかつたと考へます

白　四八、五十には成算のあつたわけではありませんが、ともかくも斷うして隔てゝ行かないことには下邊を大きくまとめられてしまふと地合が足りないやうですから——

戰の跡

◇黒二一にて二三の方からオシ白（リ五）黒（チ二）とハシるのはしばしば見る型であるがこゝでは十九の二間ビラキの効果を減ずることをきらつた、二間ビラキがある時にはそれを重複させない意味において殆どすべての場合に二一の方よりオス

◇白二四にて三二にトビ黒二四白二九、などの型もあるがそれでは却つて二十以下の攻められる勢を生じ、中腹の厚壯を期した二十の素志に反することゝなる

◇黒二七、また後の三三、また三九等々、みな同じ筋に當つてゐる點に注意する

◇白二八では實は（ヘ四）にトブか（ヘ五）にケイマするなど、直接黒二七には應じない態度でありたいところであるが、上邊は白（チ三）のオサへを有力ならしめたい意味もあるので、そのオサへと白（ヘ四）もしくは（ヘ五）とは兩立しない、いづれか一方の價値低下であり、重複だからである

◇白二四、二六、三二にアキ三角の愚形を生ぜしめた所に黒二七の形とされる理由がみ出されるこの結果において白二六が如何にも氣の利かぬ働きのない點に當つてゐることは一見明白であらう

◇黒三三の効果は白三四を餘儀なからしめ黒三五を導いて自然に（チ四）を衝かれる缺陷を除いた所にもあらはれてゐる

◇白三六は勢ひとしても斯く行きたい形であるが、これより黒三九以下、戰線が漸く中央に展開されるに至つた經過は味はうべきであらう

◇白三八はそれにしても（チ六）にオシ黒（ワ六）白（ワ七）とハネ出し、この方で應じたい處だつた

◇黒四一についての對局者のことばには無條件で贊意を表したい四一は如何にも重い氣分であつた、白四十まで、二八、三十、三二の愚形を生ぜしめたる所に滿足し、且つ白三六、四十にも他日の黒四一を保留して白（リ十）の愚形を約束すれば足りるといふのでありたかつた、重いといふのは三三の一子だけならてみると負擔を増し、これを捨てにくい形にしてゐる意味である、四一にて四九ケイマし白（ル八）ならば黒四五とオスなど實に理想的であつた——

家庭顧問

妻を家督相續人とする法を

【問】 私共夫婦には子供は御座いませんで目下相續者も御座いません、主人は戸主で弟が一人あります、でも分家をして子供も澤山あります、萬一主人が死亡しました場合は遺産相續は弟が致すやうになるさうですが妻たる私が相續者となるには生前良人が私を家督相續人にすると指定して置けば問題はないと六月號主婦の友に「若い未亡人のための身上懇談會」のところに記されてありました、その「良人が妻を家督相續人に指定する」といふのは如何に致せばよろしうございますか誠に恐れ入りますがその樣式を具體的に御教示を頂きたう存じます（M子）

公正證書を作りなさい

【答】 簡單です、唯貴女の御主人が「自分の死亡したときは貴女を其家督相續人に指定する旨」を遺言して置かれるとよいのです、遺言は自筆證書、公正證書又は祕密證書の何れかに依つて作成する必要があります、しかし形式が矢釜しいので折角の遺言も無効になることがありますから公正證書を作成して置かれるのが安全です、公正證書を作成されるならば詳しい事は民政署の法務係でお聽きなさい若し自筆證書を作られるならば遺言者その全文、日附及氏名を自書しこれに捺印しなければなりませぬ、なほ自筆證書中の挿入削除その他の變更は遺言者その場所を指示しこれを變更したる旨を附記して特にこれに署名し且つその變更の場所に捺印しなければ遺言としての効力がないことになります（寺島由松）

家庭重寶帖

牛肉と豚肉 牛肉を燒いて食べる時には、あまりしん迄充分に燒くよりも、まだ中に赤味が殘つてゐる半熟の程度にする方が味もよいし消化も大變好いものです。然し豚肉を燒く時には充分火を通して、よく〳〵燒いてからでなくては食べてはなりません。豚肉には寄生蟲が多いからです。

玉葱の臭ひ 玉葱をむいたあと、手に強いにほひがついてお客樣の前へ出るのに困つたりしますが、そんな時は唐辛子をよく兩手にこすりつけてそれから水でざぶざぶとよく洗ふと、にほひはすつかりされてしまひます。

商店界ニュース

△三越（七日より十日まで）澁好み男物衣裳陳列會（同前）多摩結城優秀品陳列（以上二階）

大連 JQAK 十一月四日

▲午前六時卅分　ラヂオ體操第二
▲午前七時　ラヂオ體操第一
▲午前十時　レコード
▲午前十一時五十分（新京より）講演「滿洲國を中心とする日滿蘇の情勢について」關東軍參謀歩兵中佐末藤知文
▲午後零時（時報）
▲午後零時二分　ニュース
▲午後三時三十分　ニュース
▲午後六時三十分（東京より）舞臺劇「アタカノお關」（場景）一、松平家書院　二、同玄關先の場、尾上多賀之丞一座
▲午後七時五分（東京より）哥澤一、玉川　二、夜の雨　三、鶯の笹鳴き、哥澤芝文、三味線哥澤芝金
▲午後八時三十分（時報）
▲ニュース
▲職業紹介事項
▲氣象通報

本社特選 新棋戰（其四）

平手　先七段△齋藤銀次郎
　　　七段▲溝呂木光治

【圖は五三銀迄の局面】

齋藤氏持駒歩

九	八	七	六	五	四	三	二	一	
香	桂	銀	金	王	[illegible]	銀	桂	香	一
	飛						角		二
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	三
									四
									五
歩		歩		歩	歩	歩		歩	六
									七
	飛		歩	銀	歩	角			八
香	桂	金		玉		金	銀	桂 香	九

溝呂木氏持駒歩

△一五歩　▲六四銀
△六六角　▲七五歩
△二二角　▲同銀
△七五歩　▲同銀
累計四十手

土居八段講評 齋藤君は一四歩のまゝでは、端歩を突いた價値がないから、此處で一五歩と突き出し置いたのは至當、但し六六角の處は直に六六銀と豫防して置く方が、端の位勝ちの此の局形としては有利である。

萩原七段解説 齋藤氏の一五歩は、此處で四六銀では、敵に六四銀と出られその時一五歩では敵に七三桂と跳ねられて充分に指されるので、一五歩と突いて、敵の模樣を見たのである、次の六六角は、敵が八二飛なら二二角と交換して、七一角と窺つたのである、溝呂木氏の七五歩は、八二飛と引いて二二角、同銀、七一角、八四飛、二六角成、四四角と打つて指す方が手得になつて得である齋藤氏の二二角は、當然で敵に五五歩と突かれては、角の活用を消されて惡くなる、溝呂木氏の七五同銀は七二歩打を與へて面白くない、五五歩と突いて六五角打を窺ふ方が優つてゐる。

滿日各地版

着々建設され行く鮮農安全農村
河東、營口、亂石山の三地方 既に開墾四千町歩

【奉天】事變以來三萬有餘の在滿鮮農は多年永住の地を逐はれて各地を流浪しつゝあつたゝめ關東軍、朝鮮總督府大使館で之等鮮農の救濟對策を研究の結果、各所に安全農村を創設して永住せしめる事となり之が經營を一切東亞勸業公司に委任され左記の三ケ所に農場を設置されたので配置された鮮農は孜々として開墾耕作に從事して居る

△河東農村　吉林省珠河縣及延壽縣に跨り松花江流螞河の右岸にありて既耕水田七百八十町歩、畑其他一千六百九十町歩を有する約二千五百町歩の一大集團地である、農耕期間中における氣溫概して良好にして降雨量多く用水は充分である、水田計畫は二千町歩、宅地畑地五百町歩にして鮮農收容戶數豫定は一千戶人口五千人、一部落五十戶二十部落を以て創設する筈である、現在收容戶數は五百七十九戶二千五百九人で職業及生活の安定を確定し相互扶助の美風を涵養し土着の精神を助長しつゝあり、農作物は土地肥沃のため水田は反當り二石五斗、畑地は蕎麥その他一石の割合で平年作以上で現在の耕地收穫豫想は籾二萬石、蕎麥その他一千二百石の見込みである、各部落は殊に衞生に注意し醫師一名が派遣され診療に當り教育は學齡兒童五百八十名に對し差當り各書堂に收容し將來學校建設の豫定で金融に關して避難鮮農が多いので多くは資金缺乏し居るためハルビン金融組合が出張所を設けて農耕資金其他の貸付をなしつゝある、警備は約四十名の警官が常駐される事となつて居るのである

△營口農村　營口縣下第七區小碾子房村萬方より遼東灣に向つて展開せる一大集團草生地にして總面積二千五百八十町歩の中一千九百二十町歩が水田として他は宅地及菜園地道路に充てらる筈で既に一千二百町歩[illegible]戶數八百戶、四千人の豫定にて目下六百三十六戶三千十二人の鮮農が開墾に從事してゐる、部落を十二ケ部落に分ち中央部落に總督府派遣醫師が駐在し診療に從事し居れり、學齡兒童は四百名ありて本年度は簡單な學校によつて教育し來年度學校建設の豫定にて初等教育の普及に努める事となて居る、金融方面にありては本農村は目下工事中にて收容者は工事の出役をなして衣食の資に充て居るも明年度よりの農耕に當りては相當の資金を要するを以て營口金融組合より農耕資金の貸附を行ふ豫定で其他副業增進の諸施設として農務楔、共濟組合、消費販賣組合等も新設される筈である、警備は鮮人在鄕軍人四十名が之に任ずる事となつて居る

△亂石山農場　鐵嶺縣亂石山滿鐵本線の西方一邦里の地點にありて約六百町歩の水田を有する集團地である、地味肥沃にして稻作に好適の地である、總面積七百二十町歩にして百二十町歩は畑その他で鮮農收容戶數二百五十戶一千二百五十人の豫定にて現在二百三十三戶一千二百七十一人を收容し將來は自作農を創定する筈である、本年度の收穫豫想作付反別六百九十五町四反にて一萬三千四百五十三石の豫定である、本農村の衞生に關しては鐵嶺開業の朝鮮醫師を囑託醫として衞生施設を委囑し衞生狀態は概して良好である教育方面に關しては總督府補助の下に亂石山普通學校を設立し百二十名の兒童を收容し教師三名にて教育をなす傍ら實習水田を耕作せしめ農事知識の涵養に努めつゝあり、本農場の金融は鐵嶺金融會より農耕資金一萬六千六百圓を貸附けて居るが回收成績は極めて良好で又副業として繩叺の製造に從事し昭和七年度においては約六千五百圓の收入を見て居る、警備は地方治安維持されて居りて收穫期に多數警官の現地保護を乞ふてゐる

奉天の鄕軍數五千を突破
行方不明者も增加す

【奉天】奉天署管內における在鄕軍人の數は十一月一日で五千を突破して五千五名に達し僅に二個師團を凌ぐ數となつたが、之を官等級に區別すると將校同相當官四百名、准士官八十九名、下士官四百二十二名、既教育兵千九百四十六名、未教育補充兵二千百四十八名で前月より百五十六名前年同期よりも千八百十八名增加して居る、一方の大家族だけに奉天を中心に移動者非常に多く本年一月から十月末まで實に六千二百三十六名の多數に及んで居るが無屆で轉居又は滿出して所在不明のものが三百五十五名もありその中には[illegible]去せるもので在滿所在不明のものは所轄民政署、警察署又は領事館に屆出をなさないと陸軍武官服役令施行規則並兵役法施行規則違反者として告發せらるゝので此の際至急屆出されたいと

茂林廟小學校 明春再開

【四平街】茂林廟活佛（巴旺圖巴圖）は民國十八年茂林廟小學校々舍を設立して同地の住民並に廟關係者の子弟約五十名を教養してゐたが滿洲事變勃發と共に匪賊の迫害を蒙り住民の逃避により遂に閉校の已むなきに至つたが再度教化の必要に迫られ昨年三月二十二日通遼縣城內西街格根倉（活佛別莊）內に格根倉主滿蒙小學校を設置して生徒三十名を收容し活佛秘書白廣慶を教師として教養に當らしめてゐたが新興滿洲國建設され治安も確保せられたので茂林廟小學校の再興を計畫し低劣なる蒙人の文化開發を計らんとして來春季より開校すべく目下畫策中であるが教科は滿洲國々語教科書の外に農古科の一科を加へ教授する豫定であると、因に生徒の諸經費並に生活費は全部活佛より給與する

滿洲の南端 旅順初氷
例年より六日早い

【旅順】一日夜半から吹き荒れた强風は雨さへまじへて物凄い光景を呈し夜に入つては本年初めての冷氣を示した、それが爲め二日の朝は旅順にも初氷を見せた、昨年に比すと五日早い、更に例年に比すと六日早く訪れた譯である、此寒氣で滿洲最南端に位する鐵地旅順にも愈々本格的の冬が訪れて來たのだ、觀測所員の語る處に依ると

「奧地方面の優勢なる氣壓に依り此現象を見せたので玆兩三日はグーッと氣溫が下りませう、然し未だ暖い日は一二回位訪れます大した事はありませんよ」

鞍山第二小學 校上棟式

【鞍山】就學兒童の著增に伴ひ豫て神社下に新築中の鞍山第二小學校の建設工事は高岡組の努力により工事順調に運び二日午後三時半から地方事務所、請負者並に在鞍官民有志列席の下に、屋上ベランダにおいて盛大なる上棟式が擧行された、神官の修祓祝詞に次いで森地方事務所長、高岡組代表、南部同校々長、長井地方委員議長、梅根製鋼所銑鐵部長その他玉串奉奠を行ひ芽出度く式を終り一同階下手工教室に設けられた祝宴場に列し森所長南部校長の挨拶、梅根部長、田中第一小學校長發聲にて第二小學校並に高岡組の萬歲を三唱祝杯をあげた、なほ同校總工費二十五萬圓今明兩年度豫算を以て新築中のもので二十四學級制の堂々たる小學校で明春一月開校の豫定である

歩行週間の催し
滿鐵社員會の計畫

【奉天】健康は步行から、强く元氣に……をモットーとして滿鐵社員會聯合會青年部では近く步行週間を實施し大いに步行獎勵の大々的宣傳を行ふこととなつたが大奉天が南方地區に伸展すると共に社宅が漸次遠くなり從つて洋車、馬車等に乘り勝ちとなるのでこの際步行を獎勵すると共に健康の保全を圖ると

騰鰲堡旅行

【鞍山】滿鐵社員會聯合會では五日希望者を募つて鐵西騰鰲堡旅行を決行し鞍中瀧澤教諭の先導にて秋色豐なる同地の寺院、燒鍋場、興盛廟等を見學することゝなつた

モヒ阿片中毒者の治療法發見に成功
青年醫師高氏の研究

【四平街】樂しかるべき人生を一片のモルヒネの爲めに身を暗黑の淵に送る哀れな同胞、さては中毒に人生を悲觀して自滅の一途を辿る者は世上枚擧に遑がない、モルヒネ患者は果して救濟の方法なきものか世界の醫學界に於て研究討議されてゐた問題であるが這回一青年醫師の研究により暗黑の世界に鎖く多數癮者を完全に治療する方法が發見された、此の報一度世界の醫學界に傳はるや俄然一大センセイションを捲き起し今や賞々としてその功績が讃へられてゐる

而してこの榮譽を擔ふ人は朝鮮總督府囑託醫として曩に當地共濟醫院に派遣せられた高文龍氏である氏は當今稀に見る篤學の士として定評ある處なるがモルヒネ癮者の救濟法を多年京城大學醫學教室において研究の結果遂に阿片習慣の原因とその治療法を發見、本年七月學位論文を京都帝國大學に提出し去る十月三十日同大學醫學部教授會を通過し醫學博士の學位を獲得した新進氣銳の士である、因に氏の論文は左の如し

▲主論文……モルヒネ及阿片習慣の原因並に治療法

▲副論文……一、甲狀腺機能檢査法の一新法二、アルカリ鹽類の甲狀腺に及ぼす影響三、植物神經毒の甲狀腺に及ぼす影響四、腦下垂體ホルモンの發見五、バルトネラ貧血の原因に付て、六脾臟ホルモンの確定七、脾臟の赤血球に及ぼす影響八、姙娠と甲狀腺との關係

阿片モヒ患者の救濟施療院設立
滿洲國內七ケ所に

【奉天】滿洲國政府民政部では豫て阿片モヒ患者の救濟施療院を設置すべく計畫中であつたが最近具體的決定を見たので豫算三十萬元を計上して新京、奉天、ハルビン吉林、チチハル、承德、滿洲里の七ケ所に救濟施療院を設立するに決定し奉天においては豫算十六萬元を以て小西關大街富貴銀行跡に設置する事となり目下工事中にて十一月中には開院の豫定で職員六名を以て三十名程度の患者を收容する筈で漸次擴張する豫定である

製鋼所汚水流出溝完成

【鞍山】昭和製鋼所では豫て工事中であつた化學工場より太子河唐馬寨に至る汚水流出溝の完成を見たので、從來迷惑をかけてゐた鐵西各部落區長、村長、警察署長、公安隊長等有志二十二名を有信飯店に招待し梅津庶務課長の挨拶、王第八區長の答辭について開宴、同暗渠今後の管理等につき懇談、三時頃散會した、本工事はかねて化學工場の流出汚水が附近住民に多大の迷惑をかけてゐたので製鋼所では總工費三十萬圓を投じ延長六里に亘る一大暗渠を造つたものでこれにより地方部民は完全に從來の脅威より脫したわけである

滿洲青年同志會奉天支部發會式
若人達の向上を圖る

【奉天】日本皇道の上に立ち日本の世界的使命を悟得し純情、至誠大義をかざし不惑、剛健、素朴、簡易、雄大、正義をモットーとして日常或は非常時に處し日滿渾一體の新生命を毀損冒瀆する一切の邪惡を排除せんとする在滿日本青年相會する滿洲青年同志會奉天支部に於ける第一回總會が一日午後七時より社員クラブに於て開催された、開會の辭經過報告に亞いで支部長に薦された衛藤奉天圖書館長は大要左の如き就任挨拶をなした

薦されて僭越をも省みず部長となるが自分等老輩に制扼を受ける事なく會員諸君は常に主體であり自主的な活動に邁進される事を切望する次第である、自分はそのための一サーバントとして動き得ば滿足に思ふ今日の非常時にわれ／＼は重大な試練を受けつゝある先輩諸老の教育政治その他百般の指導に甘んじて可とするの時は常に歷史的に一ゼネレーションの進行期に於てのみであつた現在は既に其の時代を經過し熱ある青年諸君の創意溢るゝ力を必要とする時勢の末期に在ると云へる、明治末期に於ても少數の死を賭した青年達によつて救はれ建て直されたのである、魚が將に腐らんとする時一握の鹽を要求する今日本は滿洲はこの鹽を切實に要求して居る、皆さんがかうした時代に自覺され大きな目標に向つて働かれんとする時自分はその一サーバントとして同じ仕事に向つて共に進みたいと思ふ、正しいものを求むる氣持これを追々と具體化し研究して一日も早くそのものを具體的に如何にすればいゝかといふ事を摑みたいと思ふ、諸々の形式を以てそれへ進みたい

續いて支部規約の決定あり支部委員を左の十一名に決定した

鯉沼、吉井、矢野、泉、黑柳、山崎、廣瀬、前田、奥田、波多野、樺島

會員の動議により

本會が量より質を重んずるといふ意味において各會員の質的向上をはかるため定期的に集まり合つて胸襟を開いて天下國家を論じ合ふ樣にすることと毎月一回有志のみ臨時衛藤支部長宅に集まり歡談する事となつたこの衛藤氏私宅の提供によつて朔日會ともいふべきクラブの成立を見るに至つた、その外支部として近く演說會を開く事等申し合せて同十時散會した

開原語學院開學式擧行

【開原】開原縣には昨年六月以來東文學社と稱する日語學校ありしが本年七月經費の都合にて遂に休校したので同縣青少年は協和會開原辦事處にその設立を懇請し縣當局も亦希望せしを以て開原辦事處は十月本部の承諾を得て協和會語學院規定に依り語學院を開原縣教育局內に設立すべく招生及諸準備を急いでゐたが入學希望者百二十五名を得て十一月一日正午臨坂獨立守備第五大隊長外日滿要人參列の下に盛大なる開學典禮を擧行した

鳳凰城附近に匪賊出沒

【鳳凰城】一日夜十一時半頃匪首王某の部下五十餘名は二隊に分れ一隊二十餘名は當地驛西方約十五町の艾家堡子に襲來、威嚇射擊をなしつゝ艾某外六名を人質として拉去し他の一隊は時家隈子（當地驛西方約一里半）を襲ひ十餘名を拉去逃走したが二日朝に至り賊は手袋、冬服、防寒靴等を三日以內に持參せよ然らざれば再び襲擊して家屋を燒き拂ふとの脅迫狀を人質の一人に持たせ歸宅せしめたので同村では極度に恐怖し全村民は二日當地滿洲街に避難した

遼陽片々

▲輸入組合では二日午後三時半から事務所で背後地旅商の經過報告と今後に於ける背後地進出の座談會を催した▲金融組合の十月中に於ける實績は會員出資金一萬七千二百圓、拂込未濟出資金四千二百八十五圓、新加入會員八名、月末現在百十二名、貸附金勘定前月末現在五萬九千四百八十四圓、本月末現在六萬七千三百八十三圓（手形貸付三萬七千七百廿五圓、低資貸付二萬九千六百四十八圓）預り金勘定前月末現在一萬五千三百卅一圓、本月末現在一萬五千八百六圓（拂込充當貯金四百五十八圓、定期預金四千六百七十圓、小口貯蓄預金一萬四百六十五圓、据置貯蓄預金二百十二圓）▲實業會は八日頃評議員會開催の上去る三十一日奉天における商議聯合事務協議會に於て協議された事項及び其の他の件を附議すと

旅順放送

▲重砲兵大隊を退官した橋口三一大尉は三十日附在旅各方面へ挨拶狀を寄せて來た氏は既報の如く今後大連長春驛二三に居をトし大飛躍をなす由

▲中村町九ノ二荻野三郎氏方では二十四日長男裕君同上

▲田家屯大倉忠吉氏方では二十五日六男秀郎君同上

▲双島灣岡田嘉一氏方では二十五日長男隆君同上

▲旅順水交社では今回女給さんを募集するが素人でも可希望者は履歷書携帶面談すると

スポーツマン丸茂が殺人罪を犯すまで （四）
人間業と思へぬ犯行

その翌日の夜丸茂と美智子の二人は道子と別行動を取つて星ケ浦のヤマトホテルに投宿し丸茂と美智子はスッカリ夫婦然としてその夜はダンスホール東亞會館を訪れた丸茂はそこで知人のダンサーからひやかされたが影では喜んでゐたそして丸茂と美智子は一生の思ひ出の旅を終へて十七日夜、又道子は十八日歸奉した、この旅が二人のためどれだけ樂しかつたかその日記が物語つてゐる

一方門永家では門永氏が總局へ行つたまゝ行方不明となつたが株、債券の賣買の關係でどこかの人を頼つて行つてゐるかそれとも同氏の呑氣な性質として沿線方面へ家族には無斷で出張したのではないかと見て餘り氣にも止めてゐなかつた處五日經つても七日過ぎても歸つて來たらずさては…といふ懸念から捜査願を警察に提出すると共に親戚知人、友人なども寄り集り心當りを探したがそれらしい影も姿も認めなかつた、今度は町內會總動員で生存は覺束ないと見て渾河、鐵西方面を隈なく捜査したが更に手懸りがなかつた、警察でもこんな奇怪な行方不明の事件はないとしてあらゆる方面から捜査の方法を講じ全力を擧げ捜索したがその甲斐もなく十日、二週間と日は遠慮なく過ぎ去りその間拉致說、監禁說等噂は噂を生み花々な流言が流布されるに至つた、そして門永家では生存の門永三藏氏發見の場合には千圓、死體發見の場合には五百圓の懸賞金をつけて全市に捜査網を張つたのである

★

この奇怪な失踪事件の直接捜索の任に當り苦心慘膽努力したのは警察當局である、門永氏が金錢、融通取引には全く關係ない事をつきとめた後殘るのは門永氏が殺害された當日債券の取引を行つた最後の人總局の無電係り丸茂である、彼は溫順でありスポーツマンでありそれに總局員で友人間にも受けがよかつたので犯人はこ奴だとの確證を握ることは頗る困難であつた總局側で一旦丸茂の宿舍峻寮の內部の樣子を探つて見たが一寸も取り亂した形跡がないので事件は愈々奇怪に入つたのである

警察官も丸茂について取調べたがそれらしい態度は一寸も見せず全く謎の事件として終らんとした、丸茂が奉天を去る前日の二十一日に更に本署に召喚取調べを行つたが彼は「知らぬ、存ぜぬ」の一天張りで顏には微笑さへ浮べてハッキリと答へる始末にどう見ても手の下しやうがなかつた

★

十七日歸つて來た丸茂は峻寮の居室に寢てゐた、そして門永氏失踪事件で懸賞金が附されてある廣告を見てその友人が「やあ門永氏を探し當てたら千圓、死體を發見したら五百圓貰へるぞ」といふと丸茂も「これはよい金儲けだ一つ捜し當てやうかな」と平然として答へてゐたが之を丸茂のみ知つてゐる……門永氏の死體は自分の部屋の床下奧深くかくされてある、誰も之を發見することは出來ぬ、自分だけ知つてゐるのだ……との强味から平氣を裝うてはゐたがこの話が持ち出される毎に彼も膽玉をえぐられる思ひがしたやうである

警察の取調べを受けてその場は難なくいひ逃れたがこれからいつまでも居ることは出來ないとソロ／＼氣懸りとなり愈々二十二日となつて「僕の親が病氣で危篤であるとの電報が來たから急にかへるやうになつた」と美智子に告げ旅費として百圓を融通して貰ひ「きつと歸つてね」と涙の別れをして奉天を去り大連に赴きその翌日天津丸にのり天津に難なく逃れたのである

★

彼が奉天を去つて六日目の二十七日となつて丸茂が親危篤で內地に歸つたといふのにヒントを得た警察では彼のダンサー吉野美智子に何か手紙は來てゐないかといふ點に目をつけ早速美智子について聞いて見ると果ぜるかな丸茂が天津に去る時大連で認めた第二回目の手紙には「世の中がいやになつた死にたい」との文意であつたので警察官も「これだ」とばかり俄然色めき丸茂の部屋の內部を隈なく大捜索を行つた結果、世にも恐るべき犯罪を行つてゐることが判り之を聞くもの虫も殺せぬあの男がと異口同音に叫びその大膽さといふよりも人間の仕業でないといふことに吃驚し、世の中に一大センセイションを起したのである

又奉天を去つた丸茂から美智子にあてゝ「お見送り有難う、元氣だよ、あまり淋しがらんでゐて呉れ、俺もお前以上だ、直ぐ歸つて來る、お前の腕に抱かれた、夜の十時四十五分お前の事を考へると涙だけだどんなことがあつてもお前一人ぼつちにさすものか元氣で待つてゐて呉れ未だ香水の香りがお前の香りがあの時のまゝだ朝と夜寢る時はリングにキッスしやう、後あまり時間がない今日は一寸大連も寒い元氣で行つて來る、お土產などつさり持つて歸る、樂しみに待つてゐて呉れ」これが丸茂が大連に去つて美智子に送つて來た最初の手紙で、警察で犯人の確證を握つたのはその次に丸茂から出した手紙であつた

★

又これに對し美智子から丸茂あてに「御機嫌よう行つてゐらつしやい淋しい胸を押へて泣かずに待つてゐます、キット歸つてゐらつしやることを（中略）やつぱり美智子も弱い女でした、强くならうとしても今の私は强くなる男氣はありません、誰が彼女を弱くしたかです（下略）」との戀文が屆いた丸茂は絕對奉天には歸らない、大罪を犯した良心の苛責にたへず機會を見て自殺せんとする決心であつたのであるが機を失してつひに逮捕された、彼が大連から天津丸に乘船する時乘船名簿に吉野道夫と認めてゐたこと又天津に逃れ美幹館に投宿した時も同樣僞名してゐたことも愛人吉野美智子の名を藉りたのであらうが捜査上には最もよい手懸りとなつた譯である（完）

全滿を擧げて壽ぐ明治節

奉天 三日明治節當日の奉天では午前九時から各學校において拜賀式が擧行され、奉天神社では午前十時から遙拜式が施行され各戸に國旗を掲げて祝意を表し、その他各團體では意義ある催しをなした、殊に明治會では午後四時から金龍亭において故會員追悼會後第二回總會を開催した

遼陽 遼陽では明治節當日午前八時半警察署の拜賀式を始めとして午前九時には神社で式典が行はれ多數在住民の參列あり九時半から小學校で拜賀式が行はれた領事館廢止後の在住官民は御眞影を奉戴する小學校の式典に參列することになつたのである、午前十一時には公會堂において在住者の奉祝會が催されたが出席者約百八十名沖地方事務所長の奉祝の辭に次で熊谷衛戍病院長の發聲で陛下の萬歳三唱の後閉宴十一時半閉會した、小學校附屬幼稚園では華道橋會支部の展覽會が滿鐵家事講習所では社員婦人會講習所員の生花展覽會が催された

營口 明治大帝の御威徳を追憶し奉る三日午前十時より營口小學校講堂にて式を擧げた、晴々さした兒童達は受持教師に連れられて一糸亂れず整列一般參列者も粛然さして參集森口校長は開式を告げ君が代の合唱に次いで御眞影開扉校長恭々しく勅語を捧讀して後明治大帝のこの世にましませし御時の御事ども二、三を謹話し訓話終つて閉扉兒童の勅語奉答の歌明治節の歌合唱にて式終ろこの時森口校長は關東廳官報に依る朝香宮妃允子内親王殿下の御薨去遊ばされし事を一同に告ぐ、兒童は元より參列者一同は憂色面に漂はせ唯々愁然さして退場した

公主嶺 公主嶺の明治節……育成所を見學した

瓦房店 明治節の式典は十一月三日午前九時より澄み渡る秋晴れに惠まれながら瓦房店小學校に於て擧行された定刻守備隊、警察署、地方事務所員、病院、驛、郵便局、電報電話局、機關區、保線區、在鄉軍人、青年團、地方委員、市民、學校職員生徒、聯合婦人會、禮服襟を正して參列先づ校庭に於て君が代合唱嚴粛裡に國旗掲揚式を了しそれより講堂に一同着席式場は金色燦然と輝く校旗を

中央に秋を彩り香も滿ろ菊花を兩側に飾り拭き清められた壇上に雪本校長君が代合唱裡に恐懼して御眞影靜かに開帳一同最敬禮次に校長恭しく教育勅語捧讀續いて明治大帝の御即位當時には汽車もなかつた汽船もなかつた事より説いて四十五ケ年間歷史の大業を緒き一等國に列した大帝の崇高なる御遺徳を我が子孫臣民の永へに踐行すべき實訓を下し賜ふ事更に四方の海皆同胞と思ふ世になど波風の立ちさわぐらんと御製を捧讀して世界の平和を愛好された御治世を偲び奉りて諭告次に明治節合唱裡に謹んで閉帳一同敬禮午前十時終了退散した

普蘭店 三日は朝來東北の微風あり多少の秋冷を覺へたが和やかな佳晨であつた午前八時普蘭店神社に於ける明治節祭を始め

さし同九時より民政警務兩署員小學校職員生活及一般の御眞影拜賀式を順次擧行市中は日滿人各戸國旗を掲揚し祭日氣分旺溢した

鳳凰城 鳳凰城警察署では三日明治節當日午前九時より同署裏庭において遙拜式を、また鳳凰城小學校においては午前十時より同校講堂において來賓父兄參列の上遙拜式を擧行、松原先生の明治天皇の御威徳についてお話があつた

蘇家屯 帝國在鄉軍人會蘇家屯分會にては明治節遙拜式を午前十時より小學校講堂に於て次の順に行はれ一同着席、敬禮、廣瀬理事開會の辭、加藤分會長の勅諭捧讀、閉式の辭、敬禮、解散後は幼稚園々舍に集合し當分會の發展をより以上になさしめる目的を以て意義ある座談會が催された

明治節をトし奉天のマラソン
友誼體育團體と玉君勝つ

【奉天】奉天體育協會主催秋季マラソン大會は三日の明治節をトして午後一時から中央廣場を起點さして擧行された、當日は絶好日和に惠まれ參加者多く市内を韋駄天走りに走つたが、團體側では友誼體育團體、個人では玉君が一等を占めその他入賞者には夫々永田氏より賞品が授與され、木谷體育協會副會長の發聲により萬歳を三唱し午後三時半頃盛況裡に解散した、尚當日の成績は左の如し

▲團體 一等友誼體育團體（三十二分二秒七）二等中央陸軍訓練處、三等兵器廠
▲個人 一等玉懐偉（三十四分二十六秒二）二等李國忱、三等宮濟明、四等于序昭、五等李毓春、六等大阪弘、七等田世發、八等李茂盛、九等張樹隆、十等南洞邦夫（寫眞はマラソン大會）

奉天鄉軍總會

【奉天】在鄉軍人奉天東分會回總會は三日午後一時半から小學校講堂にて開催された、來賓さして井上守備隊司令官、中村領事、粟野地方事務所長、……内會聯合會長、松井醫大醫院長……多數あり先づ西田氏の開會の辭に次いで粟屋分會長の勅諭捧讀、……拶があり、十川氏の會務報告、……員補缺選擧、功勞賞表彰狀授與……木下聯合分會長の挨拶、水原支部長の挨拶の後來賓側上田統、粟野後一の兩氏、黑崎中將、井上守備隊司令官の祝辭が終つて宴に移り、萬歳を三唱して午後四時頃盛會裡に散會した

鄉軍滿鐵分會

【奉天】三日明治節をトして在鄉軍人奉天滿鐵分會總會が開かれた初冬の晴天に惠まれた絶好の祭日續々と會場彌生小學校に詰めかけた會員二百、先づ正午より銃劍道劍道の事務所、鐵道部、總局の對抗試合あり總局四十三點を獲得優勝カップを得、個人優勝さして

▲劍道 一等岩崎金二郎、二等黑岩盛高、三等兒玉博享▲銃劍道 一等友利繁雄、二等藤崎角二、三等廣瀬虎雄さ決定

岡村滿洲支部長、水原奉天支部長よりの各賞狀を受け午後二時三十分午餐の後いよ〱總會に入つた先づ開會の辭に次いで君が代二唱、勅諭勅語捧讀、舟木分會長の挨拶に次いで會務報告功勞章及表彰狀授與があつたその外今度新に併合された鐵路總局の會員等を含めて役員の改選あり、木下奉天聯合分會長の訓辭、水原奉天支部長訓辭、井上守備隊司令官の訓辭あり、來賓の祝辭を以て祝宴に入つたが五時會歌齊唱萬歳三唱を以て散會した

遼陽鄉軍總會

【遼陽】遼陽在鄉軍人分會では既報の如く三日午後一時から商業實習所講堂に於て總會が催され多數の會員の出席さ來賓の參列があり午後二時から小學校々庭に於て各班粒選選手の對抗銃劍術競技が催されたが優勝班は聯合班さ決定個人優勝は一等杉山、二等原屋敷、三等石崎、四等石田、五等井上で一等の杉山君には在鄉軍人聯合會長、春見支部長、細矢分會長の賞狀さ賞品が、二等原屋敷君には春見支部長、細矢分會長の賞狀さ賞品が、三等以下五等迄は賞品がそれ〲授與され終つて實習所講堂で祝宴が開かれた

大石橋鄉軍

【大石橋】帝國在鄉軍人大石橋分會にては本（三日）明治節當日午前十時より小學校講堂に於て在鄉軍人分會秋季總會並びに同分會設立記念式を開催した式次次の如し

一、開會の辭伏木分會副長二、國歌合唱高梨理事指揮三、勅諭勅語捧讀山下分會長四、會務及行事報告山下分會長五、役員紹介山下分會長六、會計報告高梨理事七、支部長訓辭井上支部長八、祝詞倉橋顧問九、在鄉軍人會々歌合唱馬場理事指揮十、萬歳三唱井上支部長十一、閉會の辭山下分會長

右終つてより公會堂にて記念宴あり午後一時解散せり

安東の敬老會
愛國婦人會支部で

【安東】愛國婦人會安東支部主催の敬老會は三日午前十一時から公會堂で開かれ可愛い孫達やお嫁さんに手を引かれた七十歳以上の男女高齡者さ來賓で廣いホールも一杯さなり無邪氣な幼稚園兒の童謠舞踊や琴尺八合奏、手品などに打興じうどんや、菓子のおもてなしで淸く和かな半日を過ごした、市内居住の七十歳以上の高齡者は田中ユキさんの米壽を始め男三十六名、女五十四名である（寫眞は敬老會に集まつた高齡者）

傷病將士を慰め遼陽校の音樂會

【遼陽】遼陽小學校の音樂會は三日午後一時から同校講堂で催されたが衛戍病院入院中の傷病將士、檢察官兒童父兄で廣き講堂も立錐の餘地なき有樣で午後四時半終了したが當日のプログラムは

一部▲齊唱須磨の曲（六年高等家政）▲齊唱あわて床屋（一年男女）▲獨唱時計臺の鐘、荒城の月（六男田中祐助）▲齊唱チウーリップ、お洗濯（幼稚園兒）▲齊唱押くらまんぢう、居眠り地藏（二年男女）▲齊唱舞踏、麥笛（四女有志横尾章子）▲齊唱御子神樂（三年男女）▲三部合唱雷雨行（五、六高等男女）二部齊唱ポンポコ狸（一年男女）▲齊唱波がざんぶりこ、螢（三年男女）▲獨唱付二部合唱アロハ・オエ（五年男女）▲齊唱むこらの椋助、一寸法師（二年男女）▲ピアノ連彈アニーローリー・オールドフォックス（六年辻中一重、五年守弘敏子）▲二部合唱おくれ時計、ころころ蛙（四年男女）▲獨唱霧、故鄉を後に（五年岡田繁雄）▲三部合唱浦のあけくれ（五、六、高等家政）三部▲舞踊昭和の子供、一兒の電報（一年男女）▲舞踊紙風船（幼稚園兒）▲舞踊俵はごろごろ（二年女）▲舞踊およばれ（三年女）▲舞踊月の砂漠（五年女）▲滿洲國國歌行進曲（高等科女子有志）▲舞踊哀愁のワルツ（六年女）▲劇炎の城（五年男）

羅津郵便局

【羅津】羅津市民の熱烈な運動さ當局の英斷に依り雄基郵便局羅津出張所の郵便事務取扱は十一月一日より獨立して取扱ふこさゝなり市内の集配も午前さ午後の二回配達することゝなつた、此の郵便集配事務の獨立に依り直接受くる市民の利益は從來郵便物は雄基郵便局を經由して居たので淸津、羅津間の如きは一日四回の定期自動車及定期航路の便あるにも拘らず差出日より二日乃至三日目に受取人に配達されて居たが十一月一日より差出した其の日に配達されるとさなり從つて京城羅津間の四日阪神地方の六日が各地方とも二日宛短縮されることゝなつた

國境毎日の社長交替

【安東】安東で發行する國境毎日新聞社は社長吉永成一氏が一身上の都合で引退したので、新義州の實業家多田榮吉氏が社長に就任經營に當ることゝなつた

闞市長渡日

【奉天】闞奉天市長は都市計畫その他に關し内地の主要都市視察のため來る七日安奉線にて朝鮮經由赴京するさ

鰯召しませ
罐詰で滿人の食卓に 安東貿易支部の試み

【安東】朝鮮東海岸の咸鏡道や江原道で獲れる鰯は莫大なもので、勿體なくもその大部分は肥料に使つてゐる有樣であるが、朝鮮貿易協會安東支部ではこの鰯を罐詰にして滿洲に入れたら滿洲人の食膳を經濟的に賑はしまた鰯需加にも盡きるだらうさ一石二鳥の妙案を思ひ付き、目下宣傳見本品を取寄せ中でそれが着いたら原價で奥地商人に配附して宣傳する筈であるが、これまでごうしたものか安くて美味な鰯の存在が滿洲人には知られてゐなかつた、しかし滿洲人が鹽鯖を愛好し相當輸入されてゐるので一度鰯を知つたら必ず歡迎されるだらうし、元來安い物だから無限の需要を喚び起すであらうさ貿易協會では非常に意氣込んでゐる

奉天と安東の猛烈な爭奪戰
スケート競技場を繞り

【安東】わが國氷上スポーツの最高峰である全日本スケート選手權の本シーズン大會は滿洲で開催されることになり、會場の選定は滿洲體協に一任されてゐるが日滿の國境であり、鴨綠江の大自然リンクを有する安東と滿洲の中心であり國際運動場リンクを有する奉天との間に猛烈な會場爭奪戰が行はれる形勢で、來る十日奉天に開かれる同大會準備協議會の結果を注視されてゐる

自衛團淘汰
復縣政府で

【瓦房店】復縣政府では李縣長荒川參事官の大英斷により農村の振興甦生を目標に自衛團員の大淘汰を斷行する事になつた縣下に配置する警備自衛團は常駐百九十三名臨時二百六十一名計四百五十四名にしてこれが經費は一人當り一ケ月十元にて年五萬四千餘元に達し村費に計上し村民の負擔さなり經濟上著しい窮狀を齎らしてゐる際に疲弊困憊せる農村に取つては相當過重である此の財政窮迫せる實情に鑑み村民負擔の輕減を計る爲には先づ人件費の削減をせねばならぬ事は現下の急務である縣下は幸ひ昨年も今年も村民の一大脅威たる高粱繁茂期に何等の被害なく治安維持は全く確立され今後行政警察官の力で充分である事が認識されたので十一月二日午後一時より縣會議室に李縣長荒川參事官有山指導官周警務局長顧警察大隊長會合慎重協議の結果警察隊員百十五名自衛團二百六十一名を整理するに至れり整理後の陣容については關東州内に施行されつゝある壯丁團を組織し尚保甲制度を採用し警察機能を充分に發揮せしむる期を俟つて更に常駐自衛團一百九十三名も近く整理斷行する事に決定解傭者には一ケ月分の慰勞金を支給する事に決定した

各地片々

◇チチハル チチハル領事館並に領事館警察署にては署員の増加に伴ひ夫人連も急激に増し、約三十名に達したので内田領事夫人は齋藤署長夫人さ協議の結果、銃後婦人の團結さ親睦を計るため「主婦の會」を組織し三十一日午後一時半より内田領事官邸に於て盛大な發會式を擧行した

◇本溪湖 安奉線歪頭山にかねて建築中であつた警察官吏派出所はこの程竣工して十一月二日午後一時二十分より各方面の人士を招いて開所式を擧行した

◇大石橋 ストーブ、ペーチカの季節さなつたので當地地方事務所に於ては之が防火宣傳の爲め來る八日「モーターサイレン」を鳴報する由なれば一般市民は左樣心得られたし

◇大石橋 五日午後六時より滿鐵社員倶樂部に於いてアイヌ酋長門別光藏氏のアイヌ民族の眞相と題する講演會を催すさ、聽講料無料、因に講師門別光藏氏は北海道旭川アイヌ研究所講演部長にしてアイヌ酋長なり隨伴せる妻女及び家族はアイヌ民謠及アイヌ踊りなどを供覽する由であるから多數御來場を歡迎すさ

◇鞍山 昭和製鋼所では二日午後一時半より伍堂社長列席の下に社長室に於て久方振りの部長會議を開き同所當面の諸問題殊に研究方面につき九大井上博士も來鞍中につき種々計畫の打合を遂げ三時半散會した尚伍堂社長は同夜十一時三分發赴連八日頃歸鞍の筈である

◇鞍山 柳町楠家の増築披露宴は一日から三日間に亘り在鞍知名士並に顧客同業者有志等百數十名を招待し新築の大廣間で盛大に催された、なほ大正通天耑では本夏來増築中の百疊敷大廣間の工事完成を遂げたので五日午後から同樣落成祝宴を行ふ由であるが昭和製鋼所の設置決定さ同時に本夏來起工中の大小各種の建築物は昨今順次竣工を遂げて披露宴や自祝宴が毎夜の如く催され凋落の晩秋ながらこゝ鞍山だけは希望に充ちて冬籠りに入るのかさも思はれる

◇營口 十月二十一日新市街に支店を設け連日滿員の盛況を見せて居る瀬海樓は三日午後五時より市有力者を招待し開店披露宴を催した

◇營口 王商務會長は曩に營口經濟界の困窮を訴へる爲め新京に出張の所一日午後三時着歸營した

◇營口 營口領事荒川光雄氏は曩に新任太田領事の着任に依り事務の引繼ぎを完了したれば三日午後一時四十五分發列車にて離營、驛には官民多數の見送りありて其行盛んであつた

◇普蘭店 普蘭店民政署にては管内各會書記並に書記補に對し十月十八日より同月三十一日まで第五回地籍事務講習を行ひ中里土地係主任以下中村、山内、辛、威氏等講師となり土地臺帳及名寄帳事務、分割細部測量並に學科等の講習をなしたが成績概して良好であり修了證書を授與せられたる者三十五名である

◇鳳凰城 目下新築中の鳳凰城景演武場は工事も半ば進捗し二日午前十時から上棟式が莊嚴に執行された、式は神職の修祓に依り始められ十一時過ぎ終つたが式後田上署長は官民十餘名を小林旅館に招待し祝宴を開いた

◇營口 營口圖書館にては十一月一日より七日まで圖書週間として無料帶出を自由さし圖書の利用を奬勵又七日午後七時より營口知名の士二、三講演を爲すべしさ

◇營口 三日は明治節に就て營口は諸催し集會等開かるべき所朝香宮妃允子内親王殿下御薨去の報傳はるや市民は謹慎し凡てを御遠慮申上げた

◇營口 滿鐵社員獨身宿舍開寮二十五周年の記念祝賀會並に演藝會は三日午後六時より營口座に於て行ふべき筈の處朝香宮妃允子内親王殿下の御薨去の報に接したる爲哀悼の意を表し奉り御遠慮申上ぐる事さし四日午後六時より同營口座に於て開演することゝした

◇營口 在鄉軍人營口分會にては二日午後七時より警察署講堂に於て役員會を開いて二三事項に就て協議した

品切續出！
大福引付名著均一特賣
急げ！書店へ
第一回全國圖書祭記念
誠文堂・新光社良著特選
二割引より八割引の大特價の上洩れなく景品進呈す
出版界騷然！湧き返へる大人氣！
本邦文化史上特記すべき第一回全國圖書祭愈開かる。吾社は期する處あり、尨大なる費用を犧牲にし、更に組合の強硬なる反對を押し切つて、空前絕後の大福引景品を讀者に提供し、日頃の愛顧を謝すると共に、圖書祭の意義に奉ずる事とせり。果然！讀書大衆の熱狂的歡迎を受け、最初の抽籤券五萬本は忽ち賣切れ、急遽五萬本追加するの盛況を呈す。品切日に續出！機會再びなし、一刻も早く申込まれよ！
景品總額三万六千円
大景品目錄
一本も空籤なし
一等 活動寫眞映寫機 廿本 (市價四五圓)
二等 ポータブル蓄音機 百本 (市價廿五圓)
三等 三球式ラヂオセット 二百本 (市價廿圓)
四等 新型腕時計 四百本 (市價拾圓)
五等 ポケット望遠鏡 一千本 (市價三圓)
六等 新式ライター 二千本 (市價一圓)
七等 誠文堂文庫 九萬六千二百八十本 (特價廿錢)
此の景品總額三萬六千圓 (一本もくじ無し空)
右記賞品の本數は拾萬本を基準としましたが、實際の賣上本數によつて增減がありますから御含みおき下さい。
期間 自十月七日至十一月七日
お買上高金二圓毎に福引券進呈
十一月十五日新聞社立會の上嚴正に抽籤をなす
發表は十一月二十五日までに全國有力新聞紙上にて當籤番號を發表します。
二圓以下の御買上の場合は、福引券は附きません。尙數回に涉つてお買上になる場合には合計金額として認めず、其都度計算して行きます。
當籤者の方は十一月末日までにお買上書店へ抽籤券をお届け下さい。賞品はその書店より進呈
本特賣品が下記特約店及書店にて品切の節は直接本社へ振替で御注文を、代引便注文は謝絕。
何れも新鮮なる名著大著揃ひ！絶好の機會を逃すな！
二十錢均一の部
三十錢均一の部
五十錢均一の部
七十錢均一の部
八十錢均一の部
一円均一の部
一円二十錢均一の部
一円五十錢均一の部
二円均一の部
二円二十錢均一の部
二円五十錢均一の部
三円均一の部
三円五十錢以上
福引付均一圖書目錄 申込次第無代進呈
誠文堂
原色野外植物圖譜 全卷完了
理學博士牧野富太郎著
第四卷 新刊 冬から春への草木類
第一卷 好評五版 春から夏へかけての草木類
第二卷 好評三版 夏から秋へかけての草木類
第三卷 好評再版 秋から冬へかけての草木類
全卷愈完了 各冊分賣
蘭と萬年青の培養
再版出來 蘭と萬年青の大寶典
誠文堂

お妾さんを捨てに笑へぬ中老戀の道行

息子たちの解消論に遭って三原山行も考へたが

もう年も相當かさんだお父さんが息子たちから猛烈な解消談判にぶつつかり、では息子たちの希望通り可愛いお妾と別れようと決意を述べたものゝ、やはり可愛い見越しの松のお園ひもの、せめての名殘りにと伊勢參宮と出かけた道中流行もの三原山行きの相談も二人の間に交されたが、死んで花實が咲くものかと滿洲へ道行きとしやれ込み、とゞのつまりはお妾を滿洲へ捨てゝ歸らうとんだことまで考へた氣の弱い笑へぬ中老、戀の道行——

新版滿洲姥捨山

今朝の話題にいかべ

お妾さんをはるばる滿洲へ捨てに來た呑氣なさうさん、當地水上署では豫ての手配で二日入港たこま丸で上陸した中年の男女を取調べ中であるが右は福島縣福島市北町居住の神山義八(五二)と安部ユキ(三八)の兩名、これはまた實に呑氣なしかもナンセンスな道行きで初冬の話材に好適……、この分別盛りの兩名はかれてより旦那、お妾の關係にあつたが、最近にいたり神山の家族殊にもう一人前に成長した長男等の猛烈な反對に遭ひ「そんなお父さんならお父さんと思はない」なんて言はれ氣の好い義八さんは「俺さへ我慢すれば……」と決然として涙を嚥ひ別れることゝなつた、そしてその最後の思ひ出にと、かれて東北地方で

募集 した天理敎の伊勢參拜團に加はりしばらくその一行と共に樂しい旅路を續けてゐたがるさ

ユキさんにしてみてもたとひお妾生活とは云へ義八さんに別れるのは身を切るよりつらい、一層流行ものゝ三原山へでもと決心したが死んで花實が咲くものかと義八さんの絕對反對に遭ひ、では一思ひに滿洲へ……、滿洲には黃金の花が咲く、勝美夫人も出たではないか、なんて相談が纏まり前述の如くはるばる滿洲に來たのだが、來滿に際し義八氏は「わしはこれから遠い滿洲へ行く」なんて遺書めいたものを鄕里に送つたので、びつくりした鄕里の連中早速警察の手を經て手配取押へとなつたものである、當の義八さんは

案外 にものんきなもので「まあユキを置きに來たんですよ、ついでに滿洲をよく見て土產話でも仕込みたいもんでさあ」とさまり返つてゐる、因に兩名は豫定の如くユキさん一人が滿洲に捨てられて義八さんは近く歸國す

引致 取調べ中であるが

最初は老虎灘で密造に着手す

逃走犯人逮捕のため

大連署から各地に催促の電報

交銀紙幣僞造事件は大連署司法係の取調べ進展につれ漸次事件の核心に觸れて來た、卽ち四日午後からの一味取調によつて首魁武田は大房身に密造工場を設ける直前老虎灘において一軒家を借り受けて密造に着手したといふ新事實が判明し、同日午後三時ごろ現場の檢證を行つたが大阪から取寄せた印刷機械などをこゝで取つけ僞造に取かゝつたところ、人目の多いのに發覺を恐れ六月初旬大房身に移轉したものである、なほ大連署では當時大連で大僞造を計畫した伊藤、水谷の中心人物及びこれが手下となつて印刷に從事した服部、鈴木(友)小川等の中心人物逮捕のため各地に手配してゐるが未だ一名も捕へられず、引續き催促電報を發し大阪、天津にかけて大々的に計畫されてゐるらしい紙幣僞造の本據を衝くべく躍起となつて搜査中である

大部分は天津へ

燒却したとは全然嘘

大連市外大房身工場で密造した交銀十圓券二百八十枚のうち大部分は武田、入江等の手で燒却したと陳述してゐたが四日午後庄司部長

借財を免れる爲の淺はかな大芝居

阿曾夫妻が共謀して

撫順SOS事件愈よ大詰

【撫順電話】謎は解かれた、奇怪なSOSの信號に異常な獵奇的センセイションを捲き起した謎の監禁事件は警察當局の英斷により遂に阿曾夫妻のトリックと

判明 するに至つたので四日午後五時撫順署では事件の內容を左の如く發表した、卽ち問題のSOSの信號通信並びに神戶よりの安井ミサ子の手紙は阿曾正次郞の手によつて作成されたもので、正次郞が自宅で自動車のガレーヂで人目を避けて認め、これを東三條のポストに投函し何食はぬ顏をして居たものである、しかして阿曾ユミ子もこの間の事情を承知して正次郞を庇護してゐたものである

斯の如き奇怪な行動をするに至つた動機は本年六月十三日頃ユミ子が內地へ歸つた時、神戶で偶然にも曾つて東京時代に知合となつてゐた安井ミサ子と出會つた、安井ミサ子といふ女は東京巢鴨の藝妓置屋小川屋に里千代と名乘り左褄を取りその後沼某に

落籍 されたが、彼女は

大連一中勝つ

二對零、大連二中敗る

中等學校蹴球大會

本社主催全滿中等學校蹴球大會第一日は四日午後四時から大連運動場內外グラウンドで開始されたが何れも大連一中の勝利となつた、大連一中B組對大連二中B組戰は午後四時から內グラウンドで光田(主審)百瀨小泉(線審)三氏審判の下に開始され、二對〇一中の快勝となつた、閉戰同五時五分

一中B 1—0 / 1—0 二中B

▲前半 二中風上に陣し一中のキックオフ、開始後二分一中直ちにFWのパスで攻め宮內細江揃つてドリブルで進みゴール前で宮內のパスを細江受け輕くシユートして先一點▲兩軍連絡惡く一進一退するうち一中FWの連絡漸く好調となり機を迎へたが野田のパス惡く盛返さる、

かくて十二分二中CKを得たが無雜作なキックに直ちにゴールキックを與へその後も二中優勢を持したがFWの個人的なロングキックに空し、十五分二中星村ゴール前でノーマークの機を迎へドリブルシユートしたがGKの前を弱く衝いてこれまた成らず、二中更に追擊十六分奈良岡右隅から見事なロングシユートしたがGK左に對してCKとなる▲廿分一中漸く二中陣に入り廿二分一中市川單身ドリブルで進み球をCFにパスしたが二中のデフエンス固し、二十五分一中平田のマイナスキックはまたもや二中の機となつたが得點に至らず二中も古野の失にピンチに迫つたがこれまた一中の攻

▲後半 直ちに一中軍攻入り

櫻內夫人のいぢらしい心境

覆水盆に返らすため

枝原司令官夫人來滿

櫻內家の家庭悲劇の結果、離籍となつた明枝夫人は澁谷の侘住まひに愛兒四人と共によき母としてのつゝましい生活を送つてゐるがこの明枝夫人のよき母としての生活は知己名流夫人の

同情 を集め、中でも明枝夫人と女學校以來の親友である旅順要港部司令官枝原夫人は昨今明枝夫人の心境、生活を直接櫻內氏に傳へるべく明春渡滿の豫定を繰上げ、病軀を押して過般渡滿、目下旅順の官邸に病を養ひつゝ櫻內氏と面會すべく機會を待つてゐる

が、枝原夫人は內地で明枝夫人よりすべてを一任されてをり、亡き本子孃の靈を慰めるためにも是非とも覆水を盆に復せしめ圓滿な解決に至るべく努めてゐる、右につき四日午前中記者は枝原夫人と

會見 せんと官邸を訪問したが夫人は病臥中で人を介して次の如く語つた

病を押して無理に渡滿したため一日も早く櫻內さんに御面會しやうと思ひながらも未だ御會ひすることが出來ずにゐます、私は明枝夫人とは同窓生でありますが、學校卒業後も親しく御つきあひした夫人の性質をよく知つて居ります、本子さんの事件以來世間は非常に櫻內さん御一家を誤解してゐるやうです、あつたのは當時事件の眞相が傳はらなかつた情を聞かずおとりまきの人々から話しが出たからでせう、明枝夫人はいま澁谷のお家で十一歲を頭に四人のお子樣のお世話をなすつてゐますが、女中も使はず

非常 に質素な生活をしてゐられます、現在の夫人は全く子供の愛以外には何物もないやうです、この事情を知る者は唯一人として夫人に同情しないものはありません、殊に女學校の同窓生達は何とかして元の生活にお歸りなされるやうと非常に心配し、今度私が渡滿する時には友人の夫人達の總意として私に代表者となつて交渉に當るやうにと言つて來られる程です、私は現在の夫人の心境をよく櫻內さんにお話しすれば、きつと理解して下さると信じてゐます、是非とも元と通りの

家庭 にお歸りなるやうに及ばずながら努力して、本子さんの靈を慰めたいと思つてゐます

櫻內辰郞氏談

右に關し櫻內辰郞氏は五品理事長室で左の如く語る

貴紙で枝原夫人が私共の事で御來連になることを初めて知つた、こゝで私としては何の通知も受けてゐません、枝原夫人は日本婦人の典型とも言ふべき立派な方で初めから熱心な同情者であり、いろいろ心配して頂いてゐることは事實です、しかし御同情は有難いが二人の心情が一致しない間はどうにもなりますまい、無論私としてはさうした時期が近づいたとは考へてなりません

革命記念祭

當地ソウエートロシヤ領事館は第十六回ロシヤ十一月革命記念祭を擧行する事となり同歡迎會を十一月七日火曜日午前十一時より十二時まで各方面を招待し開催する由

長石井金三郞氏は八日午前九時二十五分發列車で任地旅順へ向ふことゝなつた、更に新大連署長寺田良之助氏は八日午後四時四十分着列車で着任する筈である

片桐師範の記念謠曲會

片桐觀傳師範の在連十周年記念のために左の番組により謠曲演奏會がある 五日午前九時より西公園西園亭で

けふの運動

▲本社主催全滿中等學校蹴球大會第二日は五日午前九時から大連運動場で開かれるが參加チームの入場式後左のスケヂユールによつて試合を行ふ

▲第九回全滿籠球大會 自午前九時大連一中、二中兩コートで

二日目組合

▲大連一中B組對大連二中A組(自午前九時三十分)

▲大連一中A組對旅順中學(自同十一時)

▲優勝戰(自午後二時)

安樂椅子

滿洲映畫界に飛躍すべく徐機中だつた前日活常務根岸耕一氏がホントウにボックリ急逝した、映畫街では「何を言つてゐる、デマだらう」と本紙記事を見るまでは信用せず。

親分藤田謙一氏の如きは「ネギシシノシキヨホントウカスグヘン」と返信料附で照會して來る等、全く寢耳に水の驚き方だつた程で死の前日見舞に行つてジヤンジヤン漫談した連中も狐につまゝれた樣、誰れ一人臨終に間に合はなかつた。

この急逝の報が一度內地に傳はるや各方面から弔電が殺到し映畫人からは傳明、千惠藏をきつかけに弔電が續々到着、その中に混つて久米正雄氏から「秋暮るゝ思ひは淋し君逝きて」の追悼句が電送されて來た。

青空ホテル （31）

近江帆三
吉郁二郎畫

辛い園遊會（九）

暖簾を頭でサッと威勢よく分けて、おでん屋に飛び込んだ旗島はいきなり、
「課長さアん」
と呼んだ。
すると、すぐ眼の前の、赤い毛布を敷いた床几に陣取つてゐた逸見さんが、
「おうい、何だ」
と、應じた。
「あ、そこですか」
「うん、ここだ」
「あのれ、那賀君の許婚者をめつけて來ましたよ」
「そんなことはどうでもよい。それよりか君の許婚者がこゝにゐるぞ」
「あ……」
旗島はびつくりして聲をあげた。酔つてゐたせゐもある、あまり狂言に凝りすぎてゐたせゐもある。しかし、後向きに信子孃が坐つてゐるのに氣がつかなかつたのは、不覺の譏りを免れない。
「あら、誰かと思つたら旗島さん？」
と、信子孃と並んで坐つてゐた逸見夫人が身體を斜に反らして、こちらを見あげた。
「あ、奥さんですか。今日は――」
「まあ、いらつしやいませよ」
「はあ」
「ご遠慮なさらないで」
「はあ」
「いまあなた方のお噂を申上げてゐたところですわ」
「はあ」
と、旗島は聲と共に矢鱈お辭儀をした。
「わつはつは。急に堅くなつてしまつたぢやないか。うぶだな、わつはつは」
と、逸見さんはよい酒の肴を見付けた。
「さあ、一杯ゆかう」
旗島は爲方なく半ば腰をかゞめて、その一座の中へ割つて入つた。信子孃はちらと旗島を見あげて俯向いてしまつた。
「さあ、お酌をさして頂きませう」
と逸見夫人は銚子を持ちあげた。
「ぢや、少しどうぞ」
と旗島は梱のやうにまツ四角になつた。
「お嫌ひですの？」
「はあ。どちらかといふと、あんまり――」
「嘘々！」
と逸見さんが大きな聲で否定した。
夫人が、
「五人男、素敵でしたわ」
「さうですか」
「まるで本職は・・・だしれ」
「さうでもありません」
「あなた、臺詞をお間違へになつたのですつて？」
「はあ」
「どうなすつたの？」
「練習不足です」
「嘘でせう？もうみんな聞きましたわ」
「弱りましたれ」
と旗島は頭を搔いた。信子孃はくす〱笑つた。もう何も彼も逸見さんから傳はつてゐるらしい。しかし、事實だから今更詭辯を弄するわけにもいかぬ。
旗島は、外に待たしてある那賀たちのことが氣になつてならなかつた。何とかして早くこの場をごまかしてしまひたいと思つたが、逸見夫人の能辯にまくし立てられて手も足も出なくなつてしまつた。
すると、そこへ、山路さんが、
「あゝ、目出度い〱」といひながら入つて來た。「未來の那賀夫人を發見した。これはコロンブスの亞米利加發見よりも重大である」
「丁度いゝ。こゝへつれて來たまへ」
と逸見さんは、それを肴にしてもう一本せしめる氣である。
「君、遠慮することはないよ。」
と山路さんは那賀たちを引張り込んで、「どうです、われ〱のメンバーは幾何級數的に殖えてゆく」

柳壇

差引　編輯局選

ボーナスも月賦の服で零になり　大連　池田南孤子
兒玉博士夫人　大連　外山　角照
間男で差引をする不心得　柳樹屯　山崎かほる
月給日差引されて袋だけ
差引を濟して妻は安堵なり　遼陽　後藤　芳子

差引を忘れて傳票又も貰ひ　本溪湖　柿村生
給金を差引されて下女サボり
親分は差引出來ぬ役であり
差引の出來ぬ和解に四苦八苦　奉天　長嶺　默溪
差引に今日この頃は疎くなり
差引に愛想のつきた彼れであり　遼陽　天滿千代子
黒髪を切つて差引濟ました氣
差引の無理をいはるゝ四疊半　大連　綺田　泰三
差引けば胸算用はちと狂ひ
差引へ夜店位いたり笑つたり　山海關　上倉　都一
差引をしてから一度も寄付かず
差引けば愛想つかしの元となり
差引をしたら向ふへやる勘定　大連　藤村　忠夫
喧嘩好き差引ゼロだと又なぐり
連帯になつて賞與差引かれ　遼陽　岸本　微笑
差引へ馬鹿に目立つた遊興費
まゝ事は紙で差引して遊び　大連　桃陵さくを
差引いて貯金に入れるいゝ暮し
昇給の分だけ引いて飲み廻り　大連　尾道九十八
差引を語る競馬の戻り道
差引がないかと師匠前に出し　大連　豊田　廣國
差引いてちと儲かる氣の廉賣デー　新京　吉田　作治
差引の殘つた金は菓子になり
差引が喧嘩になつて酒を買ひ　本溪湖　中村　湖風
差引は幾らになるかとちとひねり
差引いて見れば貸より借りがあり　大連　上河邊紫浪

農村の秋差引けば殘る赤
差引いてちよびり殘る慈善會
差引いた儲けを積んで藏が建ち
賃銀の殘りへ苦力一人笑み　本溪湖　郡司島里柳
差引の不足へ娘貰ひ受け
差引いた誤差へ大きい穴があき
差引へちと隣から來ぬ苦情　山海關　松尾小女郎
差引いた袋の輕い給料日
差引けばやつぱり拂ふ金になり
差引いた黒字へ妻がなじり出し　新京　清月　的外
差引いて貰へば拂ふ事ばかり　甘井子　田中美津嶺
當籤をおごつて差引赤になり　蘇家屯　上山　春逸
五圓札酒代拂つてチップなり
差引の赤字へ自棄の酒あほり　大石橋　船山　黄海
差引があつて友情うとくなり　營口　佐藤さした
差引が餞別となる社の机
差引の算盤はぢく背のまるみ　大連　神崎　仙人
差引きになると女給の澁い面
差引へ諦めてゐる獨り者　開原　原田　古錢
月末の差引へ來る女部屋　山海關　田中　幸夫
それからの殘りへそつと北叟笑み
胸算で赤字ときまり落ちつかず　大連　赤井　一村
持參金借りてる分は差引かれ
差引の勘定合ふて錢足らず
腰辨の妻差引になやまされ
モーニング片袖分を差引かれ
差引にする氣女將氣前見せ　大連　鈴木　香村

會計課差引だけに馴れたもの　大連　木村　故濵
質草を替へて利子を差引かれ　奉天　島崎　一瓢
差引の潮へ小蟹の浮き沈み
空樽を差引いて、醤油勸めに來　本溪湖　郡司島里柳
○佳　吟（賞）
差引きへ世話人腹の探り合ひ
差引へ女給一本つけて出し
重患へ潮の差引き話合ひ
差引の異算へまぶしい夜業の灯
選者　吟

滿日柳壇課題

▽題　「年末」「姉」「足袋」
▽締　十一月十五日着便まで
▽句　各題五句（住所氏名明記）
▽賞　佳吟薄賞（各題必ず別記）
▽宛　本社編輯局川柳係のこと

童話　蛙のお寢坊

蓑田三平

これは、まだ人間の生れないころのお話です。

神樣は、この世で誰が一番りこう者だらう、一番りこうな者にこの世界を治めさせよう、さうお思ひになつて、たくさんの神樣たちが相談會をお開きになりました。

神樣たちは、いろ〳〵お考へになりましたが、水の中を泳ぐことも出來るし、陸をさんで歩くことも出來るし、木にものぼることが出來、それに又雷樣と天にのぼることも出來る、あの蛙こそ、世界中で一番りこう者だ、一番偉い奴だ、といふことになつて、蛙に世界を治めさせることになりました。

その頃は、どこにもこゝにも、蛙の國がありました。國といふのは、池のことであつて、池の大きい國ほど、その王樣は偉いといふことになつてゐました。國には、一人の王樣の殿樣蛙がゐて、喧嘩のできないやうによく治めてゐました。そして、初めのうちこそ、神樣ありがたうございます、といつて仲好くしてゐましたが、そのうちに喧嘩をするやうになりました。

それは、ある年のこと、ドブ國とタマリ國といふ二つの蛙の國が戰爭をはじめました。兩國の蛙たちは、手に〳〵蒲の穗をもつて、ドブ國の堤で肉彈戰をやりましたけれど、勝負がつかない中に、ドブ國の殿樣は、まちがつて自分の家來の草履取蛙に殺されてしまひました。

草履取りのドブ蛙は、殿樣の死骸にとりすがつて

「あゝ、どうぞお許し下さい。私はタマリ國の殿樣と思ひちがひをしたのでございます。頭は敵に向つてゐても、愚な横目をもつてゐる私どもは、味方うちばかりやつてしまひました。どうぞお許し下さいませ」

ドブ蛙は、横つちよについてゐる眼から涙をボロ〳〵ながしました。

この戰ひにこり〳〵した蛙國は、もう喧嘩はしないことにしました。

かうして、蛙の國には平和な日がながくつゞきました。どこへ行つても、池のまはりには美しいお花が咲いて、お母さんに手をひかれた、子供たちが散歩してゐました。

そのうちに、冬が來ました。ある日のことでした。

蛙たちが、目をさましてみますと、身うごきの出來ないやうになつてゐました。

「おや、どうしたんだらう、大へんだ〳〵」

と、みんな大騷ぎをはじめました。

固い氷が、お池一面にはりつめてゐたのでした。やつとのことでおひる近くになつてから、蛙たちはありつたけの力を出して、氷をやぶり、みんなしてお池の岸にはひあがりました。

冬の暖かい太陽が、ポカ〳〵土を暖めてゐました。蛙たちは、どんなによろこんだでせう。

今夜は、お池の中はやめて、こゝで寢ることにしよう、と皆で相談しました。

その夜のことでした。

大神樣のところへ

「コンヤハユキデス」

といふ電報が、風の神樣から來ましたので、慈ぶかい大神樣は、すや〳〵寢入つてゐる蛙たちの上に、暖かい土をふんわりかけてやりました。

それからのことでした。寒い冬が來ると、蛙たちは土の中に春が來るまでお寢坊をするやうになつたのは。

もう、蛙のお寢坊がはじまつてゐます。（をはり）

小學六年生の力試し室

お答は來週出します

地理

一、我が日本列島と亞細亞大陸との間にある海の名三ついひなさい。

二、我が國の川は流れの早いのが多いが其の爲どんな便不便がありますか。

三、我國に於て工業の盛な地方四ついひなさい。

四、我が神戸からヨーロッパ洲へ行く航路でアジア洲沿岸にある重要な港をいひなさい。

五、我が國と支那との貿易品をいひなさい。

我が國から支那へ輸出する物
支那から我が國へ輸入する物

六、次の都會はどこにあつてなぜ名高いのですか。

1、漢口
2、青島
3、ウラヂボストック

前週の答　國語

一、(1)御手紙を見ました。二人ともよく勉強してをられるさうで安心致しました。勉強も大切でありますがお體にもよく〳〵御氣をつけなさい。

(2)イグアッスーの大きな瀧のさかんなながめは實に筆にも口にも言ひ表はすことが出來ません。

(3)森や林になつてゐる土地の開墾（きり開いて田畠にすること）の樣子を調べて見てゐましたために、しばらくの間お便りもしないで過ぎました。

二、(1)天下を三分して定めやうとの計（はかりごと）を手のひらの上のものをゆびさすやうにはつきりと定めて蜀漢の國のもとゐをしつかりと固めた漢中王はこの孔明のたすけによつておごそかに皇帝の位におつきになつた。

(2)(イ)天下を三分しておさめる計にいふ意味で蜀と呉と魏の三國が各々その一をとつて國をたてやうといふ計である

(ロ)「たなそこ」は手のひら 手のひらの上のものをゆびさすやうにはつきりとさし示すこと。

三、(1)府縣市町村

(2)地方人民が協同一致して自ら地方公共の事に當り誠意其の團體の爲に力を盡す精神。

(3)自治制の根本であり又その生命である。

四、(1)制度、運用、自治制、之
運用、人民、自治、精神、乏
結果、得、到底、望

(2)公共、事務、當、者、如何
其、職務、忠實、一般、人民
後援、團體、圓滿、發達、望

(3)贈葉書、大原野、寫眞、見
愉快

五、(1)優る、沈む、上流、輸入、一部分、簡單、不幸、間接、公利

(2)(イ)晝寢をしてゐた私も飛行機のすさまじい音に目がさめた

(ロ)人の命ほどはかないものはない、此の間まで一しよに遊んでゐた○○さんは死んだとの事だ。

(ハ)私達は何事をするにも事の善惡を辨へてやらねばならぬ

(ニ)昨日は學校の講堂で明治節の式がおごそかに行はれた。

(ホ)あの方は學校ではよく出來おうちではほめられお友達には好かれる。これ皆あの人の誠意のたまものである。

こどもの考へ物　第七十一回

出したぞ足足足　海の怪物　さて、正體は何か

寫眞をごらん下さい。ニョキ〳〵とやたらに足を出した海の怪物、さて何でせう。海の怪物といつても、寫眞でさう見えるだけで、實際はみなさんの大すきなものです

わかつた方は來る十一月十二日までに、ハガキで大連市東公園町滿洲日報社内「滿日日曜附錄係」あてにお答へください。正解者には廿名に限りご褒美を差しあげます

第六十九回の答　エントツです

第六十九回の考へものは、エントツをたばにしてうつたものでした。考へ上手のみなさんには新聞社のをぢさんたちも降參してゐます。今度も籤をひいて次の方々にご褒美をあげることにしました。大連市内の方は新聞社から出したハガキと引きかへに本社でご褒美をお受けとりください。沿線の方には直接お送りいたします。

當選者

▲旅順森瀬福男▲奉天森英子▲鞍山坂田慶子▲新京嘉村康熙▲奉天山之口トホル▲新京佐藤正子▲遼陽堀川忠雄▲大石橋重信節子▲大連大坪敏夫▲同安部寛▲同松岡正伸▲同森本榮子▲同大河内恭子▲同谷田敏子▲同羽根眞吾▲同木原繁子▲同大野綾子▲同西村謙一▲同佐藤シヅエ▲同肥後フサ子

リョウテ テバナシデモ

ナーンダイ ジドウシャニノッテ ヰタノサ…

① ヤーコンニチハ! ボクハ カイグンノ ヨウフクヲ カッテモラッタヨ
コンチハ、ボクハ リクグンノ ヘイタイサン ダ

② ボクタチハ カイグントリクグン ダヨ 君ナンカ バゾクダロウ アソンデヤラナイヨ
チェッ ツマンナイナー

③ ソンナラ ボクハ オヂイサンノ メガネヲカケテ ヒコウタイダ ソレ! バクダントウカダ ドン ドン
ワァー ゴメンヨ〳〵 アソンデヤルヨ

世界に珍しい　海牛の化石發見

▼▼……樺太の氣屯川で

樺太の氣屯川といふところの工事場にはたらいてゐる工藤政治といふ人は仕事をしてゐるうち、ふと川の中からかゐへあげた二キロほどの石がどうもあたりまへの石とはちがつて、なんだか化石らしいので、でいぼうをつくる石がきにするにはをしい樣な氣がしましたそれで、人夫にもたせて自分の家にはこばせました。そしていろいろほじくつてみると骨のやうなものや歯らしいものもあるので、これはきつとめづらしい化石にちがひないと思ひましたので、北海道大學の長尾博士にみてもらひました。ところがこれは世界でもめづらしいデスモステレースとか海牛とかいはれてゐる動物のあたまが化石となつたものであるといふことがわかりました。このえがたいものの發見に博士も工藤さんも大よろこびです。

アメリカ カラ ミナサンヘ エノタヨリ

セウネン ハツメイカ

アメリカノオハイオシウトイフトコロノイバンズトイフ十六サイノセウネンガ、コンドジブンデセンスヰバウヲツクリアゲマシタ。ソレハギウニユウノアキクワンデコシラヘタノデス。ソシテジテンシヤノクウキイレデ、クウキヲオクルノデス。イバンズクンガコレヲツケテヤツテミタラ、シヤウバイニンヨリモウマクミヅノナカニクグツテハタラケタサウデス。

セカイ一 ノ オホカゴ

コンナニオホキナカゴヲミルノハハジメテデスネ。イツタイナニヲイレルノデセウカ。アメリカカルフオルニヤノペタルマトイフトコロカラハ、タクサンノタマゴガウリダサレマス。ソノタマゴヲイレルノガコノカゴナノデス。ミンナセカイ一ノオホカゴダトイツテヰマス。

クマクン ノ オシゴト

アラアラナニヲシテヰルノデセウ。コレハウマレテカラ、マダハンネンシカ、タタナイクロクマデス。イツモミンナカラカハイガラレテヰマス。カウヤツテクサリデオフネカラ、ウミヘオロシテモラツテオヨグコトト、オイシイモノヲイタダクコトガクマクンノマイニチノオシゴトナノデス。

アメリカ ノ ハクブツクワン ノ オバサン

コノヒトハアメリカノハクブツクワンノオバサンデス。メヅラシイサカナヲタクサンアツメテヰルノデナダカイノデス。コノヤウナコトヲハジメテカラ、モウ四十ネンニナルトイフノデスカラ、スバラシイデハアリマセンカ。イマモ、マンボウトイフメヅラシイサカナヲテニイレタノデ、一シヤウケンメイニシラベテヰマス。

オトウサント イツシヨニ マイアサ コノトホリ

コレハアメリカニヰルガルバルデイトイフスバラシイレスリングノセンシユデス。イツモイロイロノタイサウヲシテカラダヲキタヘテヰマス。トコロガソノコドモモ、オトウサンニマケナイヤウナ、リツパナカラダヲモツテヰマス。マイアサ『オトウサンガヤルナラボクモヤルヨ』トイツテコノトホリ。

子供の智識 面白くて爲になる 親は何か このムシの

このごろの小春日に、さかんに大きなミノムシの這ひまはつてゐるのが目につきます。木の小枝や葉をきれいに織込んだミノをひきずつて、桜のさきから糸でぶら下つてゐます。お天氣のいゝ日は黄色い斑のある黒びかりの頭を出して、ソロリソロリと這ひ出します。恐らくみなさんもおなじみの蟲で、なかにはミノから外へ張り出して裸にしたのをさつてきて、美しい小布片や色紙を細く刻み込んだ箱に入れておきます。そしてウスぎたない枯葉や枝のミノのかはりに、美しい布きれや色がみのミノを作らせたかたもおありでせう。一たいに誰も知つてゐる通り、あゝいふ芋蟲や毛蟲のなかまは、大がい蛾や蝶の幼蟲です。それで、ミノ蟲も何かになるのではないかと考へられます。

ところがミノ蟲にもいろ〜あつて、春のはじめに見つかる小さいのは、確にチヤミーといふ蛾になります。秋ゐる大きいのは一生あのままで終ります。變だと思つて調べて見ると蛾になるのは男だけで、女は一生袋の中で暮すわけです。卵も袋の中で生れ、母親はその卵が蟲になる頃にはカサカサにしなび空つぽになつてミノの中で死んでしまつてゐます。かうして春さきに生れた小さなミノ蟲のうち、男だけは七月頃に二センチばかりの灰色がゝつた翅の生えた小さな茶色の蛾になつてとび出します。女は木の葉を食べて大きくなり、おしまひに桜の枝の先の方にブラ下つて、蛾になつた雄と共同で卵をこしらへるわけです。

蛾のうちにもう一つ葡萄透羽（ぶだうすかしば）といふ三センチばかりのがゐます。形がちよつと蜂に似てゐます。後の翅二枚は透明。しかも蜂のやうな筋があり、ほかは濃い黒茶色で腹に二本の黄色い縞があります。かうお話しても、たぶんみなさんはご存じないかも知れませんが、この子供はウジのやうな形の時分に、葡萄の樹の枝に喰ひ込みます。そして木の節々をコブのやうにふくらませます。よくエビヅルムシとか葡萄の袋蟲などといつて、小鳥の餌として喜ばれます。小鳥だけでなく、人間の子供にも丈夫になるお藥だといつて食べさせる人もあります。みなさんのうちで、この蛾の幼蟲を召し上つた人があるかもしれませんね。

もう一つ、これは子供の藥として、わざわざ東京あたりまで女の人が賣りに來るのに孫太郎蟲といふのがあります。ムカデかゲヂゲヂにどこか似て白い足のたくさんある蟲が、茶色の頭をならべて串ざしになつてゐます。この親は知らない人が多いやうですが、ヘビトンボといふ五、六糎もある茶色な蟲です。形は大たい蜻蛉に似てもつと羽根の幅が廣く、長い鬚が生えてゐて夏森の葉の上などにとまつてゐます。變つた蜻蛉だと思つて羽根のところを捕へたりすると、グルリと首をまはして摑んだ手に嚙みつかうとするので、びつくりすることがあります。かうしてトンボに似てゐながら首が長いところが蛇蜻蛉といふ氣味のわるい名を貰つたわけだらうと思ひます（寫眞はミノ虫の一しやう（1）オスの蛾（2）メス（3）ミノから取りだした幼虫（4）ミノ）

冬・奧樣方の お買物風景

金に困らぬ彼女デス

時代の流れは恐ろしいもの、昔なら化物あつかひにされた獸の皮がこの頃では一金百圓也の法外な値段となつてブル階級の奥さん達の首ッたまに卷つけられてゐます。
「この黒狐どうお――」
「いゝわね」
「あらこの眼とても可愛いゝわ」
金に困らない人達の買物は實にのんびりしてるデス。

毛糸屋さん 流石に繁昌

「ね奥樣大分洋服地に似たのが多くなつたぢやございませんか」
「さうでございますね、だが今年は昨年より少しお高いやうですわね」
「さうでございますね、でも矢張り機械糸よりも温かですし、それにかへつて經濟的ですからね」
「あらこのセーターの出來上りは立派ぢやございませんか、せめてこれ位にね……」

娘やる親心

悩ましいほどの色合ひと模様をもつた温かさうな蒲團がうづ高く積みあげられてゐます。
「こちらは絞り羽二重で最近よく出ます。綿がはいつてゐて温かでございますが」
「ふーん成るほど」
「ネーアナタこの綾八端も仲々いゝぢやございませんか」
「うん〳〵どうだい○○子は」
「さうね、どれがいゝかしら」
婚期を間近にひかへたらしいお嬢さんを連れて親子三人水いらずのお買物。

非常時ゆゑか 足を止む特價品

非常時です。お買物もなるべく經濟的にと、特價品のところに足をとめた若いサラリーマンの奥さんらしい二人連……(アら、この織とてもいゝわね、買はうかしら)(それもいゝけど一寸お待ちなさいよ、も少し見なきや)(どうその向ふ側の……)(少し地味だと思ふけど)(でもその方がよかないかしら)(私矢ッ張りこの方がいゝわ)と澤山ならんだ品物の前であれか、これかと迷ふのも買物時の嬉しい氣持の一つでせう

デパート食堂のお晝時

デパートの食堂のお晝時……サラリーマンとお買物に繰りだした奥さん連が斷然多いです。「オイコーヒー二つ」「カレーをくれ」「おすしを」と矢繼ぎばやな注文に給仕さんは目の廻るやうな急がしさ、そして奥さん連は品物の値段や其他もろ〳〵の雜事を、サラリーマンは日頃の鬱憤を、月賦の洋服のことを、タイピストの噂を、課長の話……等々を、肩の荷をおろすやうな氣持で話し合ふです。これも手輕で、人が人を呼ぶデパート故の賑ひではあるデス。

經濟觀念?の發達は……

寒さがしみ〴〵と身にしむけふこのごろ、早く据ゑつけたいのはストーヴであるデス。でも新しい品物は値段ばかり高くつてと、經濟觀念の發達した奥さんは秋晴れの日曜を幸ひに御主人と一緒に坊やを連れてショートル市場へ――いやあるは〳〵出盛つた土筆のやうに、大小とりどりのストーヴが時を得顔に列をなしてゐる。
「おいどうだいこいつは」
「そうれえ、も少し大きくてもよかないか」
「はゝんこゝんとこ一寸はげてるね」
「品物いたまない、安いナー買ふヨロシイ」

新講談

愛ある藝妓小友

松林小伯知

古來政界の巨頭、巨星と謳はれし偉人も其の行爲の法に觸れ世人の犧牲となりし事も數多あれど、己れの發布した法の下に斬頭臺の露と消えたのは佐賀の亂の主謀者たる江藤新平のみです、追想へば洵にお氣の毒な方で、然し此の江藤新平は始めよりして、錦旗に發砲しやうと云ふ意思ではなく、行掛り上餘儀なく時の政府に反抗した譯です。

それは西郷隆盛の征韓論は大久保利通初め諸卿の非戰論者の爲めに反駁され、主戰論者の一人江藤新平も同志さともに袖を列れて職を辭し、官を捨て一度は故國の佐賀に戻りましたが、何んとかして持論を貫徹せしめる時期を得んものと、窃に同志を集め、之れに征韓黨の名稱を附し、遂に其の準備も整ひ、愈々韓土に出兵なさんさする。

時恰も明治政府の探知する處となりて、こゝに官兵と征韓黨との間に血潮を流すことになったが、哀れ一敗地に塗れ、新平は土佐甲の浦に於て官兵の爲めに捕へられ身には叛逆の汚名を受け、政府に反せし罪輕からずとあって東京に護送されて、裁判の結果は、斬罪の上梟首との宣告された。

これは江藤新平が參議の職に在りし頃發布した法律の内の一箇條にある事です、つまり自分が拵へた法の爲めに己れが斃れるさいふも何かの因緣でせうが、終に新平は「國を思ふ人こそ知られ武士の心盡しの袖の涙を」と三十一文字の辭世中に無量の恋を潜めて斬頭臺の露と化し、骸は捨てられ首は梟首された。

此の梟首の状態を撮影して種板を取り、内務省の手を以て日本全國の寫眞店に掲げさせ、死しての後までも恥しめたのが大久保利通卿でしたが、隨分苛酷な事をしたものです、從って此當時世人の批評も惡く

○「餘まりやり方が酷い、現世に在る間に憎しみもあらうが、佛となれば人ではない、手を合せる淨い身體、して見ればもう怨みは消えた筈だらう、それに又自分達の手で殺して獄門にまでしたらば尙の事だ、原因を言ったら日本の爲に盡して下された有難いお役人様もの、大久保様もお役人さしたら少しは江藤様をお氣の毒と思召しさうなもの、大久保様には涙はないか」

と大分世論が向上して來た。すると此の大久保攻擊論者の内に美人が一人加はって居る、見れば新橋烏森の藝妓家吉田屋の抱へで小友さいふ尤物です、江藤新平の獄門首の寫眞を見るさ、縱令十枚が二十枚でも總仕舞にさせて買って行く、今日も築地の海月さいふ割烹店からくちがかゝり、箱丁の正吉を共に築地に行く、途中松村さいふ寫眞店の前迄來るさ

小友「ちよいさ正どん待っておくれ、見度いものがあるから……」

正「アッ、惡い物が眼についた、あるさ復買ふぜ、困ったなア、氣になる」

小友「何が氣になるの、おまへ變なことを言ふね」

正「イエ別に變なことは言ひませんが、何んでせう獄門首の寫眞があったら買ふのでせう」

小友「オヤ善く知ってお在でだね、大分寫眞が出品してあるやうだから、若し江藤様のお寫眞があったら何枚でも殘さず買っておくれ」

正「姐さん、いゝ、あなたのお金であなたが買ふのですから宜いやうなものゝ、そんなに獄門の寫眞ばかり買って一體何んにするんです、眞逆に禁厭にもなりますまいが」

小友「何んにしても大きにお世話、おまへもさんだ苦勞性だよ。妾に少し考へがあるのだから愚圖々々言はずに能く寫眞を觀て買っておくれ、後生だからね」

正「さうですかえ、然し人間には變な道樂があるものだ、どうして斯う獄門首の寫眞が好きなのかしら……」

箱丁の正吉は寫眞店の前に進み寄り出品してある寫眞を見るさ左の方に江藤新平の獄門首の寫眞が七八枚陳列してある。

正「これは可けねえ、一枚や二枚なら無いさ言って瞞着さうさ思ったが、こんなにあってはさても駄目だ」

小友「正どん、澤山あるね」

正「オヤ姐さん、其處に來てゐたのですか」

小友「ア、何うもおまへの樣子が訝しいから此所へ來て見張って居るのだよ」

正「ぬかりのない事ですね、十枚たらずあるやうです」

小友「いゝ、いくらだか能く値を聽いてみんな買っておくれ」

此の時二人の前に立ち江藤新平の寫眞を觀て居た二人の職人があった。

○「辰、見ろやい、これが江藤新平の首だぜ、どうだ怖い顔をして居るではないか、叛逆人の面は顔の造作からして違って居るな、これが叛逆人の面さでも云ふのだらう」

△「まったくさうだ、俺達の樣なお芽出度い面ぢやねえや、然し獄門面さして立派なものだな」

さいった、これを聽くさ小友はサッさ顔の色を變へ、柳の眉がピリ／＼さ動いたが、ツカ／＼さ二人の職人の側に寄って來た、二人は馥郁たる紅粉の香に驚かれて思はず顧視するさ、花も恥らふ尤物が凄い顔をして見て居る。

○「オ、素敵／＼これは新橋の藝者だぜ」

△「綺麗だなア、まるで人形のやうだ」

小友「何だって人形のやうな女ださ、何んな女でもおまへさん達の世話にはならないから安心してお在で、今此所で聞いて居たら何んださエ、江藤様は謀叛人だ、謀叛人面をして居ると云ったね、お氣の毒だが江藤様はそんな惡い事をする方ぢやアないよ、江藤様の有難い思召が貫徹らなかったので、然ふ云ふ慘めなお姿になり、おまへ達にまで言ひ度い事を言はれてお在でなさる、思へばお氣の毒なおまへ達のやうな察しのない、不粹な不人情の奴が、世の中には渦を巻いて居るからね、それで斯ういふ寫眞が賣れるのだ、定めて土の下で江藤様が泣いてゐらつしやるだらう、ほんさうに口惜しいね。畜生、もう一度言って見ろ、鼻の頭を引掻くぞ」

○「これは愕いた、寫眞の惡口を言って藝妓にけんのみをくったのは今日が始めてだ、寄色はいゝが怖い藝妓だな、然し爭はれ無えものだ、ネコだけに鼻の頭を引掻くさよ」

△「俺はあの藝妓なら引掻いて貰ひ度へや……」

なぞさ對手が若い綺麗な藝妓さて喧嘩にもならず、笑ひながら職人は向ふへ行く。

小友「ア、お座敷へ行くのは、もう厭になった正どん妾は歸るよ」

正「冗談を云っては困ります、海月さんさ吉田家のお内儀さんの間へ入って私が迷惑します、心地が懸いのなら顔だけでも一寸見せてあげて下さい、お願ひします」

小友「厭だよ。顔を見せるのならいゝ、おまへ見せてお出でナ」

正「姐さんからかっては叶けませんよ、そんな我儘を言はずに……」

小友「厭だと言ったら厭だよ……夏蠅いね……」

言捨てゝ吉田家へ歸り、その夜は……サボタージをきめてしまった正吉も困ったが、海月に待って居た御客が驚いたのは、藝妓の途中紛失に出會った。

翌日賣茶（其頃有名の割烹店です）よりくちがかゝり、お客は内務卿の大久保利通卿を始め今時めく政黨の人々であると聞くさ、爵ぎぬいて居た小友は急に元氣恢復化粧もそこ／＼支度して正吉を伴れて賣茶に來た、酒宴の席に出るさ一流二流の藝妓混じって二十人許り、大久保内務卿を上席さして酒池肉林歡娛樂をつくして居る、其の中へ吉田家の小友さいふ藝妓界の尤物が一人加はったので、一層酒筵に花を咲かせ、愈々一座は陽氣になる、暫く經つさ小友は大久保卿に對ひ、

小友「御前樣、洵に恐れ入りますが、少々申上げたいことがございます、一寸彼方のお座敷までお出で下さいまし」

さ言った、是れを聞いて利通卿の側にあった田中書記官が、

田「小友、御前を擒にしては可かんぞ」

小友「そんな浮いたお話ではございませんから御心配には及びませぬ」

さ、大久保卿に無理を頼み、女中頭のお清を聽人さして側に坐らせ

小友「御前樣御無理を願って濟みません、先刻申上度いさ申しましたは……」

大「如何なる事か」

小友「妾のやうな賤しい稼業をして居ります者が斯樣な事を申しますさ、定めし生意氣な藝妓だと思召しもございませうが、先達て征韓論さかいふ難しいお話で、御前樣さ西郷樣の思召が合はず、それが爲めに西郷樣や江藤樣はお役を引いて御國へお歸りになり、間もなく佐賀のお戰に江藤樣は敗れ、政府樣の手にお召捕になり、御處刑になったさの事へ御前樣何うして今の世の中は斯う不實なのでございませう」

大「何故……」

小友「何故さ仰しやいますが、御前樣も江藤樣もお國を思ふ立派な御心に變りはなく、何人も有難い御役人の中のお一方は御出世をあそばし、江藤樣は御處刑の上獄門に迄……妾は江藤樣のお身の上を考へますさ、洵にお氣の毒でなりませぬ。それに就いて御前樣に見て頂きたいものがございます」

さ、女中のお君を呼び何か囁くさ、間もなく此室へ持って來たのは一個の文庫、これを小友は受取り、大久保利通の前に置き、蓋を拂ふさ江藤新平の寫眞が滿杯入って居る、利通は此れを見て

大「小友、此れは江藤の寫眞ではないか」

小友「世の中の人の不實と云ふのは此の事にございます、成程江藤樣は法律に觸れて御處刑になった方には違ひありませんが、原因を言ったらお國の爲めに盡した事、それもお殁くなり遊ばせば、もう罪も消えて居りませうに、何にもそれを寫眞に撮ってお金儲けの爲に賣らなくても宜いではございませんか、それを又喜んで買って行く人の心が口惜しうございます、これが世間の不實な證據でもございませうか、それを思ひますと妾は江藤樣が只々お氣の毒でなりません、それ故妾はこの寫眞を見る度毎に買取りましたが、いくら買つても買ひつくせません、それに此寫眞店には種板さか云ふ物があり燒き増をするのでその甲斐もございません、どうか御前樣あなたも皇國の恥さ云ふ事を御存じなら内務卿樣の御勢ひで、此の寫眞を賣ることを御差止め下さいまし、之れが妾のお願ひでございます」

さ、ホロリさ落涙した、大久保利通卿は之れを聞いて

大「ウム、よし、お前の願ひは必ず叶へてやる、安心しなさい」

小友「何卒宜しくお願ひ申します」

大「決して心配するな、此の事は利通が引受けてやる、イヤ賤しき藝妓風情には似合しからぬ愛國の志、感ずべき奴ぢや」

さ言ったが、心の中に大久保卿は、小友の國を愛する精神には實に驚歎しました、大久保卿は其夜はその儘お歸りになったが、果して江藤新平の獄門首の寫眞は間もなく東京中に其の影を潜したが之れは大久保利通が手を廻して寫眞の種板を買取ったものださいふ。

小友は後に藝妓を廢業して母さ共に故郷に戻り、商家の妻となり孝貞兩道を全うなせしさ言ふ、明治初年の愛國藝妓、吉田家小友の逸話はこれにて完結……。

サアトットデイ

トンチヤン コノヒモヲツケテホウッタラ イイデセウ

一年前の回顧

匪賊團の列車襲擊（十一月五日）

午前零時五分、貨物列車が滿鐵本線十家堡驛に進入の際突如匪賊襲擊銃彈飛來して來たので、同列車は速度を早め揚木林驛に到着、この旨四平街に急報しましたが、同驛舍は匪賊のため全燒、助役、驛員四名は殉職しました。この匪賊は抗日義勇團約六十名で後方には約一千名の匪賊主力部隊が在るさ判明しましたので、直に同地駐屯守備隊、郭家店、四平街より警官百三十名が現場に急行、共力賊を追擊殲滅しました

滿洲の初雪（十一月六日）

昨日までは小春日和の好天氣だった錦州、奉天では早朝から北風強く午前九時頃から風はやみましたがチラ／＼雪が降り出しいよ／＼滿洲の寒さが訪れて來ました。そして夕方には錦州では五、六寸、奉天では二、三寸積雪、初雪さしては稀な大雪でした

蘇炳文配下の暴行（同 七日）

第二の尼港事件さして一時各方面より氣遣はれた滿洲里の暴動事件の眞相は、其後日滿官憲の必死的努力さロシア側の好意ある斡旋で遭難邦人は大部分無事慘禍を脫出しましたが、この暴動は蘇炳文配下の鬼畜の如き迫害であるさ判明しました

市議選擧違犯事件（同 八日）

激烈を極めた市議選後選擧違反事件摘發違反嫌疑者はぞく／＼召喚されつゝありましたが、司法當局では發展途上にある大連市將來のためにも苟くも選擧違反に觸るゝものは戸別訪問さいへども徹底的檢擧のメスを揮ひ、從來の選擧に關する市民の觀念を入れ替へさせんさする刑事政策の見地から午前九時より大連地方檢察局に各檢察官集合、檢擧方針に關し重要打合せをしました

火災季節に（同 九日）

火災の季節さなったので大連市民の防火思想を喚起するため大連消防署及び市内四警察署、その他各消防關係組合の防火宣傳は午前七時から打ち鳴らされる召集警鐘さ同時に開始され市中に防火宣傳ビラ、マッチ等を撒布し、一方市内各所にポスターを貼附、また各戸別に採燈設備、炊事場等の火氣檢査を行ひ、午後二時から連鎖商店前の空地で盛大なる消防演習を行った

ル氏大統領に（同 九日）

米國大統領選擧の結果は午後十時十五分確定、民主黨候補ルーズ・ベルト氏は四百七十二の選擧人を獲得したに對し、共和黨フーヴァ氏は僅かに五十九を得たのみでした。かくて民主黨が過去十二年間に亘る共和黨の經營專制を打破して故ウイルソン大統領以來初めて民主黨員たるル氏が第三十二代の主人公さしてホワイト・ハウスへ入るこさゝなりました

ジュネーヴで流血（十一月十日）

ジュネーヴで戰爭反對の民衆大會が開かれましたが、社會主義者の一團が會場に押しかけ兵隊さ衝突大亂鬪さなり、ローザンヌから警官應援隊驅けつけ鎭壓しましたが平和の都ジュネーヴでかゝる流血の慘事を起したことは稀有のことでありました

勅題「朝海」（同 十一日）

昭和八年の御歌會始めの勅題は「朝海」と仰せ出だされました

朝晝晩

高山須磨子

	日	月	火	水	木	金	土
朝	オートミール ハムサラダ パン 紅茶 果物	エソの干物 すゞ子 パン、紅茶 果物	ベーコンエッグ パン、紅茶 果物	チーズ コールミート パン、紅茶 果物	鮭のバタ燒 パン、紅茶 果物	サーデン 半熟玉子 パン、紅茶 果物	ハムエッグ パン、紅茶 果物
晝	蛸 竹輪 がんもどき おでん 里芋、蒟蒻	牛蒡 お煮メ 油揚	鹽鮭おろし大根	松茸 うどん 春菊	大根 煮つけ 油揚	あんかけ豆腐 春菊 生姜	鰯の油燒 大根なます
晩	オイスターコクテル 寄鍋 鶏、蒲鉾、海老 筍、白菜、松茸 春菊、豆腐、素麺等	鯛の卵の花和へ 生姜のてり燒 菠薐草のおしたし 山の芋のお汁	鯖の生すし 海老松茸の白ソース煮 鶏の蕪蒸し	糸蒟蒻の鹿の子和へ 鮪のウニ燒 もやし油揚の煮付け 蜆の赤だし	蛸の酢味噌 里芋のゝか 常夜鍋	パイペンニュー 白片肉 かます鹽燒 春菊ごま和へ 豆汁	刺身、三葉辛子和へ 燒鶏、大根ふろふき 清汁 鶏、松茸、三葉

▲オイスターコクテル……トマトケチヤップにレモンの搾り汁と味の素を入れたもので生牡蠣を頂きます。

▲鹿の子和へ……糸蒟蒻と木耳をうす味をつけ明太の子で和へます。

▲常夜鍋……煮だしたつぷりの中へ豚と菠薐草を入れ煮ながら合はせ醬油で頂きます。

▲白片肉……豚を大切りの儘水の中へお酒と生姜を入れた中でゆでお刺身に作り辛子醬油で頂きます。付合せキャベツ

家庭滿洲語 紙上講座

第卅三課

一
(1) 池子
(2) 鴨子
(3) 浮。水。
(4) 會。浮。
(5) 不。會。水
(6) 會。飛。
(7) 不。會。飛。
(8) 會。不會

二
(1) 魚。在。水
(2) 在。裡
(3) 在。池子裡
(4) 院。子
(5) 在。門裡
(6) 在。院。

三
(1) 餵。子裡
(2) 餵。貓。
(3) 給。他。點心。
(4) 他。不。吃
(5) 怎。麼不。
(6) 不。愛。吃

【譯語】

一
(1) 池
(2) あひる（鶩）
(3) 游泳（泳ぐ）
(4) 泳げる
(5) 泳げぬ
(6) 飛べる
(7) 飛べぬ
(8) 出來るか出來ぬか

二
(1) 魚
(2) 水中に居る
(3) 池の中に居る
(4) 邸内の空地
(5) 門内に有る
(6) 邸内（庭）に居る（有る）

三
(1) 飼ふ、餌を遣る
(2) 猫を飼ふ
(3) 彼れに菓子を遣る
(4) 彼れは喰べぬ
(5) 何故喰べぬか
(6) 嫌ひだ

【說明】

鴨子 は鴨（かも）ではない、鶩のことは。**野鴨子**（イエーヤーツ）又は水鴨子さいふ。

浮水 は人の水泳さいふことにも使って鳧水さ書くこともある。

會 は出來る、卽ち能力の有ることをいふ。

餵 は本來餧さ書き、略して喂さも書く、嬰兒に乳を遣ることにも使ふ。

愛吃不愛吃 は食物の好き嫌ひをいふ言葉で、必ず吃さいふ動詞を伴って言ふ。

發音上の注意

會 ホ（ウ）エ（イ）は回と同音、（第廿一課參照）

飛 フ（エ）イ は脣の音で會の發音さは全然違ふ、フエーさフヰーさの間の音を工夫する樣に仕度い

魚 イ（ウ）ーは 口を少し前へ出して、充分つぼめたまゝ、イの音を發し最後迄それを續ける樣にするのである。

院 イ（ウ）エ（ア）ヌは前課の圓さ同音である（第卅二課參照）

前週の答

(1) 甚麼樣子
(2) 這個樣子
(3) 那個樣子
(4) 一樣的樣子
(5) 壞了罷
(6) 沒壞
(7) 扔了麼
(8) 沒扔
(9) 大聲兒
(10) 聲音小

【問題】 次の言葉を支那語に譯せ

(1) 君は泳げるか
(2) 僕は泳げない
(3) 彼の人は出來るか
(4) 彼の人は出來る
(5) 邸内に樹木が有る
(6) 門内に犬が居る
(7) 鶏に餌を遣る
(8) 子供に乳を遣る
(9) 貴方は好きか嫌ひか（食物）
(10) 私は大好物だ

滿洲日報
朝夕刊共十二頁
定價 一部 金五錢 一ヶ月 金一圓二十錢 郵税 金十五錢
廣告料 普通一行 金一圓三十錢 特別一行 金二圓六十錢 指定場所 二割以上加算
發行人 鈴木昇
編輯人 橋本喜代治
印刷人 本村武盛
發行所 大連市東公園町三十一番地 株式會社滿洲日報社 振替口座大連六〇番

新五相會議 七日開く
豫算と併行し農村對策を協議
齋藤山本後藤中島永井の關係五閣僚出席

【東京四日發國通】內政問題に關する根本國策樹立に對しては政府は過般の外交國防財政の調整に關する五省會議の不首尾に鑑みなるべく豫算省議を終了したる後之を行ふ方針であつたが荒木陸相を始めとして各方面から內政問題の解決を促すべしとの聲が頓に擡頭し政府の態度に對して不滿を抱く向きも多いので齋藤首相は豫算省議と併行して內政國策樹立に關する關係閣僚會議を速かに開くに決し來る七日閣議散會後農村問題を基調とする內政國策樹立に關し齋藤、山本、後藤、中島、永井の五相會議を開きなほ高橋藏相も豫算省議に支障無き限りその出席を求め

一、農村生活の安定を圖るべき方策
一、米價對策
一、農村負擔の輕減方策
一、肥料對策
一、重要農產物の販賣並に輸出統制
一、農村金融の改善

等を議題として審議することゝなつた

南洋への交通整備

【東京三日發國通】滯京中の林南洋長官は明年度豫算に南洋委任統治地域諸島と內地との交通機關の整備を決意し目下拓務省と打合中である、卽ち現在內地南洋間の交通は南洋廳の命令航路によつてゐるが、往航のみにてもパラオまで一週間、ヤルート島迄は三週間を要し、往復少くとも六週間の長時日を要するため交通產業開發上不便甚だしいのに鑑み種々研究の結果航空路の開發を斷行することに決意したものである、なほこの航空路新設計畫に伴ひ氣象觀測所の增設、無線電信設備の完備も期する筈であるから相當多額の豫算を計上する筈で同時に命令航路の延長並びに航行回數增加等をも期することになつてゐる

豫算商議捗らず
閣議は早くも十日頃

【東京四日發國通】明年度豫算に對する大藏省議は去月二十七日以來引續き開會され、今日迄に歲入と歲出の外務、內務、司法三省を審了したが、二日は高橋藏相の微恙で休會、三日も祭日で休會となつて居り、省議の進行遲々としてゐる、而してなほ殘つてゐるものとしては農林省、商工省、遞信省拓務省の外、明年度豫算の中心を爲すべき陸海軍兩省と大藏省の大ものが殘されて居り、之を完全に審了するには最少五日間を要するのであらうから、省議の終了は精々八日頃となるべく、その上計數の整理印刷等の時日も見ればならぬので第一回の豫算閣議は早くても十日頃となり、若し高橋藏相の健康に故障を生ずるやうなことも發生すれば、更にそれより延長することゝ觀られ、而して第一回閣議後における各省の復活要求を始めとして陸海軍の國防計畫確立を理由とする軍事費復活要求、內務農林兩省の時局事業費復活等豫算分捕りは未曾有の熾烈さを見るべく、各省と大藏省との政治的並に事務的の折衝は非常な多難を惹起するものと觀られる、從つて豫算の最後的決定を爲すべき豫算閣議は下旬頃となるのではないかと思はれる

絶縁を賭して— 陸相の奮起を促す
陸軍部內の强硬意見

【東京四日發國通】現內閣の非常時國策樹立問題が旣に明年度豫算決定期にあるに拘らず未だ積極的進展を示してならぬ現狀において陸軍部內では過般來屢々會合してこれが對策を協議した結果荒木陸相をして國策樹立を敢行せしむべきであり、政府にしてこれを肯ぜざる場合は內閣との絶縁も又止むを得ないとするに意見一致し近く代表を派して陸相の奮起を促す筈である、只最後の一點卽ち「陸相の主張が貫徹しない場合」に於て軍部が內閣と絶縁すべきか否かの點に於ては多大の開きがある、卽ち陸相としては現內閣の存在並に現內閣の閣僚たることに何等の未練を有してゐないが

一、現內閣倒潰の後にも來る新內閣が果して現內閣よりよき內閣なりや否やには多大の疑問あり國內現狀より判斷する時寧ろ現內閣以下の內閣が出現するものと見なければならない、果して然らば現內閣の內閣を以て帝國は千九百三十五、六年の危機に對さなければならぬことになりこれは國家の一大損失である

一、軍の作用による現內閣の崩壞を目算して行動せんとする野心家が政黨その他各方面に存在する、この情勢下に於て軍が內閣と絶縁せば必然的に混亂が生ずる、これは國家並に國軍の不幸である

一、その他諸種の事情並に情況より判斷する結局軍自體が後事を收拾する決心を有せぬ限り容易に內閣の絶縁すべきものではあるまい

とする見解から荒木陸相としては未だ最後の場合の決心を定めかねつゝある、從つて右政策問題の進展に連れ政府對陸相の關係以外に陸相對部內の關係に於ても相當波瀾を免れざるに至りはせぬかと頗る重視されつゝある

對內國策と荒木陸相の態度
軍部案は不提出か

【東京三日發國通】農村問題、敎育問題、思想問題等對內國策に對する荒木陸相の態度は各方面から注視され、次回の閣議では何等かの重大意見を表明するのではないかと注目されてゐる、しかし陸相は最近對內國策に對する各閣僚の意向は大體明瞭に判明し、自己の抱懷する所見と相當の懸隔あることを感知し得るので、今後國策案を提示してこれが貫徹を飽くまで要求するにおいては重大決意を要し、直に實現を見ることは到底困難の情勢にあり、齋藤首相も對內國策の遂行については陸相の提言に對しては曖昧の態度を持してゐる狀態である、陸軍首腦當局の意向も最近では陸軍においても對內國策について成案を有するも、陸相から之を提示するやうなことはしないとの意向を洩らしつゝある點から見て、陸相は對內國策問題については當分靜觀の態度を持するものと觀られるが、內閣の無爲については軍部內で相當不滿の聲が起つてゐる折柄今後の陸相の態度は注目される

中島商相民間側と私的會見

【京都四日發國通】中島商相と民間側との日印會商對策に關する私的會見は四日午後三時京都ホテルで開催、出席者民間側より阿部房次郞氏、津田信吾氏其他で印度讓步し附帶條件が滿足なる解決を見れば民間側として綿布棉花の關聯數量に關しても政府案と接近し得る餘地ある事を中島商相に暗示しこれを契機に官民諒解具體化さると期待されてゐる

民間側協議

【大阪四日發國通】中島商相西下を機として四日午後三時京都ホテルに開催の對印官民私的會談に出席する阿部紡績聯合會委員長、津田鐘紡社長、庄司東洋紡績副社長、小寺日本紡常務、野瀨棉花同業會々長、山崎輸出綿糸布同業會々長等の諸氏は同日正午綿業會館に會合商相に披瀝すべき民間側の態度に就き打合せを行つたが豫期された如く民間側は頗る讓步的態度を示し附帶細則に徹底な條件に政府提議の綿布四億ヤード棉花百萬俵案を審議する事となつた、これに對し商相が如何なる言明保證をなすか今の處不明であるが附帶條項に關する綿業者側の要望さへ容られゝば豫然一轉して政府民間兩者協調安協は完全に達成されるべく成行頗に樂觀されるに至つた

條約期限（來る十日）迄に協定達成困難
日印デリー會商停頓

【デリー三日發國通】日本綿布割當問題に引掛かつて停頓狀態に陷つた日印會商は日本側の最終的提案を提示すべき政府の回訓が何到着しないので三日は何等の進展を示さない、卅日の第九次本會議以來印度側との折衝は全然行はれず日印双方異常な緊張の裡に專ら回訓の到着を待つてゐる狀態である、日本代表部では三日午前日本外務省より大阪に於ける官民協議會の模樣に關し入電があつたので政府代表一同は澤田首席代表の部屋に電報を中心に重ねて日本の對策に關し懇談を遂げた、旣に日印通商條約の滿期も後一週間の後に迫つたが本日に至るもなほ交渉の再開が不可能なので今後急轉直下的に懸案の解決をみない限り假令協定に到達するとしても專門的問題が未だ殘つてゐるので條約期間たる十日までに總ての點に亘り協定を達成する事は困難とみられるに至つた

撫寧城奪回未し
保安隊愈々猛擊開始

【錦州特電四日發】于學忠部下の保安隊四千は中立地帶の治安回復のため旣に旬餘に亘り撫寧縣城を中心とする賊團約六千を包圍中であつたが愈々戰機熟し三日午前三時より折柄の月明を利して大砲、迫擊砲の砲陣を敷き總攻擊の火蓋を切つたが賊團も頑强に抵抗し四日も引續き猛烈なる攻防戰を展開してゐる、當地に達したところに依ると撫寧縣城奪回は一兩日中と見られてゐるが灤東及び長城境界外一帶の完全なる治安回復は今日の北支政權の實力では種々の複雜なる關係からなほ容易でないと見られてゐる

ニラへの反逆
ル大統領の陣營から〝產業解放運動〟起る

【東京特電四日發】紐育よりの情報によれば、米國の國家產業復興運動への反逆は政黨政派を超え各方面に揚げられてゐるが、二日遂に商務省直屬實業諮問計畫理事會の決議となりル大統領の陣營內から現れるに至つた、卽ち米國の生活標準を維持し向上せしめんためには產業を政府の干渉及び管理から解放し、自發的進取的精神の發動を許さねばならぬといふのである、これはローパー商相の招いた實業、工業、金融界の有力者三十餘名により可決されたものでニラ運動の危機は愈々尖銳化した

米の艦隊主力 大西洋に復歸
太平洋引揚げ理由
スワンソン海軍長官の談

【ワシントン三日發國通】偵察、戰闘兩艦隊を根幹とする米國艦隊の主力を大西洋に集中するに決したスワンソン海軍長官は次の如く語つた

米國海軍は大西、太平兩洋を知る必要あり、大西洋岸と太平洋岸何れの情勢をも熟知しなければならぬ

更にルーズヴエルト海軍次官は右移駐の目的につき聲明して曰く

大西、太平兩洋に於て中期航海を行ひ海軍將兵をして海戰並に航海につき豐富な知識を得しめることは米國海軍の旣定方針であるが今回太平洋岸の根據地にある米國艦隊を大西洋に集中するに決したのは要するに右正常的訓練方針に復歸したものに外ならない、更に大西洋諸州出身の將兵は今回の移駐に依り久し振りで家族並に家庭を訪問し得べく大西洋艦隊は所屬根據地造船所に歸還し手入れを行ふことが出來やう

日本に對する重要〝表意〟
底に底ある艦隊引揚げ

【ワシントン三日發國通】米國が艦隊を太平洋に集中したのは日支事件を繞る日米兩國關係の緊迫に備へたものであることは自他共に認むる事實であつた、然るに今回スワンソン海軍長官がハワイ方面視察の結果右集中政策を變更するに決したのは表面大西、太平兩洋における海洋作戰に習熟せしめる必要に基くものだと云はれてゐるが極東の情勢が幾分緩和するに至つた結果日本に對する一のゼスチユアとして重要意義を有するものである、而して大西、太平兩艦隊を一たん大西洋に集中した後再び全艦隊を太平洋に歸還せしむるか或は太平洋戰闘艦隊のみを歸還せしむる方針なるかは今のところ未だ明かでないが何れにしても事實上全艦隊を太平洋より引揚げることは從來の米國の政策に對し非常な變化といはなければならぬ、大西洋移駐の結果潛水艦サンディーゴ根據地の空軍並に修理計畫に當つてゐる艦艇を除き事實上米國艦隊の全主力が大西洋に集中されアジア艦隊並にカリビアン海艦隊には全然關係がないもので其の一時的行動の如きを取つて兎や角言ふべきではない

實施は明年夏期

【ワシントン三日發國通】ル大統領は三日スワンソン海軍長官、海軍次官ヘンリー ルーズヴエルト氏軍令部長スタンドレー氏等の海軍首腦部と協議の結果、一九三三年一月海軍大演習當時以來太平洋岸根據地に碇泊してゐるアメリカ海軍の主力を明年を期し再び大西洋に移駐せしめるに決した

我海軍の觀察

【東京四日發國通】米國海軍主力艦隊大西洋廻航の報に關し海軍省當局は左の如く語つた

今迄太平洋に配置されて居た米國艦隊は來年春夏の候に一時大西洋に廻航し秋に入り再び太平洋に歸還するとの報道を耳にしたが未だ確報に接しない、米國海軍の配備は米國自らなすべき

榮厚氏招待會
日本銀行主催

【東京四日發國通】日本銀行では四日正午より來朝中の滿洲國中銀總裁榮厚氏を主賓とし財界の諸名士多數陪席の上午餐會を催し午後二時散會した

辭令【東京四日發國通】

奉天在勤を命ず 領事 重松宣雄
重慶在勤を命ず 奉天副領事 中野高一

滿鐵機構改正
軍、滿鐵合作案略成る
沼田中佐再東上か

【東京四日發國通】滿鐵機構改正に就いては關東軍特務部と滿鐵當局との間に協議されてゐるが、兩者の意見は大體一致を見たので特務部沼田中佐は改造案を携行して近日再び上京中央部と打合せたき旨陸軍中央部に報告があつたが、場合によつては同中佐と共に小磯參謀長も上京する事になるやも知れぬと、而して滿鐵機構の改正に就いては陸軍中央部では從來の滿洲鐵道以外今後滿洲國から新に關東軍司令官に經營を委任されたる鐵道の監督權を勅令並に法律を以て明確に規定せんとするのが眼目であるからこれによつて軍部拓務省間に問題を惹起する如き事はないと見てをり關東軍と滿鐵にて作成せる具體案の最後的決定も關係四省會議開催せず陸軍拓務兩當局の協議によつて決定をみるのであらうとしてゐる

激勵電報

三日滿鐵社員會事務局に到着した激勵電報は左のごとくである

▲東京支部 今回の件につき當地情勢は官民ともに靜觀主義にて目下のところ前電と變らない十月二十八日發表の社員會宣言書に就いては社員の意を代表するものなりとして好評嘖々たり今後の當地に於ける諸情勢については出來るだけ速報す

▲昭七會 我社が改造問題を繞り特に一大轉機に當面せんとする秋、會社使命の強化遂行のため特別委員會の成立せしを喜び絶對的信賴を以つて之を支持す

滿洲の秘密結社と思想……（下の二）
大連署警務主任 末光高義

大刀會は光緖年間に山東省東昌府に起つたが、紅槍會と同一流のもので白蓮社の支流を汲んだ秘密結社である。元來大刀會は匪賊防衞を目的とした農民の自衞團であつたが、漸次暴政に反抗し不良官吏を膺懲するなどの行動に變り遂には排外運動をも起すに至つた。

一八九七年に耶蘇天主敎の跋扈を憤ほつて山東省曹州で耶蘇敎會堂を破壞しドイツの宣敎師を殺しそれを口實として膠州灣ドイツに占據されるやうになつたのも大刀會の暴擧である。この大刀會の信奉してゐる宗旨は天神を祭つてゐるので彈丸も身に中らず刀槍も身に入らずとの神法を提唱して呪文を唱へ護符を吞んで戰場に臨むので非常に勇敢である。また

この會員は農民であるから事があれば一村一團聚つて槍、又は刀を以て戰場に向ふが、平素は家に在つて農業を營んでゐるため、皇軍が匪賊討伐に行つて集團的匪賊が居なかつたといつても決して油斷は出來ない。

▲▼

大刀會と紅槍會との區別に就いては元來同一流であるからその奉ずるところ、行ふところも變りはないが、唯大刀會は紅槍會と比較して資產を有する者が多い、卽ち紅槍會はルンペン・プロレタリヤが中心となつてゐるといはれるが今日ではこれを以て區別の標準にはならぬ。又組織においても平素は三團に分れ、一團は夜間一所に集まつて禮拜修業をなし、一團は就寢し他の一團は部落の外廓を巡守してゐる、而もなほ他部落との連絡が敏速に行はれてゐるため外敵を觀知することが無線電話の如く早く行はれる、又元來各自の武裝は八尺の赤柄に十部に赤い纓を附けた大身の槍を持つてゐることから紅槍會の名が生れたものであるが今日は靑龍刀を背負ふてゐる者もあり、長銃、拳銃を持つてゐるものもあるから武器を以て紅槍會、大刀會を區別は出來ない。

▲▼

（一）在理敎、音が似てゐる關係からか靑幇—在家裡と混同してゐる向があるが、これは別個のものである、在理敎はその敎旨が甚だ曖昧であるが、主に角佛敎の法を奉じ、儒敎の禮儀を習ひ、道敎の行を修むといふのであつて、この佛、儒、道の三敎を渾然融和したもので因果應報と「拔苦與樂」とを說き、正身、修心、克己、復禮を本義として戒煙、戒酒を修むる宗敎的結社である、その祀る本尊は觀世音菩薩と老子、孔子の三聖祖の像であり、これを信仰の目標としてゐる、從つて支那人の宗敎結社としては類のない積極的自己修養を目的としたものであるが、彼等の內部生活關係は「扶義守信」とか「劫富濟貧」とか道德的信念を說いてゐるので、他の秘密結社と共通するところもある。在理敎も山東に起つたものであるが現在では支那全土に亘つて敎會があり、その敎約三千といふ。滿洲では約三百の敎會があり、敎徒三百萬といはれる。支那民族社會としては最も一般的であつて「我在理」といへば誰でも理解出來る程好く民家の間に普及されたものである、この在理敎は表面は合法的宗敎であるが、內面はやはり秘密にされてゐる結社である。然し目的が戒煙、戒酒、自己修養の宗敎であるから誰でもといふわけにいかぬ、然し敎徒間の團結として見るべきものがなく從來政治運動に關係した歷史を有して居らぬが、相當勢力を有する結社であるから統治上無視することは出來ぬ。

▲▼

靑幇—在家裡、元來在家裡は支那の時代變遷に從つて結社自體に歷史を作り各種の分派を生じ又は官僚軍閥の傀儡となり、或は自ら投ずる等時に結社自體の目的以外に活躍して來た支那プロレタリヤ民族社會の全體に向つて浸潤してゐる相互扶助を目的とする民族結社である。從つて滿洲の馬賊とても在家裡を母胎として生れたものであるが、滿洲でも在家裡の勢力を擧くに至つたのは大正十二年と思ふ。靑幇、在家裡は上海が本場である。

大連では本年三月靑幇、在家裡を統一し本來の目的たる義氣、仁俠、相互扶助を行はんとの趣旨によつて東亞佛敎會を創設して大連の在家裡二、三萬を統一して大組織體とせんと全滿の在家裡に呼びかけて立つたものである。また奉天、新京、ハルビン、營口等の在家裡は日本人二、三名の者によつて先づ日本を觀光させ、而して全滿の在家裡を大組織體として統一し滿洲國の治安確保及び政治工作に利用せんと策動したために各地の在家裡が漸く擡頭し始めたこの機會に更に正義團及び大本敎或は協和會その他の野心家等が各自己中心とした狹量な考へからものにせんと動いてゐるやうであるが、この問題は王道主義國家の基礎的關係に及ぶ重大なる關係を有してゐることは此等一部の策動は相當警戒の要がある。これが單に一地方の特殊の結社であれば問題はないが支那プロレタリヤ階級民族社會の結社であつて、滿洲の動きは直に支那全土に及ぶ可能性があるから注意すべきである。今日職人、軍人、官吏、敎育者、インテリ・ブルジョア階級がこの結社內に多くなつた。滿洲國の支那人官吏中にも相當重要な地位にある者に多數幇員があることを聞いて居るが未だ一般に理解がないので徒らに誤解されることを懼れて秘密に行動してゐるやうである。

本日夕刊共十六頁

寸說

團體生活者と風紀問題

最近大連及び沿線に續發した社會事故中、事の有識階級の家庭若しくは素行に關した者少くない。殊にそれがこの地中樞機關の在籍者であつたり、滿洲國の行政事務に携はる官吏であつたりする處に世間の注意は尖銳化した。勿論斯樣な事故の類例は、何れの時代、如何なる場所にも少くはないので、取立てゝ喧しくいふほどでないかも知れぬ。又その中の或る者の如きは餘り評判の誇張的なのに對し、寧ろ第三者から同情を寄せられて居る向さへある。併し事件その者の好ましからぬ社會現象たるやいふまでもなく、それが大きな機關の團體的名譽に影響し又は國民的信用を傷くるに至つては等閑視すべきでない。抑も斯樣な道德的頽廢の現象は、今日盛に論議される思想問題と共に時代の大勢が促したものであつて、それには各種各樣の原因がある。その中最も著しいのは生活問題である。この經濟問題を單なる政治的論理工作で防止することは出來ない。併し經濟行詰りを來した處に道德的問題があることを考ふべきだ。この點に顧念せずして唯だ行詰りの打開のみを念とするも、果して孰れの日か目的を達成し得やうか。

◇

注意すべきは、右樣の犯罪が生活苦の爲でなく、却つて比較的生活の安定を得てゐる筈の社會人に多いことだ。この頃喧しく論議される思想問題に徵しても、歐洲大戰以來引續いての不安氣分はあらゆる文明國の人心を蕩搖させて居るが、さうした不安の由つて生じた原因を何人も主に經濟的に觀察して居る。勿論大部それに違ひないやうだ。併し衣食住の根本要素から檢討するさ、必ずしも國家個人の生活苦ばかりではない。少くともその所謂生活苦は生活資料の問題からでなく、誤つた生活樣式の結果だと評すべき點が多い。

◇

その證據には何れの國家も大衆生活の要素たる農產物の過剩や、自國製品の對外不捌けに苦んで居るので、資料その物の自給的缺乏ではない。勿論其處には複雜な社會狀態や經濟事情があつて、その間に生息する民族の時風を、曾て單純であつた舊時の舊慣で律することは出來ない。併し入るをはかつて出づるを制するてふ經濟の原則は今も昔も變る筈はない。切言すれば人心が輕佻浮華の橫溢するに任せて、大衆生活に、個人生活に自ら放縱な亂脈な刹那的享樂主義を助長させた結果が、自ら常操を破壞し、非行を敢てするに至らしめたのである。

◇

かうした現象は同時に各人が生息する當該社會の罪でもある。健全なる社會は健全なる個人の集結を意味する。右樣の犯罪事故を釀出させた組織團體の中には、何處にかさうした不健全な頹風が漂うて居るからに相違ない。例へば滿洲邦人の中堅層や、內外行政機關內の生活者にとつても、此種の團體裡で直ぐ論題になるのは經濟問題だ。生活問題だ。如何なる從業員もこの問題には附和し雷同して遺す所ない。處がさうした團體裡に最近比較的多くの犯罪や非行が繰り返される。

◇

比較的に生活安定ある筈の人々の間に生活問題が重視され、又其間に生活苦に本づく非行があるといふことは、第三者から見れば頗る矛盾の感を禁じ得ない。勿論數多い大衆のうちには雜多の事相が起る。特に其の一斑を舉げて全貌を推定し難いがその爲に世間から全機關全組織の道義的信用を上下されるのは警戒すべきだ。世人が滔々たる社會相の濁流を見て、其の原因を尋ねて口々に經濟的經濟的と高唱するけれども、尙その外に道義的に自制して行かねばならぬ者の多いことを反省せねばなるまい。

國境河川の航行權を確保
滿洲國商船の活躍と江防艦隊の威力

【新京電話】舊政權時代完全にソウエート聯邦の下にあつた國境河川の航行權につき滿洲國では成立以來江防艦隊をもつてその主權の確立につとめつゝあるが去る七月二十九日軍艦利綏、江平、江淸、砲艦恩民、惠民、愛民は江防艦隊司令官尹少將の引率の下に高鏡、撫遠間に第一次江邊視察を行ひ無事歸還その間は對岸のゲペウ監視隊とまた行交ふソ聯商船隊の間には互ひに記章を降下して敬禮を交し茲に舊政權時代抛棄して顧みなかつた國境河川への進出に成功したが次いで同艦隊は黑龍江進出を企て八月十九日富錦を出發し途中四洮及び饒河等において優勢なる救國軍匪賊を擊破し又敵船洞山號及び北鐵號の奪還を行ひ又避難民一千四百名を救助するなど多大の效果を舉げ三十日富錦に歸着したが右行動中もゲペウ監視船一隻が數日中尾航したのみで又九月七日砲艦大同、利民兩隻をもつて第三次黑龍江進出を實行し大黑河を經て漠河まで遡行更に進んでアルピン河を遡ると二千キロに至つたがその間は大同ソウエート聯邦の商船と衝突の事件があつたが損害はなくその外赤軍の兵士が滿洲國側の諸島に據つて密漁中を發見檢擧するなどの成果を舉げたがなほ十月三日には大同、利民の兩艦をもつて撫遠、富錦間の沿岸警備を行つた、以上四項に亙る江防艦隊の根據河川進出は新興滿洲國の國力充實を實證するに歷史的事蹟を舉げたもので地方人民は多年の屈辱的羈絆から解放され國軍の威力によ[…]

東京を直接滿洲に結ぶ爲
發着港を芝浦に變更

【東京特電四日發】日滿貿易の進展に伴ひ東京市の產業部では現在橫濱から發着する大連、天津行貨物船を芝浦に延長して當業者の便を計り東京商品の大飛躍を行ふ計畫をたてた、近來滿洲國へ輸出する東京商品は一年約千五百萬圓に達し更に激增を豫想されるので橫濱經由では不便を感ずるさいふのである、尙市の九年度事業として羅津、新京、チチハル、錦州の四箇所に東京商品陳列所又は常置員を設置することゝなつた

滿蒙輸出組合設立認可指令

【東京四日發國通】商工省は四日附大阪滿蒙輸出組合設立認可の指令を發した

一、名稱　大阪滿蒙輸出組合
一、目的　滿蒙輸出貿易の振興を圖るため協同の施設をなす[…]
一、事務所　大阪市
一、地區　大阪府
一、理事長　森平兵衞
一、組合員たる資格　地區內に營業所を有し滿洲及び蒙古への輸出に從事
一、設立同意者　二百二十二名

尙は事業計畫概要、組合員取扱商品の買取輸出委託輸出及び輸出の斡旋、組合員取扱商品の保管倉庫設置[…]

俸給支拂　ルデイ局長狼狽

【ハルビン特電二日發】さきに逮捕されたソウエート系北鐵職員に對する俸給支拂停止にすれてルデイ局長が全從業員への十月分俸給不拂を發明した事は重大な越權行爲として成行を注目されてゐたが滿洲國當局は右ルデイ局長の獨斷行爲は許し難い暴擧であるがこは財務關係に滿洲國人を置かない結果であるさて三日午後對策を協議したが、之を探知したルデイ局長[…]

新廳舍

(寫眞はこの程竣工を告げた新京市役所、十二日午後二時落成式を行ふ)

故武藤元帥百日祭

【新京電話】故武藤元帥の百日祭は四日午前十一時より新京神社にて擧行、岡村參謀副長始め小磯參謀長、小林駐滿海軍部司令官、吉澤總領事代理、滿鐵地方事務所首腦部、滿洲國側からは鄭國務總理、寶府中令、謝外交部總長始めその他日滿各機關團體代表二百餘名が參列嚴かに擧式され、正午盛嚴裡に終了した

熱河地方は棉花の好望地
棉花協會出張員の談

【奉天電話】棉花協會中川枝正は一熱河に棉花栽培が可能であるかど[…]さ、滿洲から一億五千萬斤の棉花を收穫することは熱河の獎勵で[…]さを認めた

營口の過爐銀廢止
新銀行設立計畫進む

【營口電話】營口における過爐銀廢止につき三日來營した田中理財司長は四日左の如く發表した

營口過爐銀は永年の沿革を有する制度であるがその運用宜しきを得ざりしと他の種々の外部的事情とのため漸次その信用を失墜し殊に滿洲事變後益々甚だしく最近においては殆どその極に達し、ために營口の金融は全く梗塞の狀態に陷つてゐる、これが窮境を救濟することは焦眉の急務であるのみならず滿洲國の重要政策の一たる幣制統一の方針よりみてもかくの如き制度は永く存續を許すべきものでないとの見地から財政部においては早くより整理の必要を痛感し愼重調査對策を講究中であつたが最近營口財界救濟のため援助を申請したのを機會に營口の事情を充分聽取し熟議の結果、今回いよ〳〵成案を得たのでその案を市民に說明し圓滿なる實行を期せんがため來營した次第である、案の大綱は左の通りである

一、現存過爐銀營業を速かに停止せしめ過爐銀の行狀融通を禁止す但しその時期は新銀行開業の時とす
二、新たに資本金國幣二百萬圓程度の銀行を設立し金融の圓滑をはかる
三、右銀行に對しては滿洲中央銀行において極力援助す
四、過爐銀建債權債務については總務商會をして速かに整理辦法(過爐銀の決濟相場を含む)を定めしめ財政部の承認を受けたる上實行せしむ
五、現存の過爐銀は財政部の監督の下に速かに整理せしむ

なほ新銀行開業の日は十二月一日と豫定し既に準備中なり、また開業にいたるまでの金融に資するため滿洲中央銀行より取敢ず百萬圓程度の融資をなす筈でこれが金利は七分である

日、獨兩國の聯盟脫退共通點(下)
半澤玉城

[…]

依是觀之、日本の聯盟脫退と、今回のドイツの脫退理由とには、一脈相通ずるものがある。其の化石的現狀維持を否定せる點に於て最も然るを見る。但し日本は聯盟の平和原則を否定すると同時に、日本獨自の平和原則を高揭して、現に滿洲國の發達と、東洋平和の增進とに、其の眞價を現實に顯して居る。然るにドイツは果して如何なる新工作に於て、世界の進步に貢獻を爲さんとするか。ドイツの聯盟脫退が著しく單に軍備平等と云ふが如き小乘的理由に止るならば、我等は同國の前途に多大の光明を期し得ざるを遺憾とする。

いよ〳〵近き特別市制
閻市長內地視察

【奉天電話】六日午後二時四十分安奉線で朝鮮經由約一ケ月の豫定で大阪京都名古屋東京の四大都市を視察に向ふ閻奉天市長は語る[…]

滿洲商工會議所理事會規則

正規則全文左の如し

第一條　本會は滿洲商工會議所理事會と稱す
第二條　本會は滿洲商工會議所聯合會加盟團體理事を以て之を組織す
第三條　本會は商工會議所の機能發揮に必要なる事項及事務の聯絡統制に關する事項を協議するを以て目的とす
第四條　本會議長は開催地會議所理事を以て之に充て議事の整理及開會中の事務を統轄せしむ
第五條　本會は每年四回一月、四月、七月、十一月定期に開會するものとす開催地は本會の決議により之を定む但し緊急協議の必要ある際は臨時會を開催することを得
第六條　開催地會議所は二週間前に開會の日時を各會議所へ通知するものとす但し臨時會の場合は此の限りにあらず
第七條　本會の費用は出席人員に割當て會議所に於て負擔するものとす
第八條　本會の決議は滿洲商工會議所聯合會に提出するものとす

國幣發行高(十月二十日より同二十六日まで)單位圓

發行額　一〇九、四〇六、四七五
準備　六三、一九一、六七一
保證　四六、二一四、八〇四
時幣發行高　六四〇、二六五

人事

▲岡本榮氏(熱河金鑛調查班長)四日午前七時四十分着列車にて着連
▲菱刈隆大將(關東軍司令官)喪參謀、今岡副官、篠原秘書課長帶同、四日午前九時發列車にて歸任
▲水谷秀雄氏(關東廳文書課長)新任挨拶のため四日市內各方面歷訪

關東廳辭令(四日)

任關東廳技手　米野英彥

電報料引下陳情

靖安遊擊軍創設記念式

小觀

[…]

市況(四日)

株式　當市軟弱
特產　南支筋買に大豆軟り
錢鈔　鈔票廢止說に當市低落
商品　麻袋變らず綿糸强保合

市場電報
神戸特產　大阪期米　神戸期米　東京期米　大阪綿糸

[…]

奧地市況

[…]

面妖な滿蒙進出

今朝の話題にいかべ

お妾さんを捨てに 笑へぬ中老、戀の道行

息子たちの解消論に遭つて 三原山行も考へたが

もう年も相當かさんだお父さんが息子たちから猛烈な解消談判にぶつつかり、ては息子たちの希望通り可愛いお妾と別れようと決意を述べたものゝ、やはり可愛い見越しの松の下のお園ひもの、せめての名殘りにと伊勢參宮と出かけた道中、流行ものゝ三原山行きの相談も二人の間に交されたが、死んで花實が咲くものかと滿洲へ道行きとしやれ込み、とゞのつまりはお妾を滿洲へ捨てゝ歸らうと、とんだことまで考へた氣の弱い笑へぬ中老、戀の道行――

お妾さんをはる〴〵滿洲へ捨てに來た呑氣なさうさん、當地水上署では擧ての手配で二日入港たこま丸で上陸した中年の男女を

引致 取調べ中であるが右は福島縣福島市北町居住の神山義八(五二)と安部ユキ(三九)の兩名、これはまた實に呑氣なしかもナンセンスな道行きで初冬の話材に好適……、この分別盛りの兩名はかねてより旦那、お妾の關係にあつたが、最近にいたり神山の家族殊にもう一人前に成長した長男等の猛烈な反對に遭ひ「そんなお父さんならお父さんと思はない」なんて言はれ氣の好い義八さんは「俺さへ我慢すれば……」と決然として涙を揮ひ別れることゝなつた、そしてその最後の思ひ出にと、かれて東北地方で

募集 した天理教の伊勢參拜團に加はりしばらくその一行と共に樂しい旅路を續けてゐたがユキさんにしてみてもたとひお妾生活とは云へ義八さんに別れるのは身を切るよりつらい、一層流行もの三原山へでもと決心したが死んで花實が咲くものかと義八さんの絶對反對に遭ひ、では一思ひに滿洲へ……、滿洲には黄金の花が咲く、勝美夫人も出たではないか、なんて相談が纏まり前述の如くはる〴〵滿洲に來たのだが、來滿に際し義八氏は「わしはこれから遠い滿洲へ行く」なんて遺書めいたものを郷里に送つたので、びつくりした郷里の連中早速警察の手を經て手配取押へとなつたものである、當の義八さんは

案外 にものんきなもので「まあユキを置きに來たんですよ、ついでに滿洲をよく見て土産話でも仕込みたいもんでさあ」とおさまり返つてゐる、因に兩名は豫定の如くユキさん一人が滿洲に捨てられて義八さんは近く歸國するさ

鬼將軍の佳話

日露役當時從卒の同郷記者と 花咲く陣中ニュース

【吉林二日發國通】死せる從卒の追憶に涙する老將軍佳話――近頃愉快な陣中ニュース、今日在吉記者團が討匪司令部に廣瀬將軍を訪れ討匪談に花を咲かせてゐる内に偶々一記者のお國言葉で嘗て日露の役當時の將軍の從卒の同郷である事を知つた將軍は椅子を乘り出しそうかく〳〵と懐し氣に感歎詞を

連續 しながら「當時青年將校として第一線に立ち幾度か生死の境にも置かれ死地にも飛び込んだものだが、その從卒は俺と生死を共にするのだと云つて何時も傍を離れずよく働いて呉れたものであつたが」と感慨無量の面持よろしく「從卒の死後遺族の生活振りを見たい、墓參もしたいとは長い間一日も忘れぬ願望であるが軍務多忙のため未だにそれを果し得ないでゐる、本當によい從卒であつたが」と遠い過去の思ひ出を追ふ老將軍の眼差しには白く光る物さへ滲しく宿つてをり、この激烈な討匪行に吉林幾萬の匪賊から鬼將軍として恐れられてゐる武人の奥床しい人格に打たれ、流石の記者連も恍惚として引揚げたものだなほ廣瀬將軍は各討匪部隊の士氣視察のため時に第一線に出馬するが兵の幸福を

幸福 と兵の苦痛を苦痛とする將軍は肌刺す寒氣を冒し山野に假寢してゐる全線將兵に濟まぬとあつて宿舍でもオンドルの間に寢すして板の間を選んで臥すと傳へらる、されば兵卒が將軍を慕ふ事慈父の如くこの將軍の馬前に死にたいと云ふ兵の感激が今回の討匪行動の上に如何に影響してゐるか云ふ迄もないことであらう

地方散在の武器回收

まづ龍鎭縣にて着手

【北安鎭四日發國通】從來より匪賊の徹底的剿滅の一策として地方民間に散在隱匿する銃器の買上げは最も有効な方法と見られてゐたがその實行難のため何れの地方にても實行せられなかつたが今回龍鎭縣にてはこれを決行することゝなり去る九日より開始第一區は既に二百八十五挺を無事回收終り二

狙ひ撃ちに射たれた殿臣

機を窺ふ自衛團員に 綠林の英雄の末路

【吉林二日發國通】新王國建設の夢も破れ哀れ老爺嶺峡谷の露と消えた殿臣、彼の最後は吉林匪賊の最後を物語るべき一片の好資料である、嘗ては南部吉林の御旬を中心に磐石、馬石鎭一帶を繩張りとして

覇を 唱へ宗國盛、毛作林等と共に吉林土匪の大頭目となり數千の群小匪賊の上に馬賊の歌を[illegible]その昔に長白山の麓に反滿抗日の馬賊を押し立て長驅一度び揚げたが日滿兩軍數度の討伐により根據地を追はれ大集團匪の存在を許されず分散解消の一途を辿るに至りたるもなほ五、六百の手兵を引提げ己が郷里たる平頭子御旬の間を我物顔に横行して掠奪兼行至らざるなく（殿臣一過至村處女なし）の小唄に歌はれるまでの修羅

〔つづき〕その本領を

發揮 してゐたものだ、ところが今次の大討匪行によりさしもの綠林の英雄者として誇つた彼も我精鋭の大掃討網の中に陥り大鍬樋を振翳してちり押しに迫る討匪軍のために呼蘭街北方約四里の老爺嶺峡谷に追詰められ遂に年貢を納める時來るを悟り白旗を掲げて手兵と共に我軍門に投降したものであるが、嘗て彼が暴虐をつくしてゐた頃老爺嶺附近の白衛團長を虐殺したことがあり團長の仇敵として復讐すべく機を窺つてゐた一自衛團員が彼の投降を知つて好機

〔つづき〕逸すべからずとなし山中に待ち伏せてゐるとは知らず僅かの手兵と共に煙筒山に向ふ途中狙ひ撃ちに射たれて致命傷を與へられたここに我討匪軍の憐の手に助けられ百方手當を施されたるもその

甲斐 なく（日本軍多謝々々）を繰返しながら（浸注子）の一言を殘して死の清算をなしたものだと云ふ、憐いかな彼殿臣の投降は今次討匪軍としての一大收穫であり彼自身も一切の過去を清算して斷然轉向歸順の上は王道樂土滿洲國の建設のため一肌脱ぐと誓つてゐたので討匪軍側でも彼の不慮の死を相當惜しんでゐる模樣だが、又奇しき運命の復讐の手に斃された事であり綠林の英雄に相應はしい末路だとも云はれてゐる

櫻内夫人の生活 いぢらし心境

覆水盆に返すたゞ一筋に 枝原司令官夫人來滿

櫻内家の家庭悲劇の結末となつた明枝夫人は澁谷に愛兒四人と共によき母としてつゝましい生活を送つての明枝夫人のよき母とは知己名流夫人の

同情 を集め、[illegible]夫人と女學校以來の親友順要港部司令官枝原夫人[illegible]枝夫人の心境、生活を[illegible]に傳へるべく明春渡滿[illegible]上げ、病軀を押して遠く下旅順の官邸に病を養ひ氏と面會すべく機會を待つが、枝原夫人は内地で明枝さんの事を一任されてをりすべてを[illegible]本子嬢の難を慰めるためにも覆水を盆に復せしめ解決に至るべく努めてゐる、き四日午前中記者は枝原[illegible]

會見 せんと官邸[illegible]たが夫人は病臥中で人を介して次の如く語つた

病を押して無理に渡滿一日も早く櫻内さんに御會ひするさ思ひながらも未だにすることが出來ずにゐますは明枝夫人とは同窓生でおつきあひした夫人の性質をよく知つて居ります、學校卒業後も親しく以來世間は非常に櫻内家を誤解してゐるやうですが、本子さんの事件の當時事件の眞相が傳は[illegible]

非常 [illegible]

家庭 [illegible]

御同情を深謝

併し心情一致が先決 櫻内辰郎氏は語る

吉田二男巡査を陥れる奸策！

信頼されたを裏切る阿曾夫妻 撫順SOS事件大詰

夜間飛行の照明燈出來上る

東京、大阪間夜間飛行開始のため一日より日滿空の旅が著しくスピードアップされ旅客は午前八時四十分に福岡を出發せば午後四時には大連に着き、郵便も東京發午後六時の郵便機で送れば翌日の午後四時に早くも大連につき、六、七時ごろまでには市内に速達されるから丸一日で東京、大連間の通信が出來るわけで速達料も別に徴せられないところで大連着は午後四時になつて冬季夕闇迫り、殊に濃霧でもすると非常の危險を伴ふので日本航空會社では周水子飛行場の格納庫前に小糸式照明燈十個を取りつけたが十個で一萬ワットの光明を百三十度の弧内に放射し、五十米離れた所でも新聞が讀めるので、會社では昨日來試驗飛行の結果、これなら大丈夫と折紙をつけた

美くちからの一大交響樂

三日壯麗な終り告ぐ 明治神宮體育大會

映畫班歸る

好成績を收め

我が憲兵撃たる

早川憲治殺害 犯人逮捕の際

佳木斯日本青年團

發會式を擧ぐ

商業學校の書道展覽會

青空ホテル (31)

近江帆三　作
吉郁二郎　畫

辛い園遊會（九）

暖簾を頭でサッと威勢よく分けて、おでん屋に飛び込んだ旗島はいきなり、
「課長さアん」
と呼んだ。
すると、すぐ眼の前の、赤い毛布を敷いた床几に陣取つてゐた逸見さんが、
「おうい、何だ」
と、應じた。
「あ、そこですか」
「うん、ここだ」
「あのれ、那賀君の許婚者をめつけて來ましたよ」
「そんなことはどうでもよい。それよりか君の許婚者がこゝにゐるぞ」
「あ……」
旗島はびつくりして聲をあげた。酔つてゐたせゐもある、あまり狂言に凝りすぎてゐたせゐもある。しかし、後向きに信子孃が坐つてゐるのに氣がつかなかつたのは、不覺の譏りを免れない。

「あら、誰かと思つたら旗島さん？」
と、信子孃と並んで坐つてゐた逸見夫人が身體を斜に反らして、こちらを見あげた。
「あ、奥さんですか。今日は—」
「まあ、いらつしやいませよ」
「はあ」
「ご遠慮なさらないで」
「はあ」
「いまあなた方のお噂を申上げてゐたところですわ」
「はあ」
と、旗島は聲と共に矢鱈お辭儀をした。
「わつはつは。急に堅くなつてしまつたぢやないか。うぶだな、わつはつは」
と、逸見さんはよい酒の肴を見付けた。
「さあ、一杯ゆかう」
旗島は爲方なく半ば腰をかゞめて、その一座の中へ割つて入つた。信子孃はちらと旗島を見あげて俯向いてしまつた。
「さあ、お酌をさして頂きませう」
と逸見夫人は銚子を持ちあげた。
「ぢや、少しどうぞ」
と旗島は机のやうにまッ四角になつた。

「お嫌ひですの？」
「はあ。どちらかといふと、あんまり——」
「嘘々！」
と逸見さんが大きな聲で否定した。
夫人が、
「五人男、素敵でしたわ」
「さうですか」
「まるで本職はだしね」
「さうでもありません」
「あなた、臺詞をお間違へになつたのですつて？」
「はあ」
「どうなすつたの？」
「練習不足です」
「嘘でせう？もうみんな聞きましたわ」
「弱りましたね」
と旗島は頭を掻いた。信子孃はくす〳〵笑つた。もう何も彼も逸見さんから傳はつてゐるらしい。しかし、事實だから今更詭辯を弄するわけにもいかぬ。
旗島は、外に待たしてある那賀たちのことが氣になつてならなかつた。何とかして早くこの場をごまかしてしまひたいと思つたが、逸見夫人の能辯にまくし立てられて手も足も出なくなつてしまつた。
すると、そこへ、山路さんが、
「あゝ、目出度い〳〵」といひながら入つて來た。「未來の那賀夫人を發見した。これはコロンブスの亞米利加發見よりも重大である」
「丁度いゝ。こゝへつれて來たまへ」
と逸見さんは、それを肴にしてもう一本せしめる氣である。
「君、遠慮することはないよ。」
と山路さんは那賀たちを引張り込んで、「どうです、われ〳〵のメンバーは幾何級數的に殖えてゆく」

柳壇

差引　編輯局選

大連　池田南孤子
ボーナスも月賦の服で零になり　大連　外山角照
見玉博士夫人
開男で差引をする不心得　柳樹屯　山崎かほる
毎日差引されて袋だけ
差引を濟して妻は安堵なり　遼陽　後藤芳子
差引を忘れて傳票又も買ひ
給金を差引されて下女サボリ　本溪湖　柿村生
親分は差引出來ぬ役であり
差引の出來ぬ和解に四苦八苦　奉天　長嶺默溪
差引に今日この頃は疎くなり
差引に愛想のつきた彼れであり　遼陽　天滿千代子
黑髪を切つて差引濟ました氣
差引の無理をいはるゝ四疊半　大連　椅田泰三
差引けば胸算用はちと狂ひ
差引へ夜店位いたり笑つたり　山海關　上倉都一
差引をしてから一度も寄付かず
差引けば愛想つかしの元となり
差引をしたら向ふへやる勘定　大連　藤村忠夫
喧嘩好き差引ゼロだと又なぐり
連帶になつて賞與差引かれ　遼陽　岸本薇笑
差引へ馬鹿に目立つた遊興費
まゝ事は紙で差引して遊び　大連　桃陵さくを
差引いて貯金に入れるいゝ暮し
昇給の分だけ引いて飲み廻り　大連　尾道九十八
差引を語る競馬の戻り道
差引がないかと師匠前に出し　大連　豐田廣國
差引いてちと儲かる氣の廉賣デー
差引の殘つた金は菓子になり　新京　吉田作治
差引が喧嘩になつて酒を買ひ　本溪湖　中村湖風
差引は幾らになるかとちさひれり
差引いて見れば貸より借りがあり　大連　上河邊紫浪
農村の秋差引けば殘る赤
差引いてちよびり殘る慈善會
差引いた儲けを積んで藏が建ち
賃銀の殘り八苦力一人笑み　本溪湖　郡司島里柳
差引の不足へ娘賣ひ受け
差引いた誤差へ大きい穴があき
差引へちと隣から來る苦情　山海關　松尾小女郎
差引いた袋の輕い給料日
差引けばやつぱり拂ふ金になり
差引いた黑字へ妻がなじり出し　新京　清月的外
差引いて貰へば拂ふ事ばかり　甘井子　田中美津嶺
當錢をおごつて差引赤になり　蘇家屯　上山春逸
五圓札酒代拂つてチップなり
差引の赤字へ自棄の酒あほり　大石橋　船山黃海
差引があつて友情うさくなり　營口　佐藤さした
差引が餞別となる社の机
差引の算盤はぢく背のまるみ　大連　神崎仙人
差引きになると女給の澁い面
差引へ諦めてゐる獨り者　開原　原田古錢
月末の差引へ來る女部屋　山海關　田中幸夫
それからの殘りへそつと北叟笑み
胸算で赤字さきまり落ちつかず　大連　赤井一村
持參金借りてる分は差引かれ
差引の勘定合ふて錢足らず
腰辨の妻差引になやまされ
モーニング片袖分を差引かれ　大連　鈴木香村
差引にする氣女將氣前見せ　大連　木村放浪
會計課差引だけに馴れたもの
賃金を替へて利子を差引かれ　奉天　島崎一瓢
差引の潮へ小蟹の浮き沈み
空樽を差引いて醬油勸めに來　本溪湖　郡司島里柳

○佳吟（賞）
差引きへ世話人腹の探り合ひ

選者吟
差引へ女給一本つけて出し
重患へ潮の差引き話合ひ
差引の異算へまぶしい夜業の灯

滿日柳壇課題

▽題　「年末」「姉」「足袋」
▽締　十一月十五日着便まで
▽句　各題五句（住所氏名明記）
▽賞　佳吟薄賞（各題必ず別記）
▽宛　本社編輯局川柳係のこと

童話

蛙のお寝坊

臺田三平

これは、まだ人間の生れないころのお話です。

神樣は、この世で誰が一番りこう者だらう、一番りこうな者にこの世界を治めさせよう、さうお思ひになつて、たくさんの神樣たちが相談會をお開きになりました。

神樣たちは、いろ〳〵お考へになりましたが、水の中を泳ぐことも出來るし、陸をとんで歩くことも出來るし、木にものぼることが出來、それに又雷樣と天にのぼることも出來る、あの蛙こそ、世界中で一番りこう者だ、一番偉い奴だ、といふことになつて、蛙に世界を治めさせることになりました。

その頃は、どこにもこゝにも、蛙の國がありました。國といふのは、池のことであつて、池の大きい國ほど、その王樣は偉いといふことになつてゐました。國には、一人の王樣の殿樣蛙がゐて、喧嘩のできないやうによく治めてゐました。そして、初めのうちこそ、神樣ありがたうございます、といつて仲好くしてゐましたが、そのうちに喧嘩をするやうになりました。

それは、ある年のこと、ドブ國とタマリ國といふ二つの蛙の國が戰爭をはじめました。兩國の蛙たちは、手に〳〵蒲の穗をもつて、ドブ國の堤で肉彈戰をやりましたけれど、勝負がつかない中に、ドブ國の殿樣は、まちがつて自分の家來の草履取蛙に殺されてしまひました。

草履取りのドブ蛙は、殿樣の死骸にとりすがつて

「あゝ、どうぞお許し下さい。私はタマリ國の殿樣と思ひちがひをしたのでございます。頭は敵に向つてゐても、愚な横目をもつてるものですから、つい……私どもは、味方うちばかりやつてしまひました。どうぞお許し下さいませ」

ドブ蛙は、横つちよについてる眼から涙をポロ〳〵ながしました。

この戰ひにこり〳〵した蛙國では、もう喧嘩はしないことにしました。

かうして、蛙の國には平和な日がながくつゞきました。どこへ行つても、池のまはりには美しいお花が咲いて、お母さんに手をひかれた、子供たちが散歩してゐました。

そのうちに、冬が來ました。ある日のことでした。

蛙たちが、目をさましてみますと、身うごきの出來ないやうになつてゐました。

「おや、どうしたんだらう、大へんだ〳〵」

と、みんな大騒ぎをはじめました。固い氷が、お池一面にはりつめてゐたのでした。やうやうのことで

おひる近くになつてから、蛙たちはありつたけの力を出して、氷をやぶり、みんなしてお池の岸にはひあがりました。

冬の暖かい太陽が、ポカ〳〵土を暖めてゐました。蛙たちは、どんなによろこんだでせう。

今夜は、お池の中はやめて、こゝで寝ることにしよう、と皆で相談しました。

その夜のことでした。大神樣のところへ

「コンヤハユキデス」

といふ電報が、風の神樣から來ましたので、慈ぶかい大神樣は、すや〳〵寝入つてゐる蛙たちの上に、暖かい土をふんわりかけてやりました。

それからのことでした。寒い冬が來ると、蛙たちは土の中に春が來るまでお寝坊をするやうになつたのは。

もう、蛙のお寝坊がはじまつてゐます。（をはり）

こどもへ考へもの 第七十一回

海の怪物

出したぞ足足足足　さて、正體は何か

寫眞をごらん下さい。ニヨキ〳〵とやたらに足を出した海の怪物、さて何でせう。海の怪物といつても、寫眞でさう見えるだけで、實際はみなさんの大すきなものです。わかつた方は來る十一月十二日までに、ハガキで大連市東公園町滿洲日報社内「滿日日曜附録係」あてにお答へください。正解者には廿名に限りご褒美を差しあげます

第六十九回の答　エントツです

第六十九回の考へものは、エントツをたばにしてうつたものでした。考へ上手のみなさんには新聞社のをぢさんたちも降參してゐます。今度も籤をひいて次の方々にご褒美をあげることにしました。大連市内の方は新聞社から出したハガキと引きかへに本社でご褒美をお受けとりください。沿線の方には直接お送りいたします。

當選者

▲旅順森瀬福男▲奉天森英子▲鞍山坂田慶子▲新京嘉村康熙▲奉天山之口トホル▲新京佐藤正子▲遼陽堀川忠雄▲大石橋軍信節子▲大連大坪敏夫▲同安部寛▲同松岡正伸▲同森本榮子▲同大河内恭子▲同谷田敏子▲同羽根眞吾▲同木原繁子▲同大野綾子▲同西村謙一▲同佐藤シヅエ▲同肥後フサ子

小學六年生の力試し室

お答は來週出します

地理

一、我が日本列島と亞細亞大陸との間にある海の名三ついひなさい。

二、我が國の川は流れの早いのが多いが其の爲どんな便不便がありますか。

三、我國に於て工業の盛な地方四ついひなさい。

四、我が神戸からヨーロッパ洲へ行く航路でアジア洲沿岸にある重要な港をいひなさい。

五、我が國と支那との貿易品をいひなさい。

我が國から支那へ輸出する物

支那から我が國へ輸入する物

六、次の都會はどこにあつてなぜ名高いのですか。

1、漢口
2、青島
3、ウラヂボストック

前週の答　國語

一、（1）御手紙を見ました。二人ともよく勉強してをられるさうで安心致しました。勉強も大切でありますがお體にもよく〳〵御氣をつけなさい。

（2）イグアッスーの大きな瀧のさかんながめは實に筆にも口にも言ひ表はすことが出來ません。

（3）森や林になつてゐる土地の開墾（きり開いて田畠にすること）の樣子を調べて見てゐましたために、しばらくの間お便りもしないで過ぎました。

二、（1）天下を三分して定めやうとの計（はかりごと）を手のひらの上のものをゆびさすやうにはつきりと定めて蜀漢の國のもとゐをしつかりと固めた漢中王はこの孔明のたすけによつておごそかに皇帝の位におつきになつた。

（2）（イ）天下を三分しておさめる計といふ意味で蜀と呉と魏の三國が各々その一をとつて國をたてやうといふ計である

（ロ）「たなそこ」は手のひら手のひらの上のものをゆびさすやうにはつきりとさし示すこと。

三、（1）府縣市町村

（2）地方人民が協同一致して自ら地方公共の事に當り誠意其の團體の爲に力を盡す精神。

（3）自治制の根本であり又その生命である。

四、（1）制度、運用、自治制、之運用、人民、自治、精神、乏結果、得、到底、望

（2）公共、事務、當、者、如何共、職務、忠實、一般、人民後援、團體、圓滿、發達、望

（3）繪葉書、大原野、寫眞、見愉快

五、（1）優る、沈む、上流、輸入一部分、簡單、不幸、間接、公利

（2）（イ）晝寢をしてゐた私も飛行機のすさまじい音に目がさめた

（ロ）人の命ほどはかないものはない、此の間まで一しよに遊んでゐた〇〇さんは死んだとの事だ。

（ハ）私達は何事をするにも事の善惡を辨へてやらればならぬ

（ニ）昨日は學校の講堂で明治節の式がおごそかに行はれた。

（ホ）あの方は學校ではよく出來おうちではほめられお友達には好かれる。これ皆あの人の誠意のたまものである。

世界に珍らしい海牛の化石發見

▼▼……樺太の氣屯川で

樺太の氣屯川といふところの工事場にはたらいてゐる工藤政治といふ人は仕事をしてゐるうち、ふと川の中からかかへあげた二キロほどの石がどうもあたりまへの石とはちがつて、なんだか化石らしいので、でいぼうをつくる石がきにするにはをしい樣な氣がしました。それで、人夫にもたせて自分の家にはこばせました。そしていろいろほじくつてみると骨のやうなものや齒らしいものもあるので、これはきつとめづらしい化石にちがひないと思ひましたので、北海道大學の長尾博士にみてもらひました。ところがこれは世界でもめづらしいデスモステレースとか海牛とかいはれてゐる動物のあたまが化石となつたものであるといふことがわかりました。このえがたいものの發見に博士も工藤さんも大よろこびです。

アメリカ.カラ　ミナサンヘ　ヱノタヨリ

クマクン ノ オシゴト

アラアラナニヲシテヰルノデセウ。コレハウマレテカラ、マダハンネンシカ、タタナイクロクマデス。イツモミンナカラカハイガラレテヰマス。カウヤツテクサリデオフネカラ、ウミヘオロシテモラツテオヨグコトト、オイシイモノヲイタダクコトガクマクンノマイニチノオシゴトナノデス。

セウネン ハツメイカ

アメリカノオハイオシウトイフトコロノイバンズトイフ十六サイノセウネンガ、コンドジブンデセンスヰバウヲツクリアゲマシタ。ソレハギウニユウノアキクワンデコシラヘタノデス。ソシテジテンシヤノクウキイレデ、クウキヲオクルノデス。イバンズクンガコレヲツケテヤツテミタラ、シヤウバイニンヨリモウマクミヅノナカニクグツテハタラケタサウデス。

セカイ一 ノ オホカゴ

コンナニオホキナカゴヲミルノハハジメテデスネ。イツタイナニヲイレルノデセウカ。アメリカカルフオルニヤノペタルマトイフトコロカラハ、タクサンノタマゴガウリダサレマス。ソノタマゴヲイレルノガコノカゴナノデス。ミンナセカイ一ノオホカゴダトイツテヰマス。

オトウサント イツシヨニ マイアサ コノトホリ

コレハアメリカニヰルガルバルデイトイフスバラシイレスリングノセンシユデス。イツモイロイロノタイサウヲシテカラダヲキタヘテヰマス。トコロガゾノコドモモ、オトウサンニマケナイヤウナ、リツパナカラダヲモツテヰマス。マイアサ「オトウサンガヤルナラボクモヤルヨ」トイツテコノトホリ。

アメリカ ノ ハクブツクワン ノ オバサン

コノヒトハアメリカノハクブツクワンノオバサンデス。メヅラシイサカナヲタクサンアツメテヰルノデナダカイノデス。コノヤウナコトヲハジメテカラ、モウ四十ネンニナルトフノデスカラ、スバラシイデハアリマセンカ。イマモ、マンボウトイフメヅラシイサカナヲテニイレタノデ、一シヤウケンメイニシラベテヰマス。

このムシの 親は何か 面白くて為になる 子供の智識

このごろの小春日に、さかんに大きなミノムシの這ひまはってゐるのが目につきます。木の小枝や葉をきれいに織込んだミノをひきずつて、枝のさきから糸でぶら下つてゐます。お天氣のいゝ日は黄色い斑のある黒びかりの頭を出して、ソロリソロリと這ひ出します。恐らくみなさんもおなじみの蟲で、なかにはミノから外へ붙り出して裸にしたのをさつてきて、美しい小布片や色紙を細く刻み込んだ箱に入れておきます。そしてウスぎたない枯葉や枯枝のミノのかはりに、美しい布きれや色がみのミノを作らせたかたもおありでせう。大たいに誰も知つてゐる通り、あゝいふ芋蟲や毛蟲のなかまは、大がい蛾や蝶の幼蟲です。それで、ミノ蟲も何かになるのではないかと考へられます。

ところがミノ蟲にもいろ〳〵あつて、春のはじめに見つかる小さいのは、蠟にチヤミーといふ蛾になります。秋ゐる大きいのは一生あのままで終ります。變だと思つて調べて見ると蛾になるのは男だけで、女は一生袋の中で暮すわけです。卵も袋の中で生れ、母親はその卵が蟲になる頃にはカサカサにしなび空つぽになつてミノの中で死んでしまつてゐます。かうして春さきに生れた小さなミノ蟲のうち、男だけは七月頃に二センチばかりの灰色がゝつた翅の生えた小さな茶色の蛾になつてとび出します。女は木の葉を食べて大きくなり、おしまひに枝の先の方にブラ下つて、蛾になつた雄と共同で卵をこしらへるわけです。

蛾のうちにもう一つ葡萄透羽（ぶだうすかしば）といふ三センチばかりのがゐます。形がちよつと蜂に似てゐます。後の翅二枚は透明。しかも蜂のやうな筋があり、ほかは濃い黒茶色で腹に二本の黄色い縞があります。かうお話しても、たぶんみなさんはご存じないかも知れませんが、この子供はウジのやうな形の時分に、葡萄の樹の枝に喰ひ込みます。そして木の節々をコブのやうにふくらませます。よくエビヅルムシとか葡萄の袋蟲などといつて、小鳥の餌として喜ばれます。小鳥だけでなく、人間の子供にも丈夫になるお薬だといつて食べさせる人もあります。みなさんのうちで、この蛾の幼蟲を召し上つた人があるかもしれません。

もう一つ、これは子供の藥として、わざわざ東京あたりまで女の人が賣りに來るのに孫太郎蟲といふのがあります。ムカデかゲヂゲヂにどこか似て白い足のたくさんある蟲が、茶色の頭をならべて串ざしになつてゐます。この親は知らない人が多いやうですが、ヘビトンボといふ五、六種もある茶色な蟲です。形は大たい蜻蛉に似てもつと羽根の幅が廣く、長い髭が生えてゐて夏森の葉の上などにとまつてゐます。變つた蜻蛉だと思つて羽根のところを摑へたりすると、グルリと首をまはして摑んだ手に嚙みつかうとするので、びつくりすることがあります。かうしてトンボに似てゐながら首が長いところが蛇蜻蛉といふ氣味のわるい名を貰つたわけだらうと思ひます（寫眞はミノ虫の一しやう（1）オスの蛾（2）メス（3）ミノから取りだした幼虫（4）ミノ）

冬・奥樣方のお買物風景

金に困らぬ彼女デス

時代の流れは恐ろしいもの、昔なら化物あつかひにされた獸の皮がこの頃では一金百圓也の法外な値段となつてブル階級の奥さん達の首ッたまに卷つけられてゐます。

「この黑狐どうお――」

「いゝわれ」

「あらこの眼とても可愛いゝわ」

金に困らない人達の買物は實にのんびりしたるデス。

毛糸屋さん流石に繁昌

「れ奥樣大分洋服地に似たのが多くなつたぢやございませんか」

「さうでございますれ、だが今年は昨年より少しお高いやうですわれ」

「さうでございますれ、でも矢張り機械糸よりも温かですし、それにかへつて經濟的ですかられ」

「あらこのセーターの出來上りは立派ぢやございませんか、せめてこれ位にれ……」

娘やる親心

憎ましいほどの色合ひと模樣をもつた温かさうな蒲團がうづ高く積みあげられてゐます。

「こちらは絞り羽二重で最近よく出ます。絹綿がはいつてゐて温かでございますが」

「ふーん成るほど」

「ネーアナタこの綾八端も仲々いゝぢやございませんか」

「うん／＼どうだい○○子は」

「さうれ、どれがいゝかしら」

婚期を間近にひかへたらしいお孃さんを連れて親子三人水いらずのお買物。

非常時ゆゑか足を止む特價品

非常時です。お買物もなるべく經濟的にと、特價品のところに足をとどめた若いサラリーマンの奥さんらしい二人連……（あら、この縞とてもいゝわね、買はうかしら）（それもいゝけど一寸お待ちなさいよ、も少し見なきや）（どうその向ふ側の……）（少し地味だと思ふけど）（でもその方がよかないかしら）（私矢つ張りこの方がいゝわ）と澤山ならんだ品物の前であれか、これかと迷ふのも買物時の嬉しい氣持の一つでせう

經濟觀念？の發達は……

寒さがしみ／＼と身にしむけふこのごろ、早く据ゑつけたいのはストーヴであるデス（新しい品物は値段ばかり高くつてと、經濟觀念の發達した奥さんは秋晴れの日曜を幸ひに御主人と一緒に坊やを連れてショートル市場へ――いやあるは／＼出盛つた土筆のやうに、大小とりどりのストーヴが時を笑顏に列をなしてゐる。

「おいどうだいこいつは」　「そうれえ、も少し大きくてもよかない」

「はゝんこゝんとこ一寸はげてゐれ」　「品物いたまない、安いナー買ふヨロシイ」

デパート食堂のお晝時

デパートの食堂のお晝時……サラリーマンもお買物に繰りだした奥さん連が斷然多いです。「オイコーヒー二つ」「カレーをくれ」「おすしを」と矢継ぎばやな注文に給仕さんは目の廻るやうな急がしさ、そして奥さん連は品物の値段や其他もろ／＼の話を、サラリーマンは日頃の鬱憤を、月賦の洋服のことを、タイピストの噂を、課長の話……等々を、肩の荷をおろすやうな氣持で話し合ふです。これも手軽で、人が人を呼ぶデパート故の賑ひではあるデス。

新講談

愛の藝妓小友

松林小伯知

古來政界の巨頭、巨星と謂はれし偉人も其の行爲の法に觸れ世人の犧牲となりし事も數多あれど、己れの發布した法の下に斬頭臺の露と消えたのは佐賀の亂の主謀者たる江藤新平のみです、追想へば淘にお氣の毒な方で、然し此の江藤新平は始めよりして、錦旗に發砲しやうと云ふ意思ではなく、行掛り上餘儀なく時の政府に反抗した譯です。

それは西郷隆盛の征韓論は大久保利通初め諸卿の非戰論者の爲めに反駁され、主戰論者の一人江藤新平も同志とともに袖を列れて職を辭し、官を捨て一度は故國の佐賀に戻りましたが、何んとかして持論を貫徹せしめる時期を得んものをと、窃に同志を集め、之れに征韓黨の名稱を附し、遂に其の準備も整ひ、愈々韓土に出兵なさんとする。

時恰も明治政府の探知する處となりて、こゝに官兵と征韓黨との間に血潮を流すことになつたが、哀れ一敗地に塗れ、新平は土佐甲の浦に於て官兵の爲めに捕へられ身には叛逆の汚名を受け、政府に反せし罪輕からずとあつて東京に護送されて、裁判の結果は、斬罪の上梟首との宣告された。

これは江藤新平が參議の職に在りし頃發布した法律の內の一箇條にある事です、つまり自分が拵へた法の爲めに己れが罰れるといふも何かの因緣でせうが、終に新平は「國を思ふ人こそ知られ武士の心盡しの袖の涙を」と三十一文字の辭世中に無量の意を潜めて斷頭臺の露と化し、骸は捨てられ首は梟首された。

此の梟首の狀態を撮影して種板を取り、內務省の手を以て日本全國の寫眞店に撮げさせ、死しての後までも恥しめたのが大久保利通卿でしたが、隨分苛酷な事をしたものです、從つて此當時世人の批評も惡く

○「餘まりやり方が酷い、現世に在る間に憎しみもあらうが、佛となれば人ではない、手を合せる淨い身體、して見ればもう怨みは消えた筈だらう、それに又自分達の手で殺して獄門にまでしたらば何の事だ、原因を言つたら日本の爲に盡して下された有難いお役人樣に大久保樣もお役人としたら少しはお氣の毒と思召しさうなもの、大久保樣には涙はないか」

と大分世論が向上して來た。すると此の大久保攻擊論者の內に美人が一人加はつて居る、見れば新橋烏森の藝妓家吉田屋の抱へで小友といふ尤物です、江藤新平の獄門首の寫眞を見ると、縱令十枚が二十枚でも總仕舞にさせて買つて行く、今日も築地の海月といふ割烹店からくちがかゝり、箱丁の正吉と共に築地に行く、途中松村といふ寫眞店の前迄來ると

小友「ちよいと正どん待つておくれ、見度いものがあるから……」

正「アッ、惡い物が眼についた、あると復買ふぜ、困つたなア、氣にもなる」

小友「何が氣になるの、おまへ變なことを言ふね」

正「イエ別に變なことは言ひませんが、何んでせう獄門首の寫眞があつたら買ふのでせう」

小友「オヤ善く知つてお在でだね、大分寫眞が出品してあるやうだから、若し江藤樣のお寫眞があつたら何枚でも殘さず買つておくれ」

正「姐さん、いゝあなたのお金であなたが買ふのですから宜いやうなものゝ、そんなに獄門の寫眞ばかり買つて一體何んにするんです、眞逆に禁厭にもなりますまいが」

小友「何んにしても大きにお世話おまへもとんだ苦勞性だよ。妾に少し考へがあるのだから愚圖々々言はずに能く寫眞を觀て買つておくれ、後生だからね」

正「さうですかえ、然し人間には變な道樂があるものだ、どうして斯う獄門首の寫眞が好きなのかしら……」

箱丁の正吉は寫眞店の前に進み寄り出品してある寫眞を見ると左の方に江藤新平の獄門首の寫眞が七八枚陳列してある。

正「これは可けれえ、一枚や二枚なら無いと言つて瞞着さうと思つたが、こんなにあつてはさても駄目だ」

小友「正どん、澤山あるね」

正「オヤ姐さん、其處に來てゐたのですか」

小友「ア、何うもおまへの樣子が許しいから此所へ來て見張つて居るのだよ」

正「ぬかりのない事ですね、十枚たらずあるやうです」

小友「いゝいくらだか能く値を聽いてみんな買つておくれ」

此の時二人の前に立ち江藤新平の寫眞を觀て居た二人の職人があつた。

○「辰、見ろやい、これが江藤新平の首だぜ、どうだ怖い顏をして居るではないか、叛逆人の面は顏の造作からして違つて居るな、これが叛逆人の面とでも云ふのだらう」

△「まつたくさうだ、俺達の樣なお芽出度い面ぢやれえや、然し獄門面として立派なものだな」

といつた、これを聽くと小友はサッと顏の色を變へ、柳の眉がピリ／＼と動いたが、ツカ／＼と二人の職人の側に寄つて來た、二人は馥郁たる紅粉の香に鼻はれて思はず瞻視すると、花も恥らふ尤物が凄い顏をして見て居る。

○「オ、素敵／＼これは新橋の藝者だぜ」

△「綺麗だなア、まるで人形のやうだ」

小友「何だつて人形のやうな女だと、何んな女でもおまへさん達の世話にはならないから安心してお在で、今此所で聞いて居たら何んだとエ、江藤樣は謀叛人だ、謀叛人面をして居ると云つたね、お氣の毒だが江藤樣はそんな惡い事をする方ぢやアないよ、江藤樣の有難い思召が貫徹らなかつたので、憖ふ云ふ樣めなお姿になり、おまへ達にまで言ひ度い事を言はれてお在でなさる、思へばお氣の毒な、おまへ達のやうな察しのない、不粹な不人情の奴が、世の中には濁を卷いて居るからね、それで斯ういふ寫眞が賣れるのだ、定めて土の下で江藤樣が泣いてゐらつしやるだらう、ほんとうに口惜しいね。畜生、もう一度言つて見ろ、鼻の頭を引掻くぞ」

○「これは愕いた、寫眞の惡口を言つて藝妓にけんのみをくつたのは今日が始めてだ、寄色はいゝが怖い藝妓だな、然し爭はれ無えものだ、ネコだけに鼻の頭を引掻くさよ」

△「俺はあの藝妓なら引掻いて貰ひ度へや……」

なぞと對手が若い綺麗な藝妓と喧嘩にもならず、笑ひながら職人は向ふへ行く。

小友「ア、お座敷へ行くのは、もう厭になつた正どん妾は歸るよ」

正「冗談を云つては困ります、海月さんと吉田家のお內儀さんの間へ入つて私が迷惑します、心地が惡いのなら顏だけでも一寸見せてあげて下さい、お願ひします」

小友「厭だよ。顏を見せるのならいゝおまへ見せてお出でナ」

正「姐さんからかつては叶けませんそんな我儘を言はずに……」

小友「厭だと言つたら厭だよ……」

言捨て吉田家へ歸り、その夜は……サボタージをきめてしまつた。正吉も困つたが、海月に待つて居た御客が驚いたのは、藝妓の途中紛失に出會つた。

翌日賓茶（其頃有名の割烹店です）よりくちがかゝり、お客は內務卿の大久保利通卿を始め今時めく政黨の人々であると聞くと、鬱ぎぬいて居た小友は急に元氣恢復化粧もそこ／＼支度して正吉を伴れて賓茶に來た、酒宴の席に出ると一流二流の藝妓混じつて二十人許り、大久保內務卿を上席として酒池肉林歡娛樂をつくして居る、其の中へ吉田家の小友といふ藝妓界の尤物が一人加はつたので、一層酒筵に花を咲かせ、態々一座は陽氣になる、暫く經つと小友は大久保卿に對ひ、

小友「御前樣、淘に恐れ入りますが、少々申上げたいことがございます、一寸彼方のお座敷までお出で下さいまし」

と言つた、是れを聞いて利通卿の側にあつた田中書記官が、

田「小友、御前を擒にしては可かんぞ」

小友「そんな浮いたお話ではございませんから御心配には及びませぬ」

と、大久保卿に無理を賴み、女中頭のお淸を聽人として側に坐らせ

小友「御前樣御無理を願つて濟みません、先刻申上度いと申しましたは……」

大「如何なる事か」

小友「妾のやうな賤しい稼業をして居ります者が斷樣な事を申しますと、定めし生意氣な藝妓だと思召もございませうが、先達て征韓論とかいふ難しいお話で、御前樣と西郷樣の思召が合はず、それが爲めに西郷樣や江藤樣はお役を引いて御國へお歸りになり、間もなく佐賀のお戰に江藤樣は敗れ、政府樣の手にお召捕になり、御處刑……」

小友「何故と仰しやいますが御前樣も江藤樣もお國を思ふ立派な御心に變りはなく、何人も有難い御役人の中のお一方は御出世をあそばし、江藤樣は御處刑の上獄門に迄……妾は江藤樣のお身の上を考へますと、淘にお氣の毒でなりませぬ。それに就いて御前樣に見て頂きたいものがございます」

と、女中のお君を呼び何か囁くと、間もなく此室へ持つて來たのは一個の文庫、これを小友は受取り、大久保利通の前に置き、蓋を拂ふと江藤新平の寫眞が滿杯入つて居る、利通は此れを見て

大「小友、此れは江藤の寫眞ではないか」

小友「世の中の人の不實と云ふのは此の事にございます、成程江藤樣は法律に觸れて御處刑になつた方には違ひありませんが、原因を言つたらお國の爲めに盡した事、それもお歿くなり遊ばせば、もう罪も消えて居りませうに、何にもそれを寫眞に撮つてお金儲けの爲に賣らなくても宜いではございませんか、それを又喜んで買つて行く人の心が口惜しうございます、これが世間の不實な證據でもございませう、それを思ひますと妾は江藤樣が只々お氣の毒でなりません、それ故妾はこの寫眞を見る度毎に買取りましたが、いくら買つても買ひつくせませんのは、寫眞店には種板とか云ふ物があり燒き增をするのでその甲斐もございません、どうか御前樣のおたも皇國の恥と云ふ事を御存じなら內務卿樣の御勢ひで、此の寫眞を賣ることを御差止め下さいまし、之れが妾のお願ひでございます」

と、ホロリと落涙した、大久保利通卿は之れを聞いて

大「ウム、よし、お前の願ひは必ず叶へてやる、安心しなさい」

小友「何卒宜しくお願ひ申します」

大「決して心配するな、此の事は利通が引受けてやる、イヤ賤しき藝妓風情には似合しからぬ愛國の志、感ずべき奴ぢや」

と言つたが、心の中に大久保卿は、小友の國を愛する精神には實に敬服しました、大久保卿は其夜はその儘お戾りになつたが、果して江藤新平の獄門首の寫眞は間もなく東京中に其の影を沒したが之れは大久保利通が手を廻して寫眞の種板を買取つたものだといふ。

小友は後に藝妓を廢業して母と共に故鄕に戾り、商家の妻となり孝貞兩道を全うなせしと言ふ、明治初年の愛國藝妓、吉田家小友の逸話はこれにて完結……。

一年前の回顧

匪賊團の列車襲擊

（十一月五日）

午前零時五分、貨物列車が滿鐵本線十家堡驛に進入の際突如匪賊襲擊銃彈飛來して來たので、同列車は速度を早め揚本林驛に到着、この旨四平街に急報しましたが、同驛舍は匪賊のため全燒、助役、驛員四名は殉職しました。この匪賊は抗日義勇團約六十名で後方には約一千名の匪賊主力部隊が在ると判明しましたので、直に同地駐屯守備隊、郭家店、四平街より警官百三十名が現場に急行、共力賊を追擊擊滅しました

滿洲の初雪

（十一月六日）

昨日までは小春日和の好天氣だつた錦州、奉天では早朝から北風強く午前九時頃から風はやみましたがチラ／＼雪が降り出しいよ／＼滿洲の寒さが訪れて來ました。そして夕方には錦州では五、六寸、奉天では二、三寸積雪、初雪としては稀な大雪でした

蘇炳文配下の暴行

（同　七日）

第二の尼港事件として一時各方面より氣遣はれた滿洲里の暴動事件の眞相は、其後日滿官憲の必死的努力とロシア側の好意ある斡旋で遭難邦人は大部分無事慘禍を脫出しましたが、この暴動は蘇炳文配下の鬼畜の如き迫害であると判明しました

市議選擧違犯事件

（同　八日）

激烈を極めた市議選後選擧違反事件摘發違反嫌疑者はぞく／＼召喚されつゝありましたが、司法當局では發展途上にある大連市將來のために苟くも選擧違反に觸るゝもの戶別訪問といへども徹底的檢擧のメスを揮ひ、從來の選擧に關する市民の觀念を入れ替へさせんとする刑事政策の見地から午前九時より大連地方檢察局に各檢察官集合、檢擧方針に關し重要打合せをしました

火災季節に

（同　九日）

火災の季節となつたので大連市民の防火思想を喚起するため大連消防署及び市內四警察署、その他各消防關係組合の防火宣傳は午前七時から打ち鳴らされる召集警鐘と同時に開始され市中に防火宣傳ビラ、マッチ等を撒布し、一方市內各所にポスターを貼附、また各戶別に採煖設備、炊事場等の火氣檢査を行ひ、午後二時から連鎖商店前の空地で盛大なる消防演習を行つた

ル氏大統領に

（同　九日）

米國大統領選擧の結果は午後十時十五分確定、民主黨候補ルーズ・ベルト氏は四百七十二の選擧人を獲得したに對し、共和黨フーヴァ氏は僅かに五十九を得たのみでした。かくて民主黨が過去十二年間に亘る共和黨の經濟專制を打破して故ウイルソン大統領以來初めて民主黨員たるル氏が第三十二代の主人公としてホワイト・ハウスへ入ることゝなりました

ジュネーヴで流血

（十一月十日）

ジュネーヴで戰爭反對の民衆大會が開かれましたが、社會主義者の一團が會場に押しかけ兵隊と衝突大亂鬪となり、ローザンヌから警官騎馬隊驅けつけ鎭壓しましたが平和の都ジュネーヴでかゝる流血の慘事を起したことは稀有のことでありました

勅題「朝海」

（同　十一日）

昭和八年の御歌會始めの勅題は「朝海」と仰せ出だされました

家庭滿洲語 紙上講座

第卅三課

一 (1) 池子　(2) 鴨子　(3) 浮水　(4) 會浮水　(5) 不會浮水　(6) 會飛　(7) 不會飛　(8) 會不會

二 (1) 魚　(2) 在水裡　(3) 在池子裡　(4) 院子　(5) 在門裡　(6) 在院子裡

三 (1) 餵　(2) 餵貓　(3) 給他點心　(4) 他不吃　(5) 怎麼不吃　(6) 不愛吃

【譯語】

一 (1) 池　(2) あひる（鶩）　(3) 游泳（泳ぐ）　(4) 泳げる　(5) 泳げぬ　(6) 飛べる　(7) 飛べぬ　(8) 出來るか出來ぬか

二 (1) 魚　(2) 水中に居る　(3) 池の中に居る　(4) 邸內の空地　(5) 門內に有る　(6) 邸內（庭）に居る（有る）

三 (1) 飼ふ、餌を遣る　(2) 猫を飼ふ　(3) 彼れに菓子を遣る　(4) 彼れは喰べぬ　(5) 何故喰べぬか　(6) 嫌ひだ

【說明】

鴨子 は鴨（かも）ではない、鶩のことは。野鴨子（イエーヤーツ）又は水鴨子といふ。

浮水 は人の水泳といふことにも使つて鳧水と書くこともある。

會 は出來る、卽ち能力の有ることをいふ。

餵 は本來餧と書き、略して喂とも書く、嬰兒に乳を遣ることにも使ふ。

愛吃不愛吃 は食物の好き嫌ひをいふ言葉で、必ず吃といふ動詞を作つて言ふ。

發音上の注意

會 ホ(ウ)エ(イ)は回と同音、（第廿一課參照）

飛 フ(エ)イ は脣の音で會の發音とは全然違ふ、フエーとフヰーとの間の音を工夫する樣に仕度いして、充分つぼめたまゝ、イの音を發し最後迄それを續ける樣にするのである。

魚 イ(ウ)ーは口を少し前へ出

院 イ(ウ)エ(ア)ヌは前課の圓と同音である（第廿二課參照）

前週の答

(1) 甚麼樣子　(2) 這個樣子　(3) 那個樣子　(4) 一樣的樣子　(5) 壞了罷　(6) 沒壞　(7) 扔了麼　(8) 沒扔　(9) 大聲兒　(10) 聲音小

【問題】 次の言葉を支那語に譯せ

(1) 君は泳げるか
(2) 僕は泳げない
(3) 彼の人は出來るか
(4) 彼の人は出來る
(5) 邸內に樹木が有る
(6) 門內に犬が居る
(7) 鷄に餌を遣る
(8) 子供に乳を遣る
(9) 貴方は好きか嫌ひか（食物）
(10) 私は大好物だ

朝晝晩

高山須磨子

	朝	晝	晩
日	オートミール、ハムサラダ、パン、紅茶、果物	おでん（蛸竹輪、がんもどき、里芋、蒟蒻）	オイスターコクテル、寄鍋（鷄、蒲鉾、海老、白菜、筍、松茸、春菊、豆素麵等）
月	エツの干物、すゞ子、パン、紅茶、果物	お煮〆（午蒡、油揚）	鯛の卵の花和へ、生鮭のてり燒、菠薐草のおしたし、山の芋のお汁
火	ベーコンエッグ、パン、紅茶、果物	鹽鮭おろし大根	鯖の生すし、海老松茸の白ソース煮、鷄の蕪蒸し
水	チーズ、コールミート、パン、紅茶、果物	松茸うどん、春菊	糸蒟蒻の鹿の子和へ、鯡のウニ燒、もやし油揚の煮付け、蜆の赤だし
木	鮭のバタ燒、パン、紅茶、果物	大根油揚煮つけ	蛸の酢味噌、里芋かゝ、常夜鍋
金	サーデン、半熟玉子、パン、紅茶、果物	あんかけ豆腐、春菊	パイペンニュー（白片肉）、かます鹽燒、春菊ごま和へ、枝豆汁
土	ハムエッグ、パン、紅茶、果物	鰯の油燒、大根なます、生姜	刺身、三葉辛子和へ、燒鷄、大根ふろふき、淸汁（鷄、松茸、三葉）

▲オイスターコクテル……トマトケチヤップにレモンの搾り汁とか味の素を入れたもので生牡蠣を頂きます。

▲鹿の子和へ……糸蒟蒻と木耳をうす味をつけ明太の子で和へます。

▲常夜鍋……煮だしたつぷりの中へ豚と菠薐草を入れ煮ながら合はせ醬油で頂きます。

▲白片肉……豚を大切りの儘水の中へお酒と生姜を入れた中でゆでお刺身に作り辛子醬油で頂きます。付合せキヤベツ